

令和7年度使用中学校用教科用図書

東濃採択地区 調査研究結果



令和6年7月18日(木)

東濃採択地区協議会 研究員会

【種目】 国語

【発行者】 4 者

2 東京書籍

15 三省堂

17 教育出版

38 光村図書出版

種 目【国語】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 各学年において、各領域・事項の教材数は適当であり、バランスよく構成されている。特に「言葉の特徴や使い方」に関する事項においては、重点的に学習が進められるようによく配慮されている。 「読むこと」の教材「てびき」の中の「広がる言葉」では、作品中の表現と関連する言葉を学ぶことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようによく配慮されている。 第1学年「書くこと」では、〈詩の創作・レポート・案内文・意見文・随筆〉の5つの言語活動が設定されている。教材ごとに重点的に扱う指導事項に基づく目標及び「言葉の力」が示されていて、系統的に全ての指導事項が扱われ、言語活動が網羅できるように配慮されている。 「情報の扱い方に関する事項」を、「情報と論理と学び」の中で扱っている。全学年に、「情報整理」に対応する教材と、「情報と情報の関係」に対応する教材を設定し、「書くこと」の学習を支える力が身に付くように工夫されている。 第2学年「読むこと」の文学的教材「走れメロス」では、登場人物の言動の意味について話し合う言語活動に向けて、人物像の変化や場面の展開に着目して読み深める学習のポイントや、多くの具体的な学習の観点から提示され、自分の考えを深められるようによく工夫されている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に未来を考えるためのテーマ「未来への扉」や、巻末に情報収集や情報整理などに活用できる図表「思考のヒント」が示され、自分の考えを形成しやすくなっている。また、「書くこと」や「話すこと」領域では、それらを拠り所に形成した考えを交流する活動が位置付けられ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が図れるようによく配慮されている。 「読むこと」教材には、「目標」と「振り返る」が位置付いており、学習を通して学んだことや感じたこと、これからの学習に生かすことなど、振り返る内容が記述されており、生徒の自己評価や教職員の指導改善を結びつける「指導と評価の一体化」について配慮されている。 二次元コード読み取り学習コンテンツ数 1年…68、2年…67、3年…59 合計192 第2学年「話すこと・聞くこと」の題材「プレゼンテーション」では、「学習の流れ」や「思考のヒント」などが示されたものと、「プレゼンテーションの例」との2つの二次元コードが位置付いている。「プレゼンテーションの例」では、発表の実践動画（6分26秒）が収録されており、その中には、他メディアを引用する場面があり、生徒の発展的な学習の手引きとしてよく配慮されている。また、字幕やボタンの位置の切り替えなどの工夫もされている。
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」の教材に「てびき」を位置付け、「見通す・目標→つかむ→読み深める→考えをもつ→振り返る」の5ステップで学習の流れが示され、教師も生徒も見通しをもって学習が進められるように工夫されている。また、「言葉の力」に読解ポイントが押さえられ、特に、抽象的な内容の理解について図解で示され、生徒の理解の助けとなるようによく工夫されている。 巻末の「デジタルコンテンツ一覧」に、学力の定着、学習をより深められるものなど、家庭学習で活用できるコンテンツが用意されており、個別最適な学びが実現できるように工夫されている。 1つの教材につき、1冊の関連図書（「読書案内」）が紹介されており、学習を通して興味をもったことについて、生徒自ら継続して読書に取り組めるように工夫されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 総ページ数 1年 306 ページ 2年 310 ページ 3年 322 ページ 重量 1年 525 g 2年 553 g 3年 554 g 各行の下に数字と点を付し、文章の行数を示している。 各教材で身に付ける力を具体的かつ明確にした「言葉の力」、教材文をもとに語彙の拡充に資する「広がる言葉」、未来について考える手がかりとして「未来について考えるための九つのテーマ」がある。

種 目【国語】

発行者【15 三省堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において、各領域・事項の教材数は適当であり、バランスよく構成されている。特に、「話すこと・聞くこと」において、第3学年で公の場を想定した「パブリックスピーキング」を設け、社会生活まで見通し系統的に学習が進められるようによく配慮されている。 ・各教材に「語彙を豊かに」を設定するとともに、資料編に「語彙の広がり」が配置され、理解できる語句や使える語句の量を増やし、語感を磨くことができるように十分配慮されている。 ・第1学年「書くこと」では、〈レポート・随筆・案内文・詩の創作・意見文・グループ新聞〉の6つの言語活動が設定されている。基礎的な重要事項は、3学年を通して繰り返し学習する場を設ける工夫がよくされている。 ・「情報の扱い方に関する事項」については、「情報に関連づける」として「情報の扱い方」に特化した単元が設置され、グラフや図表などの情報と文章とを関連付けながら、自分の考えを深める学習ができるようによく工夫されている。第1・2学年では、その学習をふまえた上で自分の考えを書くことができるように「書くこと」教材が配置されている。 ・第2学年「読むこと」の文学的教材「走れメロス」では、登場人物の人物像について交流する言語活動に向けて、心情を把握する読み方や具体的な表現を抽象化してまとめる学習のポイントが提示され、自分の考えを深められるようによく工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、自ら問いを生み出しそれを解決するためのチャート「思考の方法」を示すことで、自分の考えを形成しやすくしている。また、「書くこと」や「話すこと」領域では、それらを拠り所に形成した考えを読み合い、書き直す活動が位置付けられているため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が図れるようによく配慮されている。 ・各教材に「目標」と「学びを振り返る」が位置付けられ、振り返りにはキーワードが示されている。キーワードを使って自分の言葉で学びの振り返りが書けるように工夫されており、生徒の自己評価や教職員の指導改善を結びつける「指導と評価の一体化」について配慮されている。 ・二次元コード読み取り学習コンテンツ数 1年…95、2年…93、3年…85 合計273 ・第2学年「話すこと・聞くこと」の題材「プレゼンテーション」では、二次元コードから、導入の際に活用できる動画（4分7秒）を見ることができる。動画にはプレゼンテーションの作成や発表のポイントに加え、発表動画も収録されている。単元での学習の流れや、達成すべき具体的な姿がイメージできるように十分配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の教材に「学びの道しるべ」を位置付け、「目標の確認→構造や内容を捉える→読みを深めよう→自分の考えを深める→学びを振り返る」の5ステップで学習の流れが示され、教師と生徒が見通しをもって学習が進められるように工夫されている。また、「読み方を学ぼう」「思考の方法」として、文章での簡潔な解説と大きな図解を示し、知識・技能を可視化するとともに、汎用性のある「学び方」として習得できるようによく配慮されている。 ・多様なコンテンツを掲載した「二次元コード参照先コンテンツ」など、何を学ぶかに加え、どのように学ぶかという「学び方」を分かりやすく示すことで、学ぶ意義を自覚しつつ、自主学習で活用できるようによく工夫されている。 ・1つの教材につき、3冊の関連図書（「私の本棚」）が紹介されており、学習を通して興味をもったことについて、生徒自ら継続して読書に取り組めるようによく工夫されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 1年 366 ページ 2年 366 ページ 3年 366 ページ 重量 1年 584 g 2年 582 g 3年 584 g ・行の下に数字を付し、文章の行数を示している。 ・学習のポイントが「読み方を学ぼう」でまとめられており、他の教材や他の領域の学習にも活用することができる。また、語彙の拡充に資する「語彙を豊かに」「語彙の広がり」、情報の取り扱いの方法を示す「思考の方法」がある。

種 目【国語】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> 各学年において、各領域・事項の教材数は適当であり、バランスよく構成されている。特に「読むこと」において、短い作品から長文等へと文種や学習内容に系統性をもたせ、学びが積み上がっていくようによく工夫されている。 各教材に「言葉・情報」の項目を設け、具体的な表現の型を、話例、文例と関連させて示している。また、巻末付録に「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」が設定され、各種の語彙や論理表現などを振り返りながら習得し、活用できるように十分配慮されている。 第1学年「書くこと」では、〈紹介文・案内文・意見文・随筆・報告文〉の5つの言語活動から構成されている。指導事項それぞれを重点とした教材になっており、学習を焦点化して進めることができるように配慮されている。一部「読むこと」教材の中で関連的に扱う教材も設定されている。 「情報の扱い方」については、「用法の整理の仕方」「情報と情報の関係」を理解する2つの段階から学習するように配慮されている。学習を進めるに当たって、はじめに、「材料の整理」「根拠と主張」と大切なポイントを押さえてから学習するようによく工夫されている。 第2学年「読むこと」の文学的教材「走れメロス」では、登場人物の言動の意味と語り手の位置の変化する効果について交流する言語活動に向けて、本文の前に語り手の位置に着目する読みのスキルが提示され、見通しをもって学習ができるように配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に発想を広げる方法「アイデアの出し方」や、表現のテーマ例集「話すこと・書くことテーマ例集」が示され、自分の考えを形成しやすくしている。また、「書くこと」や「話すこと」領域では、それらを拠り所に形成した考えを交流する学習活動が位置付けられ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が図れるようによく配慮されている。 教材ごとに目標と振り返りが必ず示されている。振り返りの視点を網掛けで示し、視覚的に注目しやすくするとともに、チェックリストにすることで、生徒自身ができたかどうかを確認しやすくもしている。また、項目も具体的で「指導と評価の一体化」が図れるようによく配慮されている。 二次元コード読み取り学習コンテンツ数 1年…49、2年…52、3年…48 合計149 第2学年「話すこと・聞くこと」の題材「課題を設定して伝える」では、二次元コードを読み取ると、プレゼンテーション資料と原稿の例を見ることができ、生徒自身が資料を作成する際の手助けとなるように配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」の教材に「みちしるべ」が位置付き、「内容を捉えよう→読み深めよう→自分の考えを伝え合おう」の3ステップで学習の流れが示され、その後に振り返りの項目が示され、教師と生徒が見通しをもって学習が進められるように工夫されている。本文の前ページの「学びナビ」では、その教材で「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が分かりやすく示され、「何ができるようになればよいのか」の見通しをもって学ぶことができるように配慮されている。 全国学力・学習状況調査や公立高校入試などの分析を踏まえた、自らの力で多様なテキストを読む「学びのチャレンジ」が各学年に設けられ、文字以外の情報と文章を関連付けて考える力を養うことができるようによく配慮されている。 単元ごとに関連図書（「広がる本の世界」）が紹介されており、学習を通して興味をもったことについて、生徒自ら継続して読書に取り組めるように工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> 総ページ数 1年 357 ページ 2年 373 ページ 3年 357 ページ 重量 1年 587 g 2年 612 g 3年 583 g 各行の下に数字と点を付し、文章の行数を示している。 本文を読んでいくための具体的なポイントを示す「学びナビ」「ヒント」、語彙の拡充に資する「言葉・情報」「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」がある。

種 目【国語】

発行者【38 光村図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> 各学年において、各領域・事項の教材数は十分であり、バランスよく構成されている。特に、「書くこと」において重点的に学習が進められるように十分配慮されている。 各領域で「言の葉ポケット」が位置付けられ、国語の学習全体を通じて常に言葉に着目し、語彙を広げ、語感が磨けるようによく配慮されている。また、「語彙ブック」を付属し、自分の思考や感情を的確に言語化する言葉が探し出せるように十分工夫されている。 第1学年「書くこと」では、〈説明文・詩の創作・案内文・レポート・随筆・発表資料〉の6つの言語活動が設定されている。指導事項は網羅されており、特に「推敲」については、全学年、それに特化した教材が設定され、重点的に学習ができるように十分配慮されている。 「情報の扱い方」については、段階を追って指導し、習得と活用を繰り返すことで、知識及び技能が定着するように工夫されている。「情報と情報との関係」を扱う「思考のレッスン」と、「情報整理」を扱う「情報整理のレッスン」を設け、練習問題を通して実践的に知識や技能を習得し、「書くこと」の学習の中で生かすことができるように十分配慮されている。 第2学年「読むこと」の文学的教材「走れメロス」では、作品の魅力をまとめ、語り合う言語活動に向けて、人物像に着目して読み深める学習のポイントが提示され、語り合う観点が自己選択できることにより、自分の考えを主体的に深められるようによく配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に、思考を広げたり整理したり深めたりするためのツール「思考の地図」や、巻末に表現のテーマ例集「発想を広げる」が示され、自分の考えを形成しやすくしている。また、「書くこと」や「話すこと」領域では、それらを拠り所に形成した考えを、推敲し合ったり交流したりする活動が位置付けられ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が図れるように十分配慮されている。 全領域に「目標」と「振り返る」が位置付けられ、「知る」「読む」「つなぐ」の「知識及び技能」「思考・判断・表現」「学びに向かう力・人間性等」の3観点に該当する評価ポイントがチェック欄を付けて示されている。また、観点ごとに具体的な内容が明示されているため、「指導と評価の一体化」が図れるように十分配慮されている。 二次元コード読み取り学習コンテンツ数 1年…95、2年…84、3年…68 合計247 第2学年「話すこと・聞くこと」の題材「魅力的な提案をしよう」では、「表現テーマ例集」「学びの地図」「プレゼンテーションの例」の3つの二次元コードがある。発表の実践動画（2分39秒）は、全てを示さないことで生徒自身が続きを思考できるようによく配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> 全領域に「学びへの扉」が位置付けられ、「見通しをもつ（目標）→とらえる→読み深める→考えをもつ→振り返る」の5ステップで学習の流れが示され、教師と生徒が見通しをもって学習が進められるように大変よく工夫されている。「学びへの扉」は、学習の流れと学習のポイント「学びのカギ」が左右の見開きで示され、視覚的に分かりやすいように十分配慮されている。「学びのカギ」では、教材で身に付ける資質・能力をキーワードで焦点化や図解で可視化し、生徒の理解の助けとなるように十分工夫されている。 身に付けた資質・能力を活用して問題に取り組む「国語の力試し」では、自己採点・自己評価ができるようになっており、生徒が自学自習で活用できるようによく工夫されている。 1つの教材につき、2冊の関連図書（「広がる読書」）が紹介されており、学習を通して興味をもったことについて、生徒自ら継続して読書に取り組めるようによく工夫されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> 総ページ数 1年 344 ページ 2年 344 ページ 3年 340 ページ 重量 1年 579 g 2年 593 g 3年 582 g 各行の下に数字と点を付し、文章の行数を示している。 教材で身に付ける資質・能力を焦点化、可視化した「学びのカギ」や、教材内の表現に関連付けて語彙の拡充に資する「語彙ブック」「言の葉ポケット」がある。

【種目】 書 写

【発行者】 4 者

2 東京書籍

15 三省堂

17 教育出版

38 光村図書出版

種 目【書写】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるようよく工夫されており、楷書を学ぶ内容が12ページ、行書を学ぶ内容が16ページあり、適切な量が位置付けられている。また、「文字といっしょに」では、「手書き文字と活字」、「いろは歌」など文字文化に関するコラムや、「書いて味わおう」として国語教科書掲載作品の一節をなぞり書きするページを設け、文字文化への関心を高められるようによく工夫されている。 ・「生活に広げよう」の学習では、第1学年「職場訪問をしよう」、第2学年「地域の活動に参加しようー防災訓練」、第3学年「思いを文字で表そう」が位置付けられている。生徒に身近な題材例が示してあり、書写の学習で身に付けた知識・技能を、生活の場でどのように活用できるかを考えられるように十分工夫されている。 ・姿勢と筆記用具の持ち方及び基本の点画の書き方が、写真やイラストを用いて8ページにわたって丁寧に説明されている。また、手本を見ながら書き込める欄が多めに設定されているなど、基礎・基本を身に付けることができるように十分配慮されている。 ・書写の学習の流れが、「①目標→②見つけよう→③確かめよう→④生かそう→⑤振り返ろう」の5つの段階で明確に示してある。また、学習のポイントが「書写のかぎ」として位置付けられ、限られた時間内で効果的・効率的に力を付けられるように十分配慮されている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習をどのように生活に役立てるか考える学習「生活に広げよう」では、3学年を通して5単元が位置付けられている。学んだことを生活の中で活用するために、第1学年では「手紙を書こう」、第2学年では「本のポップを書こう」など、具体的な場面を想定して話し合う活動が設定され、協働的な学びが充実できるように十分配慮されている。 ・毛筆で学習したことを生かして硬筆で他の文字を書いたり、課題が解決できたかどうかを振り返ったりする場が設定されている。また、各学年に「書写テストに挑戦！」が3ページ設けられ、学習したことを振り返り、身に付けた知識・技能の定着と学力の向上を図ることができるようによく工夫されている。 ・デジタルコンテンツ数は32。運筆動画は生徒の視点に合わせて真上から撮影されている。再生する速度の調節ができ、ナレーションやテロップによる解説が入るため、教師が個別指導を行う間、教師から直接指導を受けていない生徒も筆の動きを確認しながら練習することができる。また、生徒が家庭学習でも自ら活用することができるようによく工夫されている。
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に、学習のポイントを焦点化した「書写のかぎ」、3つのステップ「1.見つけよう」「2.確かめよう」「3.生かそう」の学習過程が示されており、教師が指導計画を立てたり無理なく指導したりできるようによく工夫されている。また、二次元コードに教材の毛筆文字の運筆動画が用意されており、教師が一斉指導の際に活用することで、授業の効率化を図ったり、実技指導経験の少ない教師の補助として使ったりできるようによく配慮されている。 ・巻末資料「書写活用ブック」では、様々な書式の具体例を挙げて特徴や書き方の解説がされており、生徒が日常生活の中で目的に応じて活用できるように十分工夫されている。また、硬筆字典として、五十音表、常用漢字表、人名用漢字表の楷書と行書の文字が掲載されており、生徒が自分の名前を書くことに主体的に取り組めるよう十分配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数145ページ。B5変型判の紙面は、1ページの縦横比が半紙と同比率であり、128%拡大で半紙と同サイズになる。また表紙は耐久性を高める加工がされている。本文書体は、手書き文字の字形に近づけた特別な明朝体を使用されている。キャラクターの吹き出しや本文漢字の読み仮名等には、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・巻末資料「書写活用ブック」は、教科学習や生活で使う様々な書式を示し、解説付きでまとめられている。また、硬筆文字の漢字表など、文字を書くときに役立つ資料を収載している。

種 目【書写】

発行者【15 三省堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう工夫されており、楷書を学ぶ内容が18ページ、行書を学ぶ内容が22ページあり、適切な量が位置付けられている。また、「活字と手書き文字・筆順」や「文字の変遷」「書の古典」などを取り上げ、文字の役割や手書きすることの意義を認識できるようによく工夫している。 ・書写で身に付けた力を日常生活に生かせるように、各学年に「やってみよう」が位置付けられ、第1学年「グループ新聞を作ろう」、第2学年「情報誌を作ろう」、第3学年「名言集を作ろう」と、他教材や社会生活で活用できるように工夫されている。 ・「学習のはじめに」として、毛筆と硬筆の姿勢と構え方、筆や鉛筆の持ち方や運び方が、写真やイラストを用いて5ページにわたって分かりやすく説明されている。手本を見ながら書き込める欄も多く、基礎・基本を身に付けることができるように配慮されている。 ・各教材が見開きで構成されており、全ての教材に目標と振り返りが設定されている。教材冒頭の「書き方を学ぼう」では、書き方ポイントを取り上げ、学習する内容が一目で分かる構成になっている。また、毛筆で書いて習得したことを、他教科の学習や日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆による書き込みページが全11教材設けられている。学習したことについて多様な「書く」場面で主体的に活用できるようによく工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年の教材「身のまわりの文字」では、「それぞれの達人が大切にしている『文字』の魅力はどのようなところか、話し合おう。」や、第1学年の学年末教材「やってみよう」では「グループ新聞を作ろう」での読み合いの活動などが設定され、協働的な学びが充実できるように配慮されている。 ・単元終末には「書いて身につけよう」のページが設定されており、毛筆で学習したことを生かして硬筆で他の文字を書いたり、学んだことを自分の言葉でまとめたりする場が設定されている。第2学年には「学力テスト問題」を設け、学習者がこれまでの学習の定着度合いを自分で確認できるようによく配慮されている。 ・デジタルコンテンツ数は33。巻末に「二次元コード一覧表」が設けられており、各学年の補助教材や解説動画が収録されている。学習者は、二次元コードから学びに必要な動画を視聴することができ、主体的に学習に取り組めるようよく工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・左ページに手本、右ページに学習内容が配置されている。「①目標を確かめて学習の見通しをもつ『書き方を学ぼう』→②書き方のポイントをつかむ→③書き方のポイントが他の文字ではどこに使われているか見つける→④書き方のポイントを意識して毛筆で書く→⑤教材で学んだことを振り返る→⑥硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにする→⑦単元を通して学んだことが実際に活用できているか書いて確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる」という流れで学習する仕組みになっていて、適切な学習指導ができるように配慮されている。 ・単元末に設定されている「書いて身につけよう」や、その中の全国学力学習状況調査をふまえた「振り返ろう」内の課題を行うことで、生徒自身が学習内容の定着度合いを確認することができるようによく工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数120ページ。本文の書体は、独自の明朝体・ゴシック体を使用している。色覚の特性を考慮して、誰にでも見やすく学びやすい配色になっている。特に、学習上重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示したり、項目と項目の間には区切り線を引いたりするなど、他の項目との区別を明瞭にしている。 ・針金で3か所を綴じる製本方式で、3年間にわたる長期使用に十分耐えられるようによく配慮されている。硬筆で書く・消すといった使用に対応できる紙質の用紙を採用している。

種 目【書写】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるようよく工夫されており、楷書を学ぶ内容が 18 ページ、行書を学ぶ内容が 20 ページあり、適切な量が位置付けられている。また、第1学年「筆、墨、硯、紙について知ろう」、第2学年「短冊と色紙」など、文字に関するコラムを豊富に設け、文字に対する興味・関心を高められるようによく工夫されている。 ・「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」単元において、第1学年では国語や理科の学習に生かせる「校庭の植物の観察をレポートにまとめる」、第2学年では国語、特別活動の学習に生かせる「掲示物（ポスター）に案内を書く」などが位置付けられ、習得した書写の力を教科等横断的な学習活動や日常生活に活用できるよう、関連を図る配慮がよくされている。 ・姿勢と筆記用具の持ち方及び基本の点画の書き方が、写真やイラストを用い4ページにわたって丁寧に説明されている。また、手本を見ながら書き込める欄も設定されているなど、基礎・基本を身に付けることができるようによく配慮されている。 ・書写の学習の流れが、「①目標→②考えよう→③生かそう→④振り返ろう」と4つの段階で明確に示してある。また、学習のポイントが「考えよう」として提示されていることで、生徒が自ら学習課題を主体的に捉え、課題解決に向けて練習用紙を自己選択するなどして、意欲的に学習できるようによく工夫されている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」に「話し合い活動をとおした学び方」が位置付けられ、対話的な学びの支援となるように配慮されている。第2学年「さまざまな書く場面」では、話し合いの観点やたくさん具体例が提示され、協働的な学びの充実が図れるようによく配慮されている。 ・毛筆で学習したことを生かして硬筆で他の文字を書いたり、課題が解決できたかどうかを「○」「△」で自己評価したりする場を設定している。また、巻末「書式の教室」に「書写テストで確認」が位置付けられており、これまでに学んだ書写の学習内容の定着度合いが確認できるようによく工夫されている。 ・デジタルコンテンツ数は47。運筆動画は生徒の視点に合わせて真上から撮影されている。教師が個別指導を行う間、教師から直接指導を受けていない生徒が筆の動きを確認しながら練習することができる。また、生徒が家庭学習でも自ら活用することができるようによく配慮されている。
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」では、基本となる学習の流れが提示してあり、生徒も教師も学習の見通しをもちやすいように配慮されている。また、二次元コンテンツの動画で、「学習の進め方」や教材の毛筆文字の運筆が用意されており、教師が一斉指導の際に活用することで、授業の効率化を図ったり、実技指導経験の少ない教師の補助として使ったりできるように配慮されている。 ・文字に関するコラムが8つ掲載されている。生徒の発達段階に応じて、「文字の変遷を調べよう」や「歴史上の人物が残した文字」などのテーマを設定し、文字に対する興味・関心を高めることができるようによく配慮されている。また、補助教材集として、毛筆の楷書や行書などの文字の手本が掲載されており、生徒が学習を生かして、さらに主体的に取り組めるようによく工夫されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数は144ページ。A B判サイズで、表紙は撥水コーティング加工を施しているため、水や墨汚れに強い堅牢な造本となっている。毛筆基本紙面は、右側で文字をよく見てから、左側で学習ステップを追いながらポイントを確認することができる構成になっている。本文書体は、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・巻末に、小学校で学習した1,026字、中学校で学習する1,110字の楷書、行書の漢字一覧表が硬筆文字で掲載されている。

種 目【書写】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう十分工夫されており、楷書を学ぶ内容が18ページ、行書を学ぶ内容が20ページあり、適切な量が位置付けられている。また、第1学年「文字の歴史を探る」、第2学年「全国フォント見つけ隊」など、文字に関するコラムを豊富に設け、文字に対する興味・関心を高められるように十分工夫されている。 ・書写で身に付けた力を日常生活に生かせるよう、国語をはじめ、他教科や学校生活で活用できる教材が位置付けられている。第1学年では「情報収集の達人になろう」、第2学年では「職業ガイドをつくろう」・「防災フェスタを開こう」など、特に国語教科書と連動した内容で全11教材、学校生活・他教科に関連する内容が全9教材掲載され、大変充実している。 ・第1学年の導入段階で小学校の学習を振り返る単元が位置付けられており、小学校からの系統性を意識した構成の工夫が十分されている。また、第3学年では身の回りの多様な表現を通して文字の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことをねらいとする単元構成になっており、第1・2学年で身に付けた知識や技能を発展的に生かすことができるように十分配慮されている。 ・全教材に学習の進め方「①考えよう→②確かめよう→③生かそう→④振り返ろう」と4つのステップが示されており、学習者が見通しをもつことで、主体的に学習に取り組めるように十分配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年の単元「楷書と行書の使い分け」では、「①考えよう」で習得した書体に関する知識及び技能を学習者が目的や必要に応じて主体的に選択し、「②確かめよう」では、①で考えた理由を話し合い、「③生かそう」で場面を選んで選択した文字を書く活動が位置付けられている。協働的な学びとともに個別最適な学びも充実できるようによく配慮されている。 ・毛筆で学習したことを生かして硬筆で他の文字を書いたり、課題が解決できたかどうかをチェックして振り返ったりする場が設定されている。また、書写ブックには「書写テストに挑戦しよう」が2ページ設けられ、学びの定着や入試に対応でき、自己評価しながら自分で学習を進めるための工夫が十分されている。 ・デジタルコンテンツ数は60。特に「筆使い動画」は、筆使いと字形の両方が分かりやすいように、上からと斜めからの2アングルを組み合わせた映像を採用している。特に、左利きの学習者にも道具の置き方や運筆が分かる動画も収録していて、全ての生徒の学習活動が充実できるように十分配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学書写のスタートブック」には、書写の基礎・基本がすっきりとまとまっており、生徒も教師も見通しをもって学習を進めることができる。また、二次元コードに、教材の毛筆文字の運筆動画が用意されており、指導者が一斉指導する際の提示に効果的に役立つよう十分工夫されている。 ・別冊の「書写ブック」は、授業で学んだ毛筆の学習を硬筆に生かし、日常で活用できるように課題別のワークシート形式になっている。教科書のページが明記されており、教科書と併せて活用したり他教科の学習で活用したりできるように十分工夫されている。繰り返し学習や自己評価できる工夫があり、書写の知識や技能が身に付くように十分配慮されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数は165ページ。B5変型判の紙面は見開き1ページの縦横比が半紙と同じである。本文の書体については、読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を使用している。また、複数の色を用いる文字や図表などは、全ての学習者が明確に識別できる色の組み合わせになっており、ユニバーサルデザインを考慮した仕上がりになっている。 ・巻末には、「日常に役立つ書式」を示し、「手紙の書き方」「通信文の書き方」「送り状の書き方」など充実した資料が掲載されている。

【種目】 地理

【発行者】 4 者

2 東京書籍

17 教育出版

46 帝国書院

116 日本文教出版

種 目【地理】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・単位時間ごとに「チェック&トライ」を位置付け、学習課題に関連する基礎的な内容を本文から抜き出して確かめるように促すとともに、節の終末に「ワードチェック」(第2章 世界の諸地域：45 語)のコーナーを設け、関連したページから振り返るなど、学習における重要語句を振り返るようにしている。また、「スキルアップ」コーナーが系統立てて設定され、基礎的な知識や技能が確実に習得できるようよく工夫されている。 ・巻頭の「地理的な見方・考え方」について、具体的な1つの資料から「位置や分布」等、5つの視点を取り上げたり、単元の導入段階においても活用する「見方・考え方」が示したりしている。また、適宜働かせる見方・考え方のマークを示すなど、教師の指導・援助の言葉として活用できるよう、よく工夫されている。(世界の諸地域：30 箇所) ・社会に生きる人々の言葉が豊富(33 箇所)に掲載されていることや「聞かせて！中学生」コラムや持続可能な開発目標の特設ページ(4ページ)が設けられており、社会参画への興味・関心を引き出す工夫がなされている。 ・小学校や他分野、他教科との関連がある箇所をページ下に示している。特に、3年間の社会科学学習を貫く5つのテーマが設定され、分野関連を示すマークで示されており、学習の系統性が認識できるようよく工夫されている。 ・「みんなでチャレンジ」において、少数数での対話的な学びが設定されており、学んだことを確認したり、思考を整理・表現したりするなどできるよう工夫が十分なされている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい」を設け、本文中に出てくる用語や内容に関連する内容をより詳しく掲載し、本時の学びを広げ深められるよう工夫が十分なされている。 ・「未来にアクセス」を設け、現代社会の諸課題や、それらの解決に向けてどのような取り組みを行っているかを取り扱い、学習内容を持続可能な社会に向けての観点に繋がるよう工夫が十分なされている。(発展的な内容にかかわる特設ページ数：55) ・「チェック&トライ」で、本文の内容の再確認や本時の課題に関連した内容の説明を行う場を設け、学習の最後に学んだことを振り返られるようによく工夫されている。 ・「まとめの活動」で、3つの観点から学習のまとめを行うとともに、地図の読み取りや思考ツールを活用した考察等で評価できるようによく工夫されている。 ・二次元コードを読み取ることで、資料の読み取り方の動画視聴を行ったり、ワークシートや統計資料を活用したりして自主的に学習できるように工夫が十分なされている。(138 箇所)
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の第1時で「探究課題」を設定し、単元末に各観点に関する内容を確認する学習活動に取り組むことで、それらを用いて単元課題の答えを論述する構成になっており、単元で獲得したことを基に学ぶ見通しがもてるようよく工夫されている。 ・単元末に「地球的課題を振り返ろう」というコーナーを設け、学びの視点を広げる問い返しが位置付いており、学んだことへの興味をさらに高めるような手立てがよく工夫されている。 ・生徒の興味・関心を高めるため、「世界の窓」「聞かせて！中学生」などのコーナーや世界の諸地域の各単元の冒頭などで地図や写真、グラフなど多様な資料を位置付け、イメージが膨らむようよく工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 287 ページ、重量 557 g ・本文は 15 行から 27 行の間に収まり、必要な情報を精選し、文章でよく表現されている。 ・UDフォントを使用している。色覚特性にも配慮した色を使用している。 ・章のまとめや導入資料・追究資料で色彩に変化を付けてわかりやすく表現されている。 ・巻頭「世界の食事」「持続可能な社会の実現」、巻末「世界の畜産資源」「世界の農産物」について記載している。(巻頭に3ページ使用)

種 目【地理】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・単位時間ごとに「確認と表現」を位置付け、学習課題に関する基礎的な内容の要点をまとめたり、資料で確認するよう促したりするとともに、節の終末に「ワードチェック」(第2章 世界の諸地域：91 語)において、学習における重要語句を振り返るようにしている。また、「地理の技」コーナーが設定され、基礎的な地理的技能が段階的に身に付けられるようにするとともに、見開き下部には、関連分野のページが記載されて工夫されている。 ・巻頭の「地理的な見方・考え方」について「位置や分布」等、見方・考え方を具体的な例を文章で示したり、各ページに学習課題を解決につながる「地理的な見方・考え方」に関する問い返しを位置付けたりしており、教師の指導・援助の言葉として活用できるよう、よく工夫されている。(世界の諸地域：26 箇所) ・社会に生きる人々の言葉が適宜(9 箇所)掲載されていることや持続可能な開発目標の特設ページ(3 ページ)が設定され社会参画への興味・関心を引き出す工夫がなされている。 ・小学校や他分野の表記と単元名が記載されているまた、分野間の共通した内容も取り上げており、学習の系統性が認識できるようによく工夫されている。 ・視点を変えて学習内容を捉え直す「特設ページ」として、「クロスロード」が設定されており、様々な視点からグループで協働的に学びを深められるようよく工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理の窓」を設け、本文の内容からさらに一步発展させた内容を掲載し、本時の学びを深めるようよく工夫されている。 ・「クロスロード」を設け、単元で学習した内容と、持続可能な社会に向けての取り組みの視点を繋げることで、学びを深める工夫が十分なされている。(発展に関する特設ページ数：5 9) ・「確認」「表現」で、本時学習したことを活用して内容をまとめたり対話的活動を行う場を設けたりすることで、学習の振り返りができるようによく工夫されている。 ・「学習のまとめと表現」で、の3つの観点から学習を振り返られるようにするとともに、学習のテーマや視点を掲げ、評価の観点に沿って地図や表を活用できるよう工夫されている。 ・二次元コードを読み取ることで、作図の仕方や資料の読み取り方を動画で学んだり、学習した内容をクイズ形式で復習したりできるように工夫されている。(34 箇所)
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の第1時で「学習テーマ」を設定し、単元末に「学習のまとめと表現」を通じて観点別に学習を確認して、まとめや意見交換などができるように構成されており、単元で獲得したことを基に学ぶようよく工夫されている。(持続可能な社会の実現に関する活動が主体) ・単元末に「クロスロード」というコーナーを設け、持続可能な社会の実現に向けて考える場が位置付いていて、学んだことへの興味をさらに高めるような手立てがよく工夫されている。 ・生徒の興味・関心を高めるため、世界の諸地域の各単元の冒頭などで地図や写真、グラフなど多様な資料を位置付け、学習する場所のイメージを膨らますよう工夫されている。(世界の諸地域でも、日本の諸地域でも見開き1枚割いている。)
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 297 ページ、重量 599 g ・本文は 15 行から 23 行の間に収まり、必要な情報を精選し、文章でよく表現されている。 ・UDフォントを使用している。色覚特性にも配慮した色を使用している。 ・基本的に各章で色が変わっていて章のまとまりがわかりやすく表現されている。 ・巻頭「地理の学習を始めるにあたって」「持続可能な社会の実現」、巻末「世界の畜産資源」「世界の農産物」について記載している。(巻頭は文字が中心。4 ページ使用。)

種 目【地理】

発行者【46 帝国書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・単位時間ごとに「確認しよう・説明しよう」を位置付け、学習課題に関連する基礎的な内容を主に教科書の資料や地図帳で確認するよう促すとともに、節の終末に「節の重要語句」（第2章 世界の諸地域：112 語）において、学習における重要語句を振り返るようにしている。また、地理的学習の基礎的な技能を系統的に習得する「技能をみがく」コーナーや写真資料の撮影方法やレイアウトによって資料活用の技能の向上を図ると共に、「地図帳活用」（56 箇所）を通じて地図帳を用いて学習を深めるよう工夫が十分なされている。 ・巻頭の「地理的な見方・考え方」について、9つの資料を基に示すとともに、各ページに学習課題の解決につながる「地理的な見方・考え方」に関する問い返しを位置付け、教師の指導・援助の言葉として活用できるようよく工夫がされている。（世界の諸地域：39 箇所） ・社会に生きる人々（22 箇所）や持続可能な開発目標の特設ページ、「未来に向けて」のコラムを設けて具体的な取組を紹介するなど、社会参画意識を高める工夫が十分なされている。 ・小学校や他分野、他教科との関連がある箇所をページ下に示すとともに、単元名が記載されており、学習の系統性が認識できるように工夫が十分されている。 ・「学習を振り返ろう」コーナーでは、グループでの対話的な学びが設定されており、学んだことを確認したり、思考を整理・表現したりできるようよく工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理プラス」を設け、学習内容に関連した事例をコラムで紹介したり、地域の新しい動きや取り組みを紹介したりするなど、学びを深める工夫が十分なされている。 ・「未来に向けて」を設け、コラムや特設ページで持続可能な社会の形成に向けた取り組みの事例を示したり、他分野の学習との関連を図ったりするなど、学びを広げ深める工夫が十分なされている。（発展的な内容にかかわる特設ページ数：54） ・「確認しよう」「説明しよう」で、重要語句の書き出しや資料からの確認をしたり、自分の言葉で説明したりすることを通して、学習の振り返りができるようにするとともに、毎時間単元を貫く課題について考える構成として、観点別評価と対応するよう工夫が十分なされている。 ・「学習を振り返ろう」で、学習内容を地図で整理し、章や節の問いについて考えをまとめる場を設定するなど、単元を貫く課題を通して学習を振り返られるように工夫が十分なされている。 ・二次元コードを読み取ることで、学習を振り返るためのワークシートの使用や、資料の活用法を図解したアニメーションの視聴、重要語句の用語解説などのコンテンツを使用することができ、自主的に学習できるように工夫が十分なされている。（85 箇所）
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の第1時で「節の問い」を設定するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて思考できる学習課題を毎時間位置付け、単元末には単元の学習を基に考えが深まるよう工夫が十分なされている。（「主体的」については選択式評価と学びたいことを出す活動が該当） ・単元末に「アクティブ地理」「未来に向けて」というコーナーを設け、持続可能な社会の実現に向けて考えさせる場があり、学びへの興味を高める手立ての工夫が十分なされている。 ・生徒の興味・関心を高めるため、「写真で眺める〇〇」というコーナーを通じて地図や写真等から学習する地域のイメージを膨らませたり、語句の解説を脚注に設けて本文を読みやすくしたりするなどの工夫が十分なされている。（日本の諸地域はイラスト地図も位置付いている。）
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 297 ページ、重量 593 g ・本文は 15 行から 20 行の間に収まり、必要な情報を精選し、文章でよく表現されている。 ・UDフォントを使用している。色覚特性にも配慮した色を使用している。 ・章のまとめりや導入資料に色を付けたり、最新の写真や統計資料を掲載したりして工夫が十分なされている。・巻頭「持続可能な開発目標」「思考ツール」など、巻末「世界の家畜資源」「世界の農産物」について記載している。（巻頭に 10 ページ使用。）

種 目【地理】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・単位時間ごとに「確認・表現」を位置付け、学習課題に関連する内容を主に本文を抜き出すことから確認するよう促すとともに、「節の重要語句」（第2章 世界の諸地域：108 語）において、節で学んだことを語句中心に振り返ることができるようにしている。また、地理的技能を系統的に習得できるように6種類の技能に整理した「スキルUP」コーナーを位置付けており工夫されている。 ・巻頭や単元の冒頭に「見方・考え方」が示されている。また、各ページに学習課題を解決につながる「地理的な見方・考え方」に関する問い返しが位置付いていて、教師の指導・援助の言葉として活用できるようよく工夫されている。（第2章 世界の諸地域：24 箇所） ・社会に生きる人々の言葉（20 箇所）や持続可能な開発目標の特設ページ（7 ページ）が設定されている。「持続可能な地域を目指して」ページを設け、現代的な事象を具体的に取り上げて理解を深める教材としており工夫されている。 ・小学校や他分野や他教科との関連がある箇所をページ下に示しており、学習の系統性が認識できるように工夫されている。 ・「編（章）の問いに答えよう」コーナーでは、グループでの対話的な学びが設定されており、学んだことを確認したり、思考を整理・表現したりできるよう工夫が十分なされている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理+α」を設け、近年の具体的な例を紹介するなどして、学習内容の理解を助け、学びを深められるよう工夫されている。 ・「持続可能な地域をめざして」を設け、特定の地域を事例とし、持続可能な社会へ向けた課題や取り組みを紹介することで、その地域の姿をより鮮明に捉えることができるような工夫されている。（発展的な内容にかかわる特設ページ数：31） ・「確認」「表現」で、本時の学習課題に対応した本文ページの内容を確かめるための問いを設定し、学習の振り返りができるようによく工夫されている。 ・「まとめと振り返り」で、3つの観点から学習のまとめを行えるようにするとともに、単元で「議論してみよう」を設定し、課題についての考察や構想を促す工夫がなされている。 ・二次元コードを読み取ることで、イントロダクションムービーの視聴や確認小テスト、ワークシートの使用ができるなど、ICTを活用した学習活動が行えるようよく工夫されている。（153 箇所）
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の第1時で「節の問い」を設定し、単元末に「知識・技能」「思考・判断・表現」「学びに向かう力」を確認する学習活動が位置付き、単元で獲得したことを基に学ぶ見通しがもてるよう、よく工夫されている。（「主体的」は学習前後の自分の状況の比較をさせる活動が該当） ・単元末に「議論してみよう」というコーナーを設け、持続可能な社会の実現に向けて考える場が位置付いていて、学んだことへの興味をさらに高めるような手立てがよく工夫されている。 ・生徒の興味・関心を高めるため、世界の諸地域の各単元の冒頭などで「写真で見る○○」というコーナーが位置付き、地図、写真などの資料から学習する場所のイメージを膨らますよう工夫されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 305 ページ、重量 600 g ・本文は 15 行から 22 行の間に収まり、必要な情報を精選し、文章でよく表現されている。 ・UDフォントを使用している。色覚特性にも配慮した色を使用している。 ・各章で色が変わっていて章のまとまりが分かりやすく表現されている。 ・巻頭「持続可能な社会の実現」「教科書の構成」など、巻末「世界の畜産資源」「世界の農産物」について記載している。（巻頭に 9 ページ使用）

【種目】 地図

【発行者】 2 者

2 東京書籍

46 帝国書院

種 目【地図】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・合計「176 ページ」世界「27 ページ」日本「49 ページ」主題図「78 ページ」活用「6 ページ」その他「16 ページ」という内容で構成されている。特に 50 万分の 1 の地図における土地利用表現が 9 種類の色分けがされていることや、高低差を陸地 3,500m、海の深さ 4,000m まで示され、詳細に土地の様子を調べる学習ができるように工夫されている。 ・「この地図帳の地図記号」「この地図帳の使い方」等のページにおいて、地図の使い方を説明している。特に、巻頭では折り込みページに「この地図帳の地図記号」「一般図を見てみよう」「主題図を見てみよう」と順に例示されており工夫されている。 ・日本の領土とともに写真と解説が示され、あわせて日本の排他的経済水域が示されている。特に、日本の東西南端だけでなく、領土について外交問題が発生している尖閣諸島や竹島の写真も掲載され、学習の内容を十分踏まえている。 ・歴史マークが 13 箇所、公民マークが 14 箇所に示されている。江戸時代末期の江戸の様子や原子爆弾投下時の長崎・広島など、歴史学習での活用がなされるように配慮されている。 ・主体的な地図の活用に関わる問いの数が「131」示されている。特にキャラクターが主体的・対話的な学習を促す問いを投げかけており、主体的に学習を進められる工夫がよくされている。
2 第 4 次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料や統計資料、主題図等、一般図以外の資料（505 個）が位置付けられている。特に、1 つの主題図の中に、位置や分布に関する情報が複数含まれているだけでなく、「ジャンプ」というアイコンを用いて、他の単元での学習と関連付けられるようにしている。学習課題の解決に向けて、個々の追究の視点に応じた学び方を選択したり、生徒同士で協働的に話し合って追究したりできるように工夫がよくされている。 ・各ページにおいてキャラクターによる学びを深める問い（22 個）が位置付けられている。アフリカの国々の国境線の特徴を見つけてその理由を考えたり、自分の身の回りで起こりやすい自然災害の例を挙げたりするよう促しており、自ら学びを深めるよう工夫が十分なされている。 ・一般図と主題図のそれぞれのページに、二次元コード（82 個）が豊富に位置付けられている。内容としては、次のとおりである。「デジタル地球儀」「デジタルマップ」「世界と日本の統計」「地理的技能の練習」「世界の国クイズ」「白地図画像」「各ページの問いの解答」等。ICT を活用して習熟度や学習方法に応じた学びが進められるように工夫が十分なされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を深く読み取るための問いが位置付けられている。（世界の諸地域で 29 個、日本の諸地域で 33 個）また、1 つの資料を用いて読み取るよう促す問いや、資料からさらに調べたり、考えたりするよう促す問いなど、問いに段階性をもたせている。若手教員が、生徒の学びを広げたり、深めたりするために発問を工夫できるようよく工夫されている。 ・一般図以外に、統計資料（100 個）や主題図（225 個）を位置付けている。地図と関連付けて地理的特色を捉えられるように工夫されている。 ・キャラクターの問いかけについて、自分で調べたり、考えたりしたことを確認できるように二次元コードを位置付けている。また、関連する資料や分野を示したり、現代の諸課題につながる課題に関する資料を取り上げたりして、生徒が自ら学べるようよく工夫されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A 4 判、総ページ数：176 ページ、重量：540 g ・50 万分の 1 の地図における土地利用の表現(商業地、住宅地、森林・公園・草地等)が 9 種類で示されている。 ・陸地の高さや海の深さを表す基準となる色をより細かく区分することにより、地形の凹凸を視覚的に捉えやすくしている。 ・明るくメリハリのある色彩で色覚特性のある生徒に配慮されている。

種 目【地図】

発行者【46 帝国書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・合計「198 ページ」世界「29 ページ」日本「45 ページ」主題図「92 ページ」活用「11 ページ」その他「21 ページ」という内容で構成されている。特に7種類の土地利用表現が各ページに凡例が示されていたり、主題図が同縮尺で統一されていたりして、見やすさや活用のしやすさの工夫が十分なされている。 ・「この地図帳の凡例」「この地図帳の使い方」等のページにおいて、地図の使い方を説明している。特に、巻頭では折り込みページに「地図記号」「地図の種類」「活用の仕方」などが一覧にして示されている。 ・日本の領土とともに写真が示され、あわせて日本の排他的経済水域が示されている。また、領域や模式図や主な国の排他経済水域の面積に比較もされており、学習の内容を十分踏まえている。 ・歴史マークが 31 箇所、公民マークが 15 箇所に示されている。特に歴史に関する鳥観図では、江戸時代の地名が明記され、歴史学習における活用の工夫が十分なされている。 ・主体的な地図の活用に関わる問いの数が「142」示されている。特に、「地図で発見！」において、主体的・対話的な学習を促す問いが設定されており、主体的な学習を進める工夫が十分なされている。
2 第 4 次岐 阜 県 教 育 振 興 基 本 計 画 の 内 容 に 関 す る 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料や統計資料、主題図等、一般図以外の資料（749 個）が豊富に位置付けられている。特に、一般図の後に多様な写真資料や主題図が見開きで掲載されているため、地図を活用して地域的特色が多面的に捉えることができる。地図上の土地利用の様子を点と線と面の要素を重ねて関係性を考えるよう学び方が示されていることにより、仲間とともに互いの見方・考え方を働かせながら地域的特色を明らかにするようによく工夫されている。 ・学びを深める問い（14 個）が位置付けられている。ハウス栽培の盛んなところとの共通点を考えたり、マゼランが通った海峡を調べ、現在のパナマ航路の利点を見出したりするなど、地図を見て確かめる問いと読み取ったことから考えを深める問いの構成がよく工夫されている。 ・一般図と主題図のそれぞれのページに、二次元コード（55 個）が位置付けられている。内容としては、次のとおりである。「小学校の振り返り」「地図の基礎・基本」「地図帳 SDG s 対照表」「世界と日本の地図・資料」「歴史地図」「各ページの問いの解答」等。ICTを活用して基礎・基本の習得や地図を活用した学びが進められるように工夫が十分なされている。
3 東 濃 地 区 の 教 員 及 び 生 徒 の 実 態 を 踏 ま へ た 教 育 の 充 実 に 関 す る 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を基に確認したり深めたりする問いが各ページに位置付けられている。（世界の諸地域で 55 個、日本の諸地域で 65 個）基礎的な内容から発展的な内容まで、様々な段階の問題で構成されている。若手教員が地図を活用して位置や分布を視点に捉えるよう促したり、複数の図を関連付けて考えるよう発問したりできるよう工夫が十分なされている。 ・一般図以外に、絵図（57 個）や写真資料（204 個）を多く位置付けている。地図と資料を関連付けて地理的特色を捉えられるように工夫が十分なされている。 ・鳥観図上にイラストを配置している。地域的特色を分かりやすく大観できるようにするとともに、生徒が世界や日本の諸地域に対して興味をもち、他地域と比較しながら自ら調べようとする意欲を喚起するよう工夫が十分なされている。
4 表 現 や 体 裁 等 に 関 す る 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判、総ページ数：198 ページ、重量：510 g ・50 万分の 1 の地図における土地利用の表現が 7 種類(市街地等)で示され、各ページに凡例を位置付けている。 ・ほとんどの主題図が、同縮尺で統一されており、地図を関連付けながら地域的特色が明らかとなるよう工夫が十分なされている。 ・5色印刷で淡く明るい色彩で、色覚特性のある生徒に配慮されている。

【種目】 歴史

【発行者】 9 者

2 東京書籍

17 教育出版

46 帝国書院

81 山川出版社

116 日本文教出版

225 自由社

227 育鵬社

229 学び舎

236 令和書籍

種 目【歴史】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・第一章「歴史へのとびら」において、歴史的な見方・考え方として「時期や年代、推移、比較、相互の関連、現在とのつながり」について示し、歴史をとらえるための基礎的な技能が身に付くよう大変よく工夫されている。 ・「スキルアップ」のコーナーを設け、歴史の学習に欠かせない基礎的・基本的な技能を身に付けることができるよう大変よく工夫されている。 ・章のはじめに小学校で学習した語句や資料を取り上げたり、他分野との関連がマークで示されたりと、系統性や関連性がよく工夫されている。 ・他教科とのつながりのある箇所にマークが付けられ、具体的に示されており、他教科との関連を意識できるよう大変よく工夫されている。 ・単位時間ごとに、課題追究ができる「問い」「資料」「資料の見方」「チェック」「トライ」が設定されており、主体的な学びを促すよう大変よく工夫されている。 ・章のはじめに「探究課題」と「探究のステップ」が示され、章末で「確かめ」「振り返り」「深め」ができるよう大変よく工夫されている。 ・SDGs に特化したページや記述があり、現代の諸課題について深く考えることができるようよく工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでチャレンジ」のコーナー（36 箇所）、「もっと知りたい」のコーナーが設けられており、生徒個々が学びを深めたり、他者と対話的に学んだりすることができるようよく工夫されている。 ・ウェビングやクラゲチャート等、思考ツールを積極的に用いて、対話的な学びに対応するための工夫が大変よくされている。 ・毎時間の学習課題に対して、「チェック&トライ」が設けられており、生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価のための工夫が大変よくされている。 ・各章の終末において、ウェビングやステップチャートといった思考ツールを使用した「まとめの活動」が設けられており、思考を整理し、学びを深められるよう大変よく工夫されている。 ・二次元コード個数（136）が多く、QR コンテンツで思考ツールが充実しており、ICT を活用した学習活動の充実のための工夫が大変よくされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・章末のまとめの活動では、探究のステップとして「節」ごとに「知識・技能」を問う問題を解かせたり、クラゲチャート等の思考ツールから、対話を促したりするようよく工夫がされている。 ・深めよう（思考・判断・表現）のコーナーでは、探究課題が示され、フィッシュボーンなどの思考ツールから、対話的・協働的な学習を促すようよく工夫されている。 ・「もっと知りたい」のコーナーが全7箇所位置付けられ、生徒の興味関心を引き出し、主体的な学習を促すような工夫がよくされている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 287 重量 574g ・UD フォントを使用し、色覚特性にも配慮した色を用いている。 ・立体感のある表現等を省いたデザインが用いられ、見出しは色枠囲みでゴシック体の黒字を使用している。本文行数は基本的に 20 行以内に収められている。 ・用語解説、人名索引、事項索引が掲載されている。

種 目【歴史】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・第一章「歴史のとらえ方・調べ方」において、年代の表し方や時代の分け方を掲載するとともに、「時期や推移、比較、関連」などの歴史の見方・考え方や、教科を横断した見方・考え方にも触れ、歴史を学ぶ基本的な技能が身に付くよう、よく工夫されている。 ・「歴史の技」のコーナーで、歴史学習の基本的な技能を、具体的な資料をもとに身に付けられるよう、よく工夫されている。 ・各章のはじめに、小学校で学習した人物と簡単な年表を位置付けたり、小学校で学習した人物の資料には「小学校」というマークが付けられたりするなど、系統性が意識できるよう、よく工夫されている。 ・見開き2ページを単位時間として、学習課題の提示や、確認・表現のコーナーによって、主体的に学習に取り組めるように大変よく工夫されている。 ・章のはじめに「学習の見通し」が示され、章末の「学習のまとめと表現」のページで章の学びをまとめられるよう、よく工夫されている。 ・「歴史学習のおわりに」で、SDGs の観点と歴史とのつながりに触れ、未来について考えることができるよう、よく工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航を事例にして、推移、比較などの歴史的な見方・考え方の働かせ方について例示されているなど、学び方の提示に具体性があり大変よく工夫されている。 ・様々な立場（女性や子どもなど）からの追究を促しており、多面的・多角的な追究ができるようによく工夫されている。 ・毎時間ごとに「学習課題」（学習の見通し）と、「確認／表現」（振り返り）を設け、生徒の学習改善につながる学習評価のための工夫がよくされている。 ・章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎・基本の確実な定着を促している。また、自ら考察し、集団で表現し合う活動を位置付け、学習した知識や思考の過程を再確認することができるようよく工夫されている。 ・二次元コード（21）を読み込むと、より詳しい資料の読み取りのステップやポイントを、動画で視聴することができ、ICTを活用した学習活動の充実のための工夫が大変よくされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「節」の導入では「節」を貫く課題が設定され、学習課題と関連する資料や史実を通して、課題解決に向かう構成となっている。また、評価の窓口として「確認」と「表現」が位置付けられ授業終末のまとめができるようよく工夫されている。 ・章末の活動において、年表や表によるまとめが位置付けられ、時代を大観させたり、時代の特色のまとめ方（ホップ・ステップ・ジャンプ）が示され、思考の方法を学んだりすることができるようよく工夫されている。 ・本文中に資料番号が記されており、掲載資料と関連付けて学ぶことができるようよく工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 298 重量 624g ・UD フォントを使用し、色覚特性にも配慮した色を用いている。 ・グラフ資料等の破線等の縮減がなされ、見出しの帯はゴシック体の黒字で表記されている。本文行数は基本的に20行以内に収められている。 ・人名索引、事項索引が掲載されている。

種 目【歴史】

発行者【46 帝国書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で「教科書を活用した学び方、歴史的分野の学習の全体像、歴史的な見方・考え方、思考ツールの活用」などのスキルが身に付くよう、大変よく工夫されている。 ・「技能をみがく」のコーナーで、歴史的な見方・考え方を働かせる上で必要な、基礎的・基本的な技能を身に付けられるように大変よく工夫されている。 ・第一章「歴史のとらえ方と調べ方」、各章のはじめにおいて、小学校で学んだ人物や出来事を提示したり、ページごとに小学校や他分野との関連が示されたりと、系統性が意識できるよう、大変よく工夫されている。 ・他教科との関連が語句とともに具体的に示されており、関連性が意識できるよう、よく工夫されている。 ・単位時間ごとに、課題追究ができる「問い」「資料」「資料の見方」「確認しよう」「説明しよう」が設定されており、主体的な学びを促すよう大変よく工夫されている。 ・章のはじめに、「章の問い」「節の問い」が示され、章末の「学習事項の確認」「章の振り返り」で章の学びを確かめ、対話を通して学びを深められるよう大変よく工夫されている。 ・「未来に向けて」で、SDGsに関連した記述があり、巻末「これからの社会を構想しよう」のページで、社会的な課題の解決について考えられるよう工夫が十分なされている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史 AL」にて、学びを深めたり、対話的に学んだりすることができるよう大変よく工夫されている。 ・女性や子ども、被差別民、少数民族など、様々な人々の視点から多面的・多角的に追究ができるよう大変よく工夫されている。 ・章の問い、節の問い、単位時間の学習課題、「確認しよう」「説明しよう」が設けられていて、単元や単位時間における学習評価につなげることができ、学習評価のための工夫が大変よくされている。 ・章末に自己の変容を感じ取ることができる問題が設定されており、生徒の学習改善を図る工夫が大変よくされている。 ・二次元コード(64)があり、「思考ツールアイコン」を付して活用を促したり、整理されて使いやすいコンテンツが用意されていたりするなどICTを活用した学習活動が充実するよう大変よく工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・章末の学習では、導入で扱った「タイムトラベル」を想起させながら、見方・考え方を深める協働的な学習を位置付けている。また、主体的な学びを評価する項目があり、経験年数の浅い教員でも評価しやすいよう工夫が十分なされている。 ・各節の途中に「歴史を探ろう」という読み物コーナーが全11箇所設けられている。例えば琉球王国やアイヌ民族の暮らしでは、写真資料や地図資料から当時の様子を詳しく紹介し、徳川幕府との関係性について、主体的な学びを推奨するよう大変よく工夫されている。 ・各章の中に「世界とのつながりを考えよう」という時間が位置付けられ、イラストや地図を使って興味関心を引く工夫が大変よくされている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数314 重量651g ・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色を用いている。 ・グラフ資料等の破線等が縮減され、見出しは、色枠囲みでゴシック体の黒字で記されている。本文行数は基本的に20行以内に収められている。 ・人物索引、事項索引が掲載されている。

種 目【歴史】

発行者【81 山川出版社】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章「歴史との対話」において、「年代の表し方、時代区分、歴史を大きく変えた人物」などの歴史を考える際に必要な知識が身に付くよう、よく工夫されている。 ・各章のまとめにおいて「変化」「経過」「立場」などの見方や考え方をを用いて学習がまとめられるよう、よく工夫されている。 ・「歴史を大きく変えた人物」の部分で、小学校で学習した人物を取り上げたり、「ステップアップ」のコーナーで、発展的な内容や主権者教育につながる問いを示したりと系統性を意識できるよう、よく工夫されている。 ・学習課題の提示、必要な資料の掲載を行い、主体的な学びができるよう、よく工夫されている。 ・章のはじめに学習の見通しがもてるよう、その時代を概観できるような年表が示され、章末で学習をまとめるような問いが示されるなど、単元を通して学びが深まるよう、大変よく工夫されている。 ・「歴史へのアプローチ」「地域からのアプローチ」のコーナーを設け、SDG sにつながる視点を学ぶことができるよう、大変よく工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史へのアプローチ」が設定（10箇所）されており、発展的な学習に活用することができるようによく工夫されている。 ・学習内容を踏まえて取り組む発展的な課題「ステップアップ」が設けられており、生徒の興味・関心に応じた学習の充実が図れるようよく工夫されている。 ・基本的に見開きで一単位時間となっており、学習課題とそれに即した「ステップアップ」が設定され、指導と評価の一体化につながる学習評価のための工夫がよくされている。 ・自分の言葉で多面的・多角的に学習内容を振り返る「まとめ」を位置付け、生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価のための工夫がよくされている。 ・二次元コード（40）を使用して、資料の解説や動画資料を視聴できるようによく工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入では、見開き2ページの中央に日本と世界の年表があり、上段に日本の写真資料、下段に世界の写真資料が掲載され、「章」の見通しをもちやすいようよく工夫がされている。 ・単位時間の終末では、深めの問いが示され、QR コンテンツと関連させながら、学びの連続性を図る工夫がよくされている。 ・章末の活動では、大きな文字や図、表による問いが示され、直接教科書に書き込みながら学習を振り返られるよう工夫がよくされている。 ・本文中に資料番号が記されており、掲載資料と関連付けて学ぶことができるようよく工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 288 重量 610g ・UD フォントを使用し、色覚特性にも配慮した色を用いている。 ・グラフ資料等の線種や記号で区別されている。見出しは、色枠囲みでゴシック体の黒字で記し、本文行数は基本的に 20 行以上で記されている。 ・人名索引、事項索引が掲載されている。

種 目【歴史】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・第一章「私たちと歴史」において、歴史的な見方・考え方として「時系列、推移、比較、つながり」と分類するとともに、毎時間ごとに働かせる見方・考え方をマークで示し、学びに活用できるよう大変よく工夫されている。 ・「スキル up」のコーナーを設け、情報収集、読み取り、まとめの技能が身に付くように大変よく工夫されている。 ・各章のはじめに、小学校で学んだ人物について年表で掲載したり、ページごとに、小学校の内容や他分野とのつながりを示したりと、学習に系統性をもたせるよう、よく工夫されている。 ・他教科の内容と関連するコーナーを多数掲載し、他教科との関連が分かるよう工夫されている。 ・単位時間ごとに学習課題を示し、確認、表現のコーナーを設けており、主体的な学びを促すよう、大変よく工夫されている。 ・章のまとめにおいて、知識の確認とともに、対話的な学びを促す活動を取り入れ、深い学びが実現できるよう、大変よく工夫されている。 ・巻頭に SDG s に関するページを設けるとともに、各時代でコラム等を掲載し、よりよい未来について考えられるよう大変よく工夫されている。
2 第 4 次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジ歴史」では、発展的な学習内容であっても、学習の流れを具体的に提示することにより、全員が学習に参加できるよう大変よく工夫されている。 ・歴史学習に取り組みながら公民的資質の基礎を育むことができるよう「歴史にチャレンジ」で生徒一人一人に価値判断を迫る授業を設けており、合意形成を図る学びが体験できるよう大変よく工夫されている。 ・節の問いや編の問いに対して、ポートフォリオで自分の考えを残し、学習課題も評価の観点ごとに示されているため、生徒も教職員も指導の改善につなげる評価ができるよう大変よく工夫されている。 ・編の始まりに編の問いを立てる学習過程を教科書で明らかにしている。編の問いと節の問い、学習課題との関連性に気付くことができるよう大変よく工夫されている。 ・二次元コード (144) を読み取り確認テストを行うことができたり、資料、映像を見ることができたりするなど I C T を活用した学習活動の充実のための工夫がよくされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・編の導入では、これまでの学習を振り返る QR コンテンツが用意され、年表や画像を振り返りながら「編」の学習の見通しをもたせる工夫がされている。また、イラストの人物の吹き出しから興味関心を引き出したり、学習課題を見つけ出させたりするよう工夫がよくされている。 ・編末の活動では、年表や地図、イラストなどを利用し、これまでの学習を振り返る工夫がよくされている。 ・各編に「歴史を掘り下げる」というコーナーが設けられ、生徒の疑問や興味関心に応じた構成となっている。また、QR コンテンツから動画を視聴することができ、より深い学びにつながるようよく工夫がされている。 ・本文中に資料番号や見方・考え方が記されており、掲載資料と関連付けて学ぶことができるようよく工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総数 307 重量 621g ・UD フォントを使用し、色覚特性にも配慮した色が用いられている。 ・色に頼らないグラフを掲載し、見出しは、色なし帯にゴシック体の黒字で記されている。本文行数は基本的に 20 行以内に収められている。 ・歴史学習の基礎資料、人名索引、事項索引が掲載されている。

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・序章「歴史のとらえ方」において、時代区分や史料などの説明があり、歴史をとらえる際の基礎知識が学べるよう、よく工夫されている。 ・「チャレンジ」のコーナーで変化、経緯、表にまとめるなどの技能を身に付けられるよう、よく工夫されている。 ・各章の冒頭に小学校で学んだ人物を中心に、時代を見通すコーナーが設けられ、小学校の学習との関連が図られるよう、工夫されている。 ・見開き2ページを1つのまとまりとして、学習課題が設けられ、チャレンジのコーナーでまとめができるよう、よく工夫されている。 ・各章の終末に「調べ学習」「復習問題」「時代の特徴を考える」「対話とまとめ図」のコーナーが設定されており、学んだことを生かしてより深く学ぶことができるよう、よく工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい」において、本文の内容を深めたり、異なった視点で歴史的な事象を捉え直したりと、学習を広げ、深めていくことができるよう工夫されている。 ・時代の特徴を考えるページで言語活動の充実が図られるようよく工夫されている。 ・復習のページで基礎・基本の定着を図ることができるようよく工夫されている。 ・調べ学習でインターネットの活用を促す表記があり、ICTを活用した学習活動の充実のための工夫がされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の流れが見開き2ページで構成され、学習の見通しや学習の流れが分かりやすい工夫がよくされている。 ・1単位時間の終末では「チャレンジ」コーナーが設けられ、生徒が課題を振り返ることができるような構成となっている。そのため、教師も評価がしやすい工夫がよくされている。 ・各章には「もっと知りたい」コーナーが設けられ、生徒の興味関心に応じた深い学びにつながるようよく工夫されている。 ・章末問題では、これまでに学習したことを想起させながら「わかったこと」を再度確かめる工夫がよくされている。 ・本文中に資料番号や見方・考え方が記されており、掲載資料と関連付けて学ぶことができるようよく工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数300 重量611g ・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色が用いられている。 ・見出しは、ゴシック体の黒字で記されている。本文行数は基本的に20行以内に収められている。 ・歴史学習の基礎資料、人名索引、事項索引が掲載されている。

種 目【歴史】

発行者【227 育鵬社】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・序章「歴史的な見方・考え方を働かせる」において、歴史学習において必要な「比較・相互の関連・現在とのつながり」などの見方や考え方を身に付け、各ページの「見方・考え方」のコーナーで実際に活用できるよう、よく工夫されている。 ・「資料活用」のコーナーを設け、情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりすることができるよう、よく工夫されている。 ・序章「歴史の流れと先人の活躍」において、小学校での学習内容を取り上げたり、「現代の日本と世界 これからの世界と日本」の中で、公民的分野につながる内容を取り上げたりするなど、系統性が工夫されている。 ・学習内容を見通す「課題」、基礎的・基本的な内容を振り返る「確認」、まとめたり説明したりする「探求」を設定し、主体的な学びができるよう、よく工夫されている。 ・各章のはじめに「章の課題」「節の課題」を設け、「学習のまとめ」で時代を大観し表現できるよう、よく工夫されている。 ・これからの日本と世界の時間に SDG s について取り上げ、現代社会の課題について歴史的経緯を踏まえて考察できるよう工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史ズームイン」(18箇所)を設け、本文の内容を深めたり、異なる視点からの捉えをしったりするなど学習を深めることができるよう工夫されている。 ・学習課題を解決する「確認」と「探究」が設定されており、生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価のための工夫がよくされている。 ・各章末の「学習のまとめ」では、生徒が各時代の政治、産業、社会、文化などを、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、言葉や図で表すことなどによって、時代の特色をとらえる課題を設定しており、言語活動の充実を図るための工夫がよくされている。 ・二次元コード(7)を読み取り、資料を見ることができ、ICTを活用した学習活動の充実のための工夫がされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の流れが見開き2ページで構成されており、学習の流れや見通しをもたせやすい工夫がよくされている。 ・ページ内に「見方・考え方」を深める「問い」があり、主体的に取り組むことができるようよく工夫がされている。 ・章末の活動において、「歴史ズームイン」、年表によるまとめが位置付けられ、学習のまとめ方が身に付けられるようよく工夫されている。 ・本文中に既習内容のページ番号や資料番号が記されており、既習事項と関連付けて学ぶことができるようよく工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数292 重量602g ・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色や形が用いられている。 ・見出しは、色枠囲みにゴシック体の黒字で記され、本文行数は基本的に20行以内に収められている。 ・人名索引、事項索引が掲載されている。

種 目【歴史】

発行者【229 学び舎】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「歴史への案内」において年代の表し方や時代の区切り方について記載するとともに、比較を中心とした見方・考え方が身に付くよう工夫されている。 ・各章末「歴史を体験する」の中で、人物調べや年表まとめなどの技能を身に付けるよう工夫されている。 ・巻頭で小学校での学びを振り返る活動を設定したり、現代社会の学習において公民的分野にも関わる内容を記載したりするなど、系統性を意識して工夫されている。 ・単位時間のはじめに学習課題が設定されており、主体的な学びを促すよう工夫されている。 ・章のはじめに、「学習課題」として章で大切にしたい学び方や考え方を紹介し、章末において振り返る活動を設定することで、学びをまとめる工夫がされている。 ・現代の学習において、現代社会の抱える諸課題について考えられるよう工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・章末に「歴史を体験する」「討論にチャレンジ」などを設け、協働的で発展的な学習活動の充実が図られるよう工夫されている。 ・地図や年表を活用しながら整理する「学習のまとめ」を設け、生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価のための工夫がされている。 ・インターネットを使用した調べ学習を行うことを掲載して、ICTを活用した学習活動の充実のための工夫がされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章1時間目の学習表題「木から下りたサル」、第7章1時間目の学習表題「大名も武士もいなくなった」など、「学んでみたい」と思わせる工夫がされている。 ・章を振り返る学習では、「歴史を体験する」活動が位置付けられ、綿から糸を紡ぐ実習などが用意され、体験的な学びができるよう工夫されている。 ・章末の活動において、年表や表によるまとめが位置付けられ、さらに実際に体験するなど、まとめ方が工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 299 重量 710 g ・UDフォントを使用し、色覚特性にも配慮した色や形が用いられている。 ・見出しはゴシック体で記され、本文行数は基本的に20行以上で記されている。 ・人名索引、事項索引が掲載されている。

種 目【歴史】

発行者【236 令和書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none">・序「国史を学ぶにあたって」において、「年代と時系列、推移、比較、関連、現在とのつながり」を示し、歴史的な見方・考え方が身に付けられるよう工夫されている。・各時代の終末に「まとめのページ」「field work」のコーナーが位置付けられ、時代ごとのまとめ方やレポートの書き方などの技能が身に付けられるように工夫されている。・序において、小学校で学んだ人物と文化を取り上げ、小学校での学習との関連性を想起できるよう工夫されている。・巻末に「日本美術図鑑」のページを設け、美術科との関連を図るよう工夫されている。・単位時間ごとに「課題」を設け、課題解決を意識して読み進められるよう工夫されている。・各章のはじめに「政治・外交・文化・産業」に関わる問いを設けてあり、章末においてまとめられるよう工夫されている。・平成時代から現在の学習の中で、持続可能な社会や、経済の課題について考えることができるよう工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none">・「考えよう」のコーナーで、本文の内容を深める問いを示し、学習内容を深めるための工夫がされている。・表や新聞などの表現活動を通して、学習内容をまとめることができるよう工夫されている。・「政治・外交・文化・産業」の4つの視点から学習を振り返り、生徒の学習改善につながる学習評価のための工夫がされている。・インターネットを使用した調べ学習を行うことを掲載して、ICTを活用した学習活動の充実のための工夫がされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none">・単位時間ごとに最初に学習課題を示し、課題に対する具体的な史実が記された本文や資料をもとに学習課題を解決できるよう工夫されている。・章のまとめに表や新聞、字数を指定してまとめるなどの表現活動を位置付け、時代の特色をとらえられるよう工夫されている。・新しい章に入る前、「政治・外交・文化・産業」について年表をもとに確認できるよう工夫されている。・本文中の重要語句には番号がふられ、ページの上段下段に注釈が設けられている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none">・総ページ数 463 重量 590g・本文は色覚特性に配慮し、黒のみが用いられている。・見出しは、ゴシック体の黒字で記され、縦書き段組になっている。・人名や重要語句など注釈が掲載されている。

【種目】 公民

【発行者】 6 者

2 東京書籍

17 教育出版

46 帝国書院

116 日本文教出版

225 自由社

227 育鵬社

種 目【公民】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に必要な知識・技能を確実に定着できるよう「スキル・アップ」を位置付け、学習内容に対する理解を深められるような工夫が十分なされている。 ・巻頭の「持続可能な社会の実現に向けて」において5つの視点を設定したり、単位時間ごとに「見方・考え方マーク」が位置付けられたりすることで、現代社会の諸課題に対する見方・考え方を働かせるための工夫が十分なされている。 ・巻頭や第5章で「持続可能な開発目標（SDG s）」を取り上げることで、現代的な諸課題を理解し、課題解決をしようとする態度を養えるよう十分配慮されている。 ・単元の巻頭に、小学校での学習内容、地理的分野、歴史的分野、他教科とのつながりを示すことで、これまでの学習とのつながりを意識させるよう、よく配慮されている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために身近な問題を取り上げ、問題解決に向けた手順や自分の考えを構築するための「導入の活動」のページが位置付けられている。また、単元構成では、単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、「探究課題」を設定し、1時間ごとの学習課題と「探究課題」をつなぐ「探究のステップ」を設けることで、段階を踏んで「探究課題」を解決できるような工夫が十分図られている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、各設問内容や「個人活動」・「グループ活動」を明示することで「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が図られるよう、十分に配慮されている。また、「もっと知りたい」や「未来にアクセス」のコーナーが充実しており、学びを広げ、より深い学びにつなげるよう、十分配慮されている。 ・1単位時間の学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け、学習課題に関わる知識や意義、理由の設問が示されており、学習を振り返られるよう、十分配慮されている。また、章末の「まとめの活動」では評価の観点に対応した活動が示されており、課題解決的な学習によって現代社会の諸課題を捉えられるように十分工夫されている。 ・二次元コードを読み取ることで活用できる動画資料や学習内容の振り返り、思考ツール等のコンテンツが充実しており、ICTを活用した学習活動が充実するよう、十分配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫く探究課題、各節の探究課題から、課題追究、課題解決と問題解決型で単元が構成されており、各単位時間においても教科書見開き1頁の中で導入資料、学習課題、課題解決という流れで構成されている。そのため、教師も1時間の授業が構成しやすい内容となっている。また、単元の終末には、まとめの活動として「確かめよう」（知識）、「振り返ろう」（主体的に学習に取り組む態度）「深めよう」（思考・判断・表現）が位置づいており、評価がしやすいよう、十分配慮されている。 ・単位時間の終末の活動や家庭学習においてもチェック（知識の定着）とトライ（思考・判断・表現）教科書とQRコンテンツを活用することによって、学びを振り返ることができるよう、よく配慮されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 239 重量 472g ・本文にUDフォントを採用し、誰にでも読みやすい字体を使用している。また、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるよう十分配慮されている。 ・見開きのページの右側には、インデックスが設けられており、また、単元ごとに色で分けられており、生徒が学習している単元を常に確認できるよう、よく配慮されている。

種 目【公民】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を深める活動として「公民の技」を位置付け、個人やグループでの活動を通じて、公民の学習で身に付けたい知識・技能や表現力を養えるようによく工夫が図られている。 ・「見方×考え方マーク」として単元の巻頭に位置付けることで、現代社会の諸課題を解決するために必要な見方・考え方を働かせるための工夫がよくなされている。 ・章末ごとに、「持続可能な社会に向けて」の特設ページを位置付け、社会的な今日的課題を捉え、多面的・多角的に考察し表現する学習活動を設定することで、主体的に社会に参画する態度を養えるよう、よく配慮されている。 ・単位時間ごとに、小学校での学習内容（学年別）、地理的分野、歴史的分野、他教科とのつながりを示すことで、これまでの学習とのつながりを意識できるように十分配慮されている。 ・主体的・対話的で深い学びにつなげるために、問題解決に向けた手順や自分の考えを構築するための「ウォーミングアップ！公民」が各章に位置付けられている。また、単元を貫く課題を捉え、「本時ページ」「学習のまとめと表現」で課題を解決する構成がよく図られている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民の窓」のコーナーでは興味や関心を広げていくコラムが紹介されている。本文の内容からさらに学びを深めたり、視点を変えたり視野を広げたりするようによく配慮されている。また、各節の末に、「持続可能な社会に向けて」の特設ページがあり、学習内容との関連を図りながら、今日的な課題について、考察ができるように工夫されている。 ・1時間の学習内容をまとめる「確認」・「表現」のコーナーを設けており、単元の終末では「学習のまとめと表現」を設けることで、評価の観点に対応させながら段階的に単元をまとめる活動を示している。各節の知識を確認した上で、章の課題を解決し、未来の自分にできることについて思考を深められるよう配慮されている。 ・二次元コードを読み取ることで、学習内容に関連したホームページ、動画資料、ワーク等を活用した学習活動ができるよう、よく配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単位時間において、学習した「確認」（知識・技能）や「表現」（思考・判断・表現）が位置付いており、生徒が課題を振り返りことができるような構成になっている。そのため、教師も評価がしやすいよう、よく配慮されている。 ・生徒の学びを援助するものとして、「LOOK」では追究の視点を提示し、「THINK」では資料を活用する問いを提示することで、教師が授業を仕組みやすく、かつ、生徒の家庭学習を行うときの視点にもなるよう、よく配慮されている。また、まなびリンクには、100問以上の問題が掲載されており、授業中に学び直しや家庭学習でも活用することができ個別最適な学びができるよう、よく配慮されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 264 重量 516g ・視力や色覚に関して、ユニバーサルデザインが使用されている。また、フォントもUDフォントによる黒文字を基本とし、白抜き文字や色文字は十分な大きさで、すべての生徒にとって見やすいようよく配慮されている。 ・見開きのページの右側には、インデックスが設けられており、また、単元ごとに色が付けられており、生徒が学習している単元を常に確認できるよう、よく配慮されている。

種 目【公民】

発行者【46 帝国書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・「技能をみがく」コーナーを設けることで、学習する上で必要な知識・技能が習得できるよう工夫が十分なされている。 ・単位時間ごとの「見方・考え方」を位置付けることで、現代社会の諸課題を解決するために必要な見方・考え方を働かせるための工夫が十分なされている。 ・教科書巻頭では、「未来に向けて よりよい社会を目指して」を位置付け、SDGsに対する具体的な取り組みが位置付けられていたり、自分の考えをレポートとして論述できるようにしたりするなど社会参画を促すよう十分配慮がなされている。 ・単位時間の用語ごとに、小学校での学習内容、地理的分野、歴史的分野、他教科とのつながりを示すことで、これまでの学習とのつながりを意識できるようよく配慮されている。 ・「学習の前に」で章の問いを設定し、「単元の見通し」をもち、「単位時間」「学習を振り返ろう」で課題解決的に学習を進める展開が十分図られている。また、章末に多面的・多角的に考察できる「アクティブ公民AL」コーナーを設定することで、主体的・対話的で深い学びにつながるよう十分配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ公民」のコーナーでは、現代社会の諸課題を考察し、解決への取り組みを考察するパフォーマンス課題や、社会参画を疑似体験できるシミュレーション学習ができるよう、よく配慮されている。また、「未来に向けて」のコーナーにおいて持続可能な社会を実現するための事例がコラム形式で紹介されている。 ・1単位時間の学習に対して「確認しよう」・「説明しよう」を設けてあり、知識の確実な定着やその知識を活用した言語活動につながる問いを示すことで、学習を振り返られるように十分配慮されている。単元終末の「学習を振り返ろう」で節の問い、章の問いを段階的に振り返り、単元をまとめる学習活動が示されており、各節での知識を確認し、章全体の学習内容を振り返られるよう、十分工夫されている。 ・二次元コードを読み取ることで活用できるイラストやワークシート、動画資料等が豊富にあり、ICTを活用した学習活動ができるよう、よく配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入では、学習内容を俯瞰してイメージできるイラストが掲載されており、本単元で学習する内容が捉えやすい。また、章の単元の間、節の単元の間が設けられており、単元の終末には、その問いを解決するためにまとめられており、単元で習得した知識・技能を活用した思考・判断・表現を評価できるよう十分配慮されている。 ・個別最適な学びを支援するQRコンテンツが728あり、図解アニメーションや学習の振り返りができるよう、授業中だけでなく、家庭学習においても復習や予習として活用できるよう、よく配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数250 重量506g ・ユニバーサルデザインの視点を大切にし、図やグラフなど、教科書中の表現には、色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様が使用され、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れ、十分配慮されている。 ・見開きのページの右側には、インデックスが設けられている。また、単元ごとに色分けされており、生徒が学習している単元を常に確認できるよう、よく配慮されている。

種 目【公民】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報スキルアップ」を位置付け、情報リテラシーや情報モラル等、学習における必要な知識・技能を習得できるようよく配慮されている。 ・単位時間ごとに「見方・考え方」の例示を取り上げることで、現代社会の諸課題の解決に向けて働かせるための工夫がよくなされている。 ・SDG sに特に関連の深い内容について、「SDG s マーク」を位置付けたり、第4編第1章では「SDG s から未来の社会を考えよう」を位置付けたりするなど、社会参画を促すようよく配慮されている。 ・小学校での学習内容は単元の巻頭に位置付けており、単位時間ごとに地理的分野、歴史的分野、他教科とのつながりを示すことで、これまでの学習とのつながりを意識させるなどよく配慮されている。 ・「学習のはじめに」において問いを立てて学習を見通し、「本文ページ」より問いを追究し、「まとめと振り返り」で課題解決的に学習を進める構成になっている。また、主体的・対話的で深い学びにつながるように、章のまとめに、各章の問いについて思考ツールをもとに自分の考えをまとめ、グループ交流する「学び合い」の学習活動を示す工夫がよくなされている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民+α」では、学習に関する事項を掘り下げる具体的な内容が示されている。また、「アクティビティ」のコーナーでは、本文の学習内容に関わった課題で、協働して学習に取り組めるよう、よく配慮されている。 ・1時間の学習内容をまとめる「確認」・「表現」を設けている。また、単元終末の「まとめと振り返り」で評価の観点に対応させながら、単元をまとめる学習活動ができるよう、よく配慮されている。単元で学習した知識や見方・考え方を振り返り、思考ツールを活用して章の問いを解決できるよう、構成がよく工夫されている。 ・二次元コードを読み取り、動画資料、ワークシート、小テスト等を活用した学習活動ができるよう、よく配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫く問いから、学習課題を追究し、単元の問いを解決する「問いの構造」となって構成されている。さらに、単元の終末の学習では、振り返りの時間が位置付いており、単元を通して知識・技能、思考・判断・表現の評価をすることができるよう、よく配慮されている。また、ポートフォリオに学習前後の思考の変容をまとめたり、これからの学習に生かしていきたいことなどをまとめたりすることによって、主体的に学習に取り組む態度が評価ができるよう、よく配慮されている。 ・知識・技能を評価する「確認」と思考・判断・表現を評価する「表現」が1単位時間ごと位置づいており、授業における学習の確認や家庭学習にも活用することができるよう、よく配慮されている。 ・QRコードを用いて、家庭学習には知識の定着のための確認テストが設けられている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 265 重量 527g ・ユニバーサルデザインの視点を大切にし、図やグラフなどにカラーユニバーサルデザインを取り入れている。色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいようよく配慮されている。 ・フォントもUDフォントを使用し、誰にでも読みやすい字体を使用している。 ・見開きのページの右側には、インデックスが設けられており、また、単元ごとに色分けがされており、生徒が学習している単元を常に確認できるよう、よく配慮されている。

種 目【公民】

発行者【225 自由社】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題の探究」のコーナーを位置付け、レポートの作成やディベートの知識・技能を身に付けられるように配慮されている。 ・章で働かせたい「見方・考え方」は、章の巻頭にメッセージとして位置付けたり、単位時間では、「ここがポイント！」のコーナーを位置付けたりするなど配慮されている。 ・ミレニアム開発目標と持続可能な開発目標の比較を位置付けたり、「日本人型のSDGs」として特設ページを位置付けたりするなど社会参画を促すよう工夫がなされている。 ・単元の構成では、問題解決的に学習を進める手立てとして、章のはじめに問いを示し、「学習のまとめと発展」で章の学習をさらに発展させるために課題を選択し、学習する活動となっている。また、各章のまとめに「アクティブに深めよう」というコーナーを設定し、グループで話し合う学習活動を位置付け、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫がなされている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい」の特設ページが設けられており、学習内容の理解を深め、社会的事象を新たな視点で捉えることができるように配慮されている。また、終章「持続可能な社会を目指して」では、課題探究学習としてよりよい未来を築くための解決策をレポートや卒業論文にまとめる活動やディベートを位置付けており、個別最適な学び・協働的な学びを促す工夫がなされている。 ・各章末に「学習のまとめと発展」が位置付けられ、「学習のまとめ」において重要語句を確認するとともに、「学習の発展」において発展的な学習課題について文章でまとめる活動ができるよう、工夫がなされている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単位時間の学習課題が設定されており、追究活動「やってみよう」、振り返り活動「ここがポイント！」について、教科書を使いながら、1時間の学習や単元の学習について、見通しをもって取り組める構成となっており、配慮されている。 ・章の終末では、「学習のまとめ」「学習の発展」を活用することで、「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価を行うことができよう、配慮されている。 ・「もっと知りたい」が掲載されており、家庭学習において探究的な学習に取り組むことができるよう、配慮されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 261 重量 524g ・1つの資料が大きく掲載されており、余白が大きい。重要語句については太字ゴシックで書かれている。 ・見開きのページの上側には、インデックスが設けられており、また、単元ごとに色で分けられており、生徒が学習している単元を常に確認できるよう、配慮されている。

種 目【公民】

発行者【227 育鵬社】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を深める活動として「スキルアップ」を位置付けたり、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける「資料活用」のコーナーが位置付けたりするなどの配慮がなされている。 ・章の導入で、学習内容の見通しを明示し、章の終末にある言語活動を通して、見方・考え方を働かせる場が設定されていたり、単位時間ごとに働かせる「見方・考え方」を位置付けたりするなど見方・考え方が上げられるようよく配慮がなされている。 ・巻頭ページにSDG sの項目の例示を掲載したり、特設ページで地域のSDG sの取組の紹介を行ったりするなどよく配慮されている。 ・単元の表紙に小学校での学習内容、地理的分野、歴史的分野、他教科とのつながりを示すことで、これまでの学習とのつながりを意識させるなどよく配慮されている。 ・単元の構成では、問題解決的に学習を進める手立てとして、各章の「入り口」「本文ページ」「これから（出口）」「学習のまとめ」という構成が組まれている。また、各章のまとめに「これから」のコーナーを位置付け、章の課題について、グループで話し合う学習活動を位置付け、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫がよくなされている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習を深めよう」では、学習内容をより深めたり、多面的・多角的に考える視点が提示されたりしている。また、「やってみよう」では、今日的な課題に対して協働的に学習できるよう配慮されている。 ・1時間の学習内容をまとめる「確認」・「探究」を設けている。また、単元終末の「〇〇のこれから」「学習のまとめ」で学習内容について知識をまとめる活動や学びを深める活動ができるよう、配慮されている。 ・二次元コードを読み取ることで、学習内容に関連したホームページや動画資料等を活用した学習活動ができるよう、よく配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の入り口では章の課題が設定されており、課題をつかむ→課題について調べる→課題についてまとめる・表現するという問題解決型の学習ができる構成となっており、教師も問題解決的な学習が指導しやすく、評価もしやすいよう、配慮されている。 ・学習内容の確実な定着を図る「確認」（基礎的・基本的な学習の内容の確認）や「探究」（学習内容を参考にした説明）が単位時間ごとに位置付いており、授業中における学習内容の確認や家庭学習でも取り組むことができるよう、よく配慮されている。 ・ICT（情報通信技術）を活用した学習を促す二次元コードを活用することで、学習内容に関連する動画を閲覧したり、情報を収集したりすることができ家庭学習の一助となるよう、配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 256 重量 517g ・ユニバーサルデザインの視点を大切に、図やグラフなどにカラーユニバーサルデザインを取り入れている。またフォントもUDフォントを使用し、誰にでも読みやすい字体を使用している。色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいよう配慮されている。 ・見開きのページの右側には、各章ごとに色で分けられており、わかりやすいようよく配慮されている。

【種目】 数 学

【発行者】 7 者

2 東京書籍

4 大日本図書

11 学校図書

17 教育出版

61 新興出版社啓林館

104 数研出版

116 日本文教出版

種 目【数学】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・節ごとに確認問題があり、第1学年では173問が収録されている。章末では第1学年では156問が収録されており「章の問題A」「章の問題B」と生徒の習熟度に応じて取り組めるよう、よく配慮されている。 ・第3学年「関数」では、生活に関連した問題を取り上げ、解決までの思考の手順が丁寧に記載されている。また、吹き出しに統合的・発展的に考えられるような視点が載っており、思考力、判断力、表現力の育成に関わって大変よく工夫されている。 ・単元の導入では、日常生活からの疑問を題材として、章タイトルでは単元で身に付ける力が明記されている。節の導入では、活動から生まれた疑問が本文の学習につながるようになっており、学びに向かう力を高める工夫が大変よくなされている。 ・第1学年「空間図形」の平面の決定では、日常との関連から問題が作られており、4つの平面の決定条件が写真で載っている。また、第2学年「データの比較」では箱ひげ図の傾向を読み取り説明する問題設定の箇所が8つある。このことから、岐阜県の全国学力・学習状況調査等での課題に十分対応した取扱いになっている。 ・巻末では「数学の目で振り返ろう」「学びのベース」「1年のまとめ」「学びのマップ」と今までの学習内容を振り返ることができる内容がまとまりごとに分かりやすく記載されており、学び直しができるよう大変よく配慮されている。 ・第1学年「文字式」では、単元を貫く題材に対して、側注の問題解決の過程に沿って生徒が自ら数学的な見方・考え方を働かせながら、見通し、問題を解決し、仲間と話し合い、統合的・発展的に考えながら問題解決が図れるよう、大変よく工夫して構成されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末にある「数学の目で振り返ろう」は、学習内容を既習事項や次の学習内容と「数学的な見方・考え方」でつなぐことで、生徒が統合的・発展的に考え、自ら学びを深める態度を養えるよう、大変よく工夫して作成されている。 ・単元の節ごとに、「学びをふり返ろう」を位置付け、自己の学びを評価し整理することができる構成になっている。単元末には「ふり返りレポート」を記述することを通して、単元全体の学びを振り返り、数学の系統性を意識して自己評価できるように十分に配慮されている。 ・2次元コードが3学年合計で648個あり、解説動画、練習問題のヒントや解答を読み取ることができる。教科書の例題や単元のまとめでは、数値を変えて類題を出すことができたり、解説動画で自らの考え方をつくったりすることができるなど、ICTを活用して個に応じた学習が進められるよう大変工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元導入時には身のまわりの学習素材を取り上げ、生徒の興味・関心をもたせ、学習に取り組めるよう十分配慮している。また、確実に身に付けたい基本問題に印をつけて問題の重要度を示し、学習の進め方を自ら考えて取り組むことができるよう到大変よく工夫し、構成されている。 ・第2学年「証明のすすめ方」では、証明の筋道を考えることを通して、等しくなる辺や角とともにその根拠となる事柄を整理することが工夫されている。根拠を明らかにし、段階を踏んで考えることが、自ら学習を進める手順として大変分かりやすく工夫されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ…1年：322ページ、2年：258ページ、3年：290ページ 計870ページ 重量…1年：544.9g、2年：420.7g、3年：467.9g 計1433.5ページ ・カラーUDを使用することで、色覚の個人差に対応する配慮や、本文にUDフォントを使用することで、読み間違えがないように配慮が十分になされている。 ・数学用語の索引数…1年：107個、2年：46個、3年：31個 計184個 用語の中には、図や式も一緒に記載されており、索引する際の配慮がされている。

種 目【数学】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・節ごとに確認問題があり、第1学年では184問収録されており、1ページ分の練習問題が収録されている。章末では第1学年で187問収録されており、「章をふり返ろう」と「力をのぼそう」「活用・探究」と生徒の習熟度に応じて進められるよう工夫されている。 ・第3学年「関数」では、生活に関連した問題を取り上げ、解決までの思考の手順が丁寧に記載されている。そして、数値や条件を変えるなど発展的に考える問題が設定されており、思考力、判断力、表現力の育成に関わってよく工夫されている。 ・単元の導入では、日常生活からの疑問を題材としており、その単元での学習内容の概要を示している。また、そのことがわかりやすく取り組みやすい構成になっており、学びに向かう力を高める工夫がよくなされている。 ・第1学年「空間図形」の平面の決定では、日常との関連から問題が作られており、4つの平面の決定条件が言葉と写真で載っている。また、第2学年「データの比較と箱ひげ図」では傾向を読み取り、説明する問題設定の箇所が10ある。このことから、岐阜県の全国学力・学習状況調査等での課題に十分対応した取扱いになっている。 ・巻末では、「前学年の復習」や「1年間のまとめ」と今までの学習内容を振り返ることができる内容が領域ごとに記載されている。そして、「1年のまとめ」は冊子にすることができるようになっており、学び直しができるようによく配慮されている。 ・第1学年「文字と式」では、単元の導入の問題に対して、側注の問題発見・問題解決の流れに沿って、仲間と考えを比べたり、問題の条件を変えて発展的に考えたりすることで、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決が図れるよう、大変よく配慮されて構成されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末にある「MATHFUL」は、歴史、環境、健康、地理、伝統文化など、様々な視点から生徒の興味・関心に応じて、自主的、自発的に学習との関わりを知り、学習を広げることができるよう、よく配慮されて作成されている。 ・「たしかめよう」ではその節で学習した内容の振り返りを、「章をふり返ろう」では3観点に基づいた評価を、生徒自身でできるようになっている。全ての単元に、学習を自己評価し整理することができる問題が位置付いている。 ・2次元コードが3学年合計52個あり、解説動画と単元末の「社会にリンク」のインタビューの文を見ることができる。目的に応じて解説動画を使うことで、視覚的に理解できるよう配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単位時間の学習範囲と目標が印でわかるように配慮されており、指導者も生徒もともに見通しをもって学習に向かうことができるようよく工夫されている。また、これまでの学習を生かして調べたり考えたりする時間を位置付け、既習事項の定着状況を見ることができるように構成されている。 ・第2学年「平行と合同」では、証明のしくみを図で示し、それと並行して証明が書かれており、しくみの図と証明が対比できるよう工夫されている。証明の根拠として使える図形の性質を証明と見開きにしてあることで、自ら学習を進められるよう十分配慮されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ…1年：322ページ、2年：248ページ、3年：300ページ 計870ページ 重量…1年：544.7g、2年：418.4g、3年：504.8g 計1467.9g ・UDフォントを使用し、配色も4色刷りで見やすくすることで、色覚の個人差への対応や読み間違えがないようによく配慮されている。 ・数学用語の索引数…1年：159個、2年：77個、3年：54個 計290個 重要事項の一覧も掲載している。

種 目【数学】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・節ごとに確認問題や計算問題があり、第1学年は325問収録されている。章末では第1学年は211問収録されており、基本、応用、活用と問題が分かれており、生徒の習熟度に応じて進められるよう工夫されている。 ・第3学年「関数」では、生活に関連した問題を取り上げ、解決までの思考の手順が丁寧に記載されていることから、思考力、判断力、表現力の育成に関わって工夫されている。 ・単元の導入では、前の学年と比較させることで、学習内容の概要をつかむことができる構成になっている。節の導入では、身のまわりの生活の中や、数学の学習の中から疑問が発見できる構成になっており、学びに向かう力に関わって大変よく工夫されている。 ・第1学年「空間図形」の平面の決定では、生活との関連の記載はなく、平面の決定条件の4つのうち2つが明記されている。第2学年「データの分布」では、箱ひげ図の傾向を読み取り説明する問題設定の箇所が6つある。このことから、岐阜県の全国学力・学習状況調査等での課題に対応した取扱いになっている。 ・章に入る前に「ふりかえり」という項目があり、章に入る前に必要な力を復習できるようになっている。巻末では「前学年の復習」「1年間の復習」と領域ごとに今までの学習内容を振り返ることができる問題が記載されており、学び直しができるようよく配慮がされている。 ・第1学年「文字式」では、数学的な見方・考え方を働かせながら、話し合いを通して疑問を発見したり、考えをまとめたりして問題解決が図れるよう、よく配慮されて構成されている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基本、応用、活用の3つに分類された「章のまとめの問題」や補助的なQRコンテンツは、生徒一人ひとりの習熟度に応じて確認ができ、生徒自らが主体的に学習に取り組むことができるよう、大変よく工夫して作成されている。 ・どの問題に対しても、「どんなことが分かったかな」「次の課題へ！」のステップでまとめられるように構成されていて、学習内容に対する自己評価ができるように十分に配慮されている。章末には、学習内容の自己チェック及び、さらに学んでいきたいことを記述することを通して、学びをつなげることができるようになっている。 ・2次元コードが3学年合計336個あり、解説動画や既習内容の振り返り、問題の解説や補充問題、チャレンジ問題に取り組むことができる。補充問題やチャレンジ問題では、間違えた問題に繰り返し取り組むことができ、技能の定着を図るよう十分配慮されている。
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・章に入る前には既習事項の振り返りが位置付けられ、学習の足場づくりを行えるようになっている。また、次時への学習に向けて「次の課題へ！」が位置付けられており、本時までの学びを受けて次時への学びにつなげられるように配慮されており、継続的な指導ができるように工夫されている。 ・第2学年「図形の性質の調べ方」では、証明の手順を3つに分けて整理されており、1つ1つ言葉で説明されている。仮定や結論を色別に分けて示すことで、自ら学習に取り組めるよう十分配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ…1年：324ページ、2年：266ページ、3年：326ページ 計916ページ 重量…1年：550.8g、2年：455.0g、3年：554.4g 計1560.2g ・カラーUDを使用することで、色覚の個人差に対応する配慮や、本文にUDフォントを使用することで、読み間違いがないように配慮が十分になされている。また、色調だけで判断するような問題は扱わない配慮もされている。 ・数学用語の索引数…1年：115個、2年：51個、3年：39個 計205個

種 目【数学】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・節ごとに確認問題があり、第1学年では181問収録されている。章末では第1学年は175問収録されており、「たしかめよう」「力をのばそう」「活用しよう」と生徒の習熟度に応じて進められるようよく工夫されている。 ・第3学年「関数」の単元では、生活に関連した問題を取り上げ、解決までの思考の手順が「学びのプロセス」という形で丁寧に記載されている。登場人物から見通しや解決のヒントを得ることができ、解決の過程を振り返る問いがあることから思考力、判断力、表現力の育成に関わって大変よく工夫されている。 ・単元の導入では、実社会や先端テクノロジーなど、数学に関わる話題を取り上げ、数学の必要性を感じられる構成になっている。「Let's Try」では、単元での学習の見通しをもつことができるようになっており、学びに向かう力を高める工夫が大変よくなされている。 ・第1学年「空間図形」の平面の決定では、4つの平面の決定条件が図で載っており、生活との関連の記述もある。また、第2学年「データの分析」の箱ひげ図では、傾向を読み取り説明する問題設定の箇所が5つある。岐阜県の全国学力・学習状況調査等での課題に対応した取扱いになっている。 ・章に入る前に「〇〇を学習する前に」という項目があり、本単元で必要な力を復習できるようになっている。巻末では「学びのマップ」と今までの学習内容を領域ごとに振り返ることができるように記載されており、学び直しができるように十分配慮されている。 ・第1学年「文字と式」では、学習過程で生じる生徒の疑問から、学習したことのよさ、大切だと思った数学的な見方・考え方、解決の仕方等を見いだす、内容を統合・発展する問いへつながるよう、よく配慮された構成がなされている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末にある補充問題に加えて、実力アップ問題や領域複合的な問題を用意し、個別最適な学びとして、様々な難易度の問題に取り組めるようになっており、習熟度に応じて家庭学習に利用できるよう、よく工夫して作成されている。 ・問題に対して、「はてな」「なるほど」「だったら」のステップで構成され、自己の学びを振り返り、学習したことのよさを実感できるように配慮されている。「学習のまとめ」では、単元で学んだことをまとめる視点が示され、自己の学びを整理することができるよう配慮されている。 ・2次元コードが3学年合計288個あり、解説動画や発展問題の考え方を見ることができる。解説動画では自ら操作することを通して、視覚的に理解ができるよう十分配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元導入時には既習事項の振り返りが位置付けられ、学習の足場づくりを行えるようになっていいる。また、単元末には「学習のまとめ」が位置付けられ、学習した内容を整理し、振り返ることができるように構成されており、習熟状況を生徒自身が十分に確認できるようになっている。 ・第2学年「平行と合同」では、証明の手順を3つに分け、その手順を図で示すことで証明の組み立てを言葉と図でわかりやすくまとめられており、自ら学習を進めるために十分配慮されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ…1年：344ページ、2年：276ページ、3年：312ページ 計932ページ 重量…1年：582.9g、2年：453.5g、3年：518.8g 計1555.2g ・図ではカラーUDを使用することで、色覚の個人差につながらないように配慮されている。本文などでは「UD 黎ミンR」フォントを使用し、読み間違えにくい配慮がされている。 ・数学用語の索引数…1年：116個、2年：49個、3年：29個 計194個 英語での表記が記載されている。

種 目【数学】

発行者【61 啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> 内容のまとめりごとに確認問題があり、第1学年は139問収録されている。章末では、第1学年では303問収録されており、「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」と分かれており、多くの問題が出題されているため生徒の習熟度に応じて進められるよう大変よく工夫されている。 第3学年「関数」では、生活に関連した問題を取り上げ、解決までの思考の手順が3つのステップで区切っている。特にステップ3では、問題解決の過程を振り返り、さらに思考を深めるための例を示すことで、思考力、判断力、表現力を高める工夫が大変よくなされている。 単元や節の導入では、日常生活からの疑問を題材とし、「話し合おう」や「説明しよう」で解決の見通しを話し合う活動を通して、節の目標につなげる構成になっており、学びに向かう力を高める工夫がよくなされている。 第1学年「空間図形」の平面の決定では、4つの平面決定条件のうち3つが図と言葉で明記されている。残りの一つの条件は図で示され、生活との関連の記載もある。また、第2学年「箱ひげ図とデータの活用」では、傾向を読み取り説明する問題設定の箇所が5つある。このことから、岐阜県の全国学力・学習状況調査等での課題に対応した取扱いになっている。 巻末では「学びをふりかえろう」「力をつけよう」「〇年生のまとめ」と今までの学習内容を振り返ることができる内容が領域ごとに記載されており、学び直しができるようによく配慮されている。 第1学年「文字の式」では、問題発見の場面や問題解決の場面で働かせる数学的な見方・考え方を、下線と標識で示し、標識を繰り返し目にするすることで、数学的な見方・考え方を自然に体得することができるよう、よく構成されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> 章末問題は「学びをたしかめよう」と「学びを身に付けよう」と難易度別に分かれており、QRコンテンツによる充実した補充問題や問題の解説動画も加えて、生徒の習熟度に合わせて学習を進められるよう、よく工夫して作成されている。 「学びをたしかめよう」では、学習内容について、生徒自身が自己評価できるようになっている。すべての単元末には、「章のあしあと」が位置付けられ、自己の学びを振り返り、今後の学習につなげていくことができるように配慮されている。 2次元コードが3学年合計で816個あり、2次元コードの内容の説明が具体的に記載されており、目的に応じて活用できるよう工夫されている。単元のまとめでは、見通し、解答ともに解説動画があり、自ら学ぶことができるよう大変工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> 学習の目標が位置付けられており、単位時間の学習範囲が捉えやすいように構成されている。「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」など、学んだことを表現することで理解を深めたり、広げたりする活動を位置付け、その状況から知識・技能や思考・判断・表現の定着状況を確認することができるように工夫されている。 第2学年「図形の調べ方」では、証明の筋道を図で示し、証明の見通しをもつことができるよう工夫されている。視覚的に理解できる図と言葉による見通しがあることで自ら学習を進められるよう十分配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> 総ページ…1年：300ページ、2年：236ページ、3年：280ページ 計816ページ 重量…1年：490.1g、2年：393.9g、3年：463.0g 計1347g 配色はMUDによる認証を申請し、色覚の個人差に対応する配慮があり、本文にUDフォントを使用することで、読み間違いがないように配慮が十分になされている。また、色以外にも表現を工夫し、データを区別する工夫がされている。 数学用語の索引数…1年：131個、2年：52個、3年：28個 計211個

種 目【数学】

発行者【104 数研出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・節ごとに確認問題があり、第1学年は208問収録されている。章末では第1学年では128問収録されており、「問題A」「問題B」と生徒の習熟度に応じて進められるように工夫されている。 ・第3学年「関数」では、生活に関連した問題を取り上げ、吹き出しから問題解決の見通しをもたせられるようになっている。また、関係を表やグラフをもとに説明する問いを位置付けていることから、思考力・判断力、表現力の育成に関わって工夫されている。 ・単元の導入では、日常生活からの疑問を題材とすることで、単元の学習内容につなげていく構成になっている。また、紙面に掲載された生徒の会話から単元の見通しを考えられるようになっており、学びに向かう力を高める工夫がよくなされている。 ・第1学年「空間図形」の平面の決定では、平面の4つの決定条件のうち3つが図と言葉で明記されている。残りの一つは図で示され、生活との関連の記載もある。また、第2学年「データの活用」の箱ひげ図では、傾向を読み取り説明する問題設定の箇所が4つある。このことから岐阜県の全国学力・学習状況調査等での課題に対応した取扱いになっている。 ・章に入る前に「〇〇の学習の前に」という項目があり、本単元に必要な力を復習できるようになっている。巻末では「〇〇年までのまとめ」と今までの学習内容を領域ごとに振り返ることができる内容が記載されており、学び直しができるように十分配慮されている。 ・第1学年「文字と式」では、紙面に掲載された生徒の対話の中から新たな問題を見いだしたり、その生徒の対話に触れることで、数学的な見方・考え方を働かせたりすることが自然にできるよう、よく工夫して構成されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・章末にある「学んだことを活用しよう」は、身のまわりにある課題やSDG'sと関連付けられた問題が取り上げられており、生徒の興味・関心に応じて、自主的に学習を広げられるよう、よく工夫して作成されている。 ・「学びの自己評価」のチェック項目を巻末に位置付け、生徒自身が個別の学習と協働での学習において自己の学びを振り返ることができるように配慮されている。 ・2次元コードが3学年合計319個あり、解説動画、補充問題に取り組むことができる。補充問題は既習内容と発展問題に分けられており、個に応じて取り組むことができるよう十分配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元導入時に既習事項の振り返りを位置付け、これからの学習に関わる事項の確認を行えるようになっている。章末では学んだことを活用する問題を設定することで、単元の学習内容にかかわる評価ができるように配慮した構成がなされている。 ・第2学年「図形の性質と合同」では、結論からさかのぼって見通しをもたせ、証明の仕組みを図に沿って考えることで、自ら学習に取り組めるよう十分配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ…1年：316ページ、2年：268ページ、3年：324ページ 計908ページ 重量…1年：518.6g、2年：438.1g、3年：529.8g 計1486.5g ・カラーUDを使用した色覚の個人差に対応する配慮や、本文にUDフォントを使用した読み間違えがないような配慮が十分になされている。また、全学年で一段階大きいサイズの文字を使用し、見やすい配慮がされている。 ・数学用語の索引数…1年：145個、2年：62個、3年：41個 計248個 用語辞書という2次元コードが掲載されており、用語検索しやすいようよく配慮されている。

種 目【数学】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・節ごとに確認問題があり、第1学年は171問収録されている。章末では第1学年では162問収録されており、「章の問題」「とりくんでみよう」と生徒の習熟度に応じて進められるようよく工夫されている。 ・第3学年「関数」の単元では、生活に関連した問題を取り上げ、解決までの思考の手順が見出しごとに区切っている。特に、解決する過程を振り返る場面では、思考を整理させる問いがあり、思考力、判断力、表現力の育成に関わって大変よく工夫されている。 ・単元の導入では、日常生活からの疑問を題材としており、前学年の学習内容と比較しながら、単元の学習内容の見通しがもてるようにすることで、学びに向かう力を高める工夫がよくなされている。 ・第1学年「空間図形」の平面の決定では、日常との関連から問題が作られており、4つの平面決定条件のうち3つが図と言葉で明記されており、残りの1つは図で示されている。また、第2学年「データの比較」の箱ひげ図では、傾向を読み取り説明する問題設定の箇所が5つある。このことから岐阜県の全国学力・学習状況調査等での課題に対応した取扱いになっている。 ・章に入る前に「次の章を学ぶ前に」という項目があり、本単元で必要な力を復習できるようになっている。巻末では全学年の復習問題があり、今までの学習内容を振り返ることができる内容が記載されており、学び直しができるように配慮されている。 ・第1学年「文字と式」では、自分で考え、対話を通して学び合う問題解決の過程が示され、仲間と考えを比べたり、新たな問題を見いだしたりする中で、横欄にある働かせた数学的な見方・考え方を、確認しながら問題解決ができるよう、よく工夫して構成されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・章末問題は、小学校算数の内容の確かめや、全国学力・学習状況調査を参考にして作成された活用問題、各領域の内容を総合的に扱う応用問題など、生徒の学習状況や興味・関心・キャリア形成に応じて取り組めるように、よく工夫して作成されている。 ・各単元に「学びに向かう力を育てよう」を位置付け、生徒が主体的に学習に取り組む態度を中心に3観点をバランスよく自己評価できるように構成されている。単元末には、できるようになったことやもっと知りたいことを記述することを通して、生徒の学びを整理し、次単元へつなげていけるように、十分に配慮されている。 ・2次元コードが3学年合計411個あり、解説動画、フラッシュカード型練習問題に取り組むことができる。すべての2次元コードが「見る」「身につける」「ためす」など分類分けをされており、目的に応じて取り組むことができるよう十分に配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元導入時には既習事項の振り返りが位置付けられ、必要な事項を確認する場を設けている。また、単位時間の学習範囲がわかりやすく設定されており、見通しをもって学習に向かうことができる。問題には「考えよう」「深めよう」「話し合おう」などが位置付けられ、活動の様子を評価につなげられるように構成されている。 ・第2学年「図形の性質と合同」では、証明の方針を3つにまとめ、それぞれの証明のしくみを図で表すことで、図をもとに証明を書くことができるよう工夫されている。方針と図を併用することで自ら学習に取り組めるよう十分に配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ…1年：324ページ、2年：264ページ、3年：300ページ 計888ページ 重量…1年：542.6g、2年：437.8g、3年：500.4g 計1480.8g ・カラーUDを使用し色覚の個人差に対応する配慮や、本文にUDフォントを使用し読み間違いがないような配慮が十分になされている。振り仮名は見やすいUDゴシックを使用している。 ・数学用語の索引数…1年：126個、2年：48個、3年：35個 計209個 英語での表記も掲載している。

【種目】 理科

【発行者】 5 者

2 東京書籍

4 大日本図書

11 学校図書

17 教育出版

61 新興出版社啓林館

種 目【理科】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・章末と単元末にまとめと問題が位置付けられており、章末においては「活用」、単元末においては基本的な内容を確認する「確かめ問題」、学習したことをもとに対応する問題「活用問題」が位置付けられ、思考力の育成が図られている。実験器具の扱いについては、各所と巻末に記載があり、前学年で学習した実験器具の扱いも掲載されており、技能の習得に配慮されている。 ・「実験」の後に、内容に応じて「結果の見方」、「考察のポイント」、「分析解釈」の3つの区分で考える内容を示し、目的を明確にして、無理なく自然な流れで思考を進められるよう、観察、実験後の考察の流れが配慮されている。 ・3年間で合計109個の読み物が掲載されている。内容を「まちなか科学」、「お仕事図鑑」、「なるほどね!」、「防災特集」、「歴史にアクセス」、「私たちのSDGs」と6種類のカテゴリーで幅広く日常生活や社会につなぎ、科学の有用性が実感できるように図られている。 ・関連する他教科の学習内容の掲載が3年間で35か所、各単元の冒頭と各所に「これまでに学んだこと」が位置付けられており、系統性と発展性に配慮されている。 ・問題解決の過程が単位時間ごとに示され、特に「結果の見方」「考察のポイント」では、働かせる理科の見方・考え方の例が示されている。また「理科の見方・考え方」を働かせる可能性の高い場面では、ファシリテーターキャラクターが説明している場面が位置付けられている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人に応じた学習では、「自分の考えをまとめよう」において主体的な学びにつながる視点が使用するキーワードとともに示されている。更に対話例が適所に掲載され、協働的に学習する態度を育成している。また「学びを活かして考えよう」で深い学びへの工夫がみられる。 ・「分析解釈」の場面が様々な探究活動で位置付けられていて、探究の過程における生徒同士の対話例が掲載されている。どのような見方・考え方を働かせて対話活動が行われていくか例が示されていることで、協働的かつ主体的に学習する態度を育成できるようにされている。 ・各単元等の学習前後に同じ問いかけについて考える「Before & After」や、各章末に「要点をチェック」が探究活動の振り返りとして位置付けられていて、学ぶ意味や自分の考え方の変容が確認しやすいように配慮されている。 ・QRコード（1年：163か所、2年：200か所、3年：200か所）を利用し、毎回の観察や実験の手順や思考ツール、学習内容と関わりのある職業の方へのインタビュー動画等、生徒が習熟度に応じて活用しやすいように配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「問題発見 レッツスタート」から「課題に対する結論」まで、授業の流れに沿った構成となっている。実験に、「結果の見方」や「考察のポイント」が位置付けられており、結果の分析や考察の視点が示されていて、適切な指導や評価を行うことができるように配慮されている。また、章末に「学んだことをチェックしよう」が位置付けられており、各章で学習することが明らかになっているため、学習を進めたり、授業のねらいを考えたりする時の参考になる。 ・「ここがポイント」が要所で位置付けられており、家庭学習を進める時のヒントになる。また、単元末に「学習内容の整理」「確かめ問題・活用問題」が位置付けられており、習熟度に応じた家庭学習を行うことができる。さらに、QRコードには「観察・実験の手順」、「スタート動画」、「シミュレーション」、「問題」が位置付けられており、家庭学習で利用することができる。
4 表現や体 裁等に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判、厚み9.5mm（1年）11mm（2年）12mm（3年）、重量501g（1年）600g（2年）612g（3年）、総ページ数262（1年）314【内付録4】（2年）326（3年） ・学習内容の整理は全ての漢字にルビが振られている。その他でも未習漢字や難読漢字にルビが振られている。フォントやイラストの色なども含め、UDに配慮されている。 ・目次と凡例等が見開き1ページで見やすい。巻頭や巻末には「探究の流れ」、「科学の本だな」、「理科室のきまり」、「?に対する自分の考えをまとめようの例」、「校外施設」、「索引」がある。

種 目【理科】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末には、キーワードをチェックしながら基本的な内容が確認できる「まとめ」、「単元末問題」、「読解力問題」を位置付け、知識の習得が図られている。各所と巻末に実験器具の扱いが記載されている。また、前学年で学習した実験器具についての再掲載により、技能の習得が図られている。 ・「実験」の後に、「結果の整理」と「結論から考えよう」が位置付けられており、観察、実験後の考察を促し、思考力の育成が図られている。 ・3年間で合計216個の読み物が掲載されている。「Science Press」、「Professional」、「くらしの中の理科」と3種類のカテゴリーの内容で、学んだことを幅広く日常生活や社会につなぎ、科学の有用性が実感できるように図られている。 ・関連する他教科の学習内容の掲載が3年間で14か所あり、すべて巻末に記載されている。また、各所に「思い出そう」が位置付けられており、それらを活用して学び進めることができるよう配慮されている。 ・単位時間の探究活動の流れが示されていて、特に「結果の整理」「結果から考えよう」で、結果をもとに理科の見方・考え方を働かせて、問題解決していくための視点が示されている。1年生教科書巻末の「探究の進め方」に理科の見方・考え方の例が示されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「計画を立てよう」、「問題を見つけよう」、「考えよう」が単位時間の導入に位置付けられていて、1人1人が立てた疑問や計画をもとに探究活動ができる場が設けられている。 ・「結果から考えよう」、「振り返ろう」では、結果に対する考えや知識の活用について、対話活動の例が示されていて、生徒同士の対話活動を促している。 ・各単元末に「まとめ」という形でキーワードや大事な考え方のチェック項目が位置付けられており、重要語句や大事な考え方の定着を確認できるよう工夫されている。 ・QRコード（1年：30か所、2年：23か所、3年：18か所）を利用し、学習内容に関わる動画資料や実験器具の操作方法、学習内容に関連のある内容のWebページへのリンクを動画資料として繰り返し確認できるように配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に各学年の学習の重点が示されており、教員が学習計画を立てる時の参考になる。実験には、「結果の整理」「結果から考えよう」が示されていたり、「結果の例」が位置付けられたりしているため、結果のまとめ方や分析、考察の視点が分かりやすく、評価規準としても利用することができる。 ・計算を用いる学習では、例題と解答例、演習が示されているため、生徒自身が復習をしやすいよう工夫されている。章末問題が位置付けられており、小ステップごとに定着を確認することができる。さらに、各単元末には、まとめ、単元末問題が位置付けられていて、家庭学習に活用することができる。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判、厚み10mm（1年）11mm（2年）13mm（3年）、重量536g（1年）573g（2年）668g（3年）、総ページ数294（1年）318（2年）374（3年） ・未習漢字や難読漢字にルビが振られている。また、フォントやイラストの色など、UDに配慮されている。 ・目次と凡例等が見開き1ページで見やすい。巻頭や巻末には「探究の進め方」、「自由研究」、「理科室の決まり」、「校外施設」、「章末・単元末問題の解答」、「索引」等がある。

種 目【理科】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「学習のまとめ」が位置付けられており、用語チェックと基本問題が出題されている。また、巻末の「補充資料」に、「計算問題」、「読解力強化問題」、「高校入試問題」がまとめて掲載されており、知識の習得が図られるよう工夫されている。実験器具の扱いについては、巻末の「補充資料」にまとめられている。実験上の注意事項を赤字で示すことで強調している。 ・「実験」の後に、「結果」、「考察」でおおむね2点ずつ「ポイント」を示して、観察、実験後の考察を促し、思考力が育成されるよう配慮されている。 ・3年間で合計107個の読み物が掲載されている。SDGs、防災・減災、キャリア教育、インクルーシブ教育と、学んだことを日常生活や社会につなぎ、幅広く科学の有用性が実感できるよう配慮されている。 ・章や節の導入で、必要に応じて既習事項が掲載されており、それらを活用して学び進めることができるよう配慮されている。 ・探究の過程として「気づき」「課題」「仮説」「計画」「結果」「考察」が示されている。また、「結果」「考察」にはポイントが示されている。探究活動の流れの下部には「この時間の見方」・「考え方」が記載されていて、単位時間で意識したい理科の見方・考え方が位置付けられている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「理路整然」では探究活動に向かうための考え方が示されていたり、巻末資料には「補充資料」として学びを広げていったりできる工夫がされている。また、2次元コードのチャットロボを利用して、個人の疑問を質問すると、教科書の内容を用いて解答してくれる工夫がされている。 ・「気づき」「仮説」では生徒と先生が話を進めていく様子がイラストで示されていて、対話活動の例示により、生徒同士の対話活動を促している。 ・単元の始めと最後に「学びのあしあと」という形で、同じ課題に対してふり返りを行い、自身の考え方や学び方の変容を確認しやすいように配慮されている。また、探究活動の過程にふり返りの項目を位置付け、既習事項との結びつきや学習内容をより理解しやすい工夫がされている。 ・QRコード（1年：198か所、2年：225か所、3年：225か所）には、実験操作に必要な器具の操作方法や学習に関連する内容の画像・動画、既習内容へのリンクが位置付けられている。また、チャット機能やルビ機能があり、生徒が実態に合わせて活用できるように配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各章ごとに、観点別の Can-Do List が設定されており、評価の参考になる。単位時間ごとに、「気づき」から「考察」まで流れに沿って構成されており、教科書に流れが位置付けられている。また、見開き1ページの左上に「この時間の課題」右下に「この時間のまとめ」、下部に「見方・考え方」が位置付けられており、見通しや考える視点を明確にして学習を進めることができ、評価の観点としても利用できる。さらに、「理路整然」で結果をどのように分析解釈すればよいか、丁寧に説明されている。 ・単元末に「学習のまとめ ステップ1：用語を覚える ステップ2：基礎問題に慣れる」が位置付けられており、習熟度に応じて家庭学習に利用することができる。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・重量603g（1年）689g（2年）692g（3年）、総ページ数262（1年）302（2年）302（3年）、AB判で図表を大きく掲載しており、見やすく配慮されている。 ・未習漢字や難読漢字にルビが振られている。フォントやイラストの色や、Webの「ミライ教科書」では、総ルビ・分ち書き、6ヵ国語切り替え対応など、UDに配慮されている。 ・目次と凡例等が見開き1ページで見やすい。巻頭や巻末には「探究の進め方」、「理科室の使い方」（1年のみ）、「思考をさらに深める全国学調・高校入試問題」、「索引」等がある。

種 目【理科】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・章末に「要点チェック」が、単元末に「重点と重要用語の整理」、「基本問題」、「活用問題」が位置付けられており、知識の習得が図られるよう配慮されている。実験器具の扱いについては、各所と巻末に記載があり、実験結果をまとめる表を位置付け、技能の習得に配慮されている。 ・「実験」の後に、「考察」を位置付け、質問形式で問いかけることで、視点を明確にし、思考力を育成できるよう図られている。 ・3年間で合計118個の読み物が掲載されている。「安全」、「環境」などと関連した読み物の「ハローサイエンス」と高校理科の学習内容を紹介する「発展」があり、学んだことをさらに深めていくための工夫が図られている。 ・関連する他教科の学習内容の掲載が3年間で8か所ある。また、各所に既習事項をふり返る「思い出そう」が位置付けられており、既習事項を学び直し、それらを活用して学びを進めることができるよう、系統性・発展性に配慮されている。 ・問題解決の過程が、見開きでステップごとに示されている。また、考察では「結果から考えよう」において、探究の過程で働かせていきたい理科の見方・考え方が示されている。また、生徒同士の会話の中にも、理科の見方・考え方を働かせた会話の様子が示されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・探究の過程の各場面に「考えよう」が設定されていて、1人1人の考えをもって探究活動に取り組むように工夫されている。「活用しよう」では、1人1人の学びを活かしながら考えを深める場面が設定されている。 ・「課題」の後の「仮説」「計画」の場面や協働的な学習に繋げる生徒同士の会話から対話的な学びが示されている。また「話し合おう」では、これまでの学習を活かしながら、生徒同士で話し合う場面が設けられている。 ・各章の始めと終わりに「学習前の私」や「学習後の私」、「探究を振り返ろう」の位置付けがあり、ふり返りを通して探究の過程や考察した内容が適切であるかを確認し、生徒が自己の変容に気付きやすく工夫されている。 ・QRコード（1年：120か所、2年：108か所、120か所）を利用し、実験器具の操作方法を繰り返し、自分のタイミングで確認できるように工夫されている。また、3Dモデルや原子モデルカードなど生徒が自分の考えを可視化し、活用しやすいように配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「疑問を見つける」からスタートする構成になっており、授業の進め方の流れに沿っている。また活動の中で、仮説を立てたり、話し合ったりする箇所がイラストで示されており、教師側が活動を位置付ける場が分かりやすい。さらに、各章ごとに「学習前の私」と「学習後の私」が位置付いており、単元を通して身に付けた知識や考えが示されているため、教師が指導や評価をする際の土台になっている。 ・課題に対する「結論」が位置付いている。また、章末には「要点をチェック」単元末には「要点と重要用語の整理」、「基本問題」、「活用問題」、巻末には「学年末問題」が位置付いており、段階を追って知識・技能の定着が図られるよう工夫されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判、厚み10mm（1年）11mm（2年）12mm（3年）、重量619g（1年）667g（2年）728g（3年）、総ページ数290（1年）314（2年）346（3年） ・未習漢字や難読漢字にルビが振られている。また、フォントやイラストの色など、UDに配慮されている。 ・目次と凡例等が見開き1ページになっていて教科書の内容が見やすい。巻頭や巻末には「探究の進め方」、「理科室の決まり」、「自由研究」、「校外施設」、「学年末総合問題」、「単元・学年末問題の解答」、「索引」等がある。

種 目【理科】

発行者【61 啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・章末の「Review」に、「用語の確認」と「この章でたいせつな考え方」が、単元末には「学習のまとめ」「力だめし」等が位置付けられている。実験器具の扱いについては、各所に「実験のスキル」が位置付けられており、知識と技能の習得が図られるよう配慮されている。 ・「実験」の後に、「結果」、「考察」、「探究の振り返り」が位置付けられており、考える視点を示すことで、思考力の育成に配慮されている。 ・3年間で合計108個の読み物が掲載されている。「お料理ラボ」や「深めるラボ」をはじめとする「ラボ」と「発展」のコーナーで、学んだことを幅広く日常生活や社会につなぎ、科学の有用性が実感できるよう図られている。 ・関連する他教科の学習内容の掲載が3年間で14か所ある。各所に既習事項をふり返る「つながる学び」が位置付けられており、系統性・発展性に配慮されている。 ・探究の過程として「目的」、「課題」、「仮説」、「計画」、「結果」、「考察」が位置付いている。「結果」、「考察」にはポイントが示され、働かせたい理科の見方・考え方が例示されている。また、「探Q実験」では、対話例を示し、見方・考え方の正解ではなく、探究の足場となるヒントを示すことで、自ら考える助けとなるよう工夫されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に「探Q実験」が位置付いており、対話例により、協働して探究する過程を示すとともに、自分で立てた仮説に応じて探究活動を進められるように工夫されている。また、単元末の「探Qクラブ」では、単元全体の学習をさらに発展させて、個の課題意識に応じて探究活動が進められるように工夫されている。 ・「Action」や「考えてみよう」、「発表しよう」では、学んだことをもとに生徒同士で説明し合う活動が設けられている。また、単位時間ごとの探究の過程では、「課題」、「仮説」、「計画」において、生徒同士の会話から対話的な学びが例示されている。 ・各単元の始めに「学ぶ前にトライ」、「学んだ後にリトライ」や「Review - 振り返ろう」、「探究の振り返り」の位置付けがあり、学びの深まりを実感しやすい工夫がされている。 ・各所にQRコード（1年：155か所、2年：176か所、3年：173か所）が位置付けられており、実験器具の操作方法や解説動画、単元末にはCBT形式の問題演習等、学習内容の定着とともに、学んだことの有用性が実感できるよう工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の実験と「探Q実験」を区別して設定することで、生徒の意識に沿った探究の過程を、無理なく仕組むことができるようになっている。巻末に切り取りができる「探Qシート」があり、探Q実験での学びの足跡を残し、評価に活用することができるよう工夫されている。「試してみよう」、「考えてみよう」、「発表してみよう」をたよりに、生徒が主体的に学習活動を進められるよう工夫されている。 ・章末に「Review-振り返ろう」、単元末に「学習のまとめ」、「力試し」が位置付けられていて、習熟度に応じて家庭学習に利用できる。また、QRコードの問題は、学習内容を活用して有用性を実感できるよう工夫されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判、厚み10mm（1年）11mm（2年）12mm（3年）、重量595g（1年）639g（2年）702g（3年）、総ページ数292【内付録8】（1年）316【内付録8】（2年）348【内付録8】（3年） ・未習漢字や難読漢字にルビが振られている。また、フォントやイラストの色など、UDに配慮されている。 ・目次と凡例等が見開き1ページで見やすい。巻頭や巻末には、「探究とは」、「学年末総合問題」、「中学校総合問題」（3年のみ）、「自由研究」、「探Qシートの使い方」、「探Qシート」、「索引」等がある。

【 種 目 】 音 樂（一般）

【 発 行 者 】 2 者

17 教育出版

27 教育芸術社

種 目【音楽 一般】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野がバランスよく構成されている。すべての題材において題材目標とねらいが明記されており、見通しをもって、学ぶことができるようよく配慮されている。歌唱分野では、ページ右端に必要な音楽用語が記載されていることや、一つの題材目標に対して複数の教材が設定されていることが多く、発展させながら繰り返し学ぶことができるようよく配慮されている。 ・くらしと音楽の関わりについて、3年間を通して学ぶことができるようよく配慮されている。1年でコンピューター音楽、2・3年上下で著作権や、社会とのつながりについて学ぶことができるようよく配慮されており、将来の社会生活における活用場面を見据えさせることができる。 ・学習MAPには題材同士のつながりが示されており、音楽を形づくっている要素については、自身で意図をもち選択して指導していく必要がある。また、ページ右端下部「比べてみよう」において、他の教材との比較ができるよう工夫されている。系統的に学習内容の定着を図ることができるようよく配慮されている。 ・2・3年上「浜辺の歌」では、「Active!」において表現に関わる思考・判断を深められるよう、二部構成について穴埋めで書き込めるよう工夫されている。また、「話し合おう」では、実際に歌うときの表現の工夫について対話的に深められるよう配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとにワークシートが用意されており、書き込むことで、考えの変容を実感できるようになっている。また、他の教材曲での学びと比較することで、今後の学習の目標設定につなげる活動が考えられる。 ・2・3年下「荒城の月」では、「Active!」において、日本歌曲の「花」と比較しながら、学べるように配慮されており、発展的に学ぶことができる。 ・1年と2・3年下「指揮をしてみよう」では、二次元コードで手軽に指揮をしている動画を確認することができるなど、個々の学びに合わせて発展的に学ぶことができる。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数の少ない教員でも、教材についての資料や音源が二次元コードで示され、短い時間で教材研究をしたり、授業で具体的に示したりすることができる配慮が十分なされている。 ・東濃地区に根ざしている歌舞伎へ興味・関心をもてるように、歌舞伎「勸進帳」では、資料や鑑賞のポイントが示され、教材研究に配慮されている。また、「長唄『勸進帳』をうたおう」では、唄や三味線の演奏を動画で視聴できる二次元コードが付いている。また、鑑賞と表現を一体化させて、伝統的な表現のよさを体感できるようになっている。 ・歌のアルバムとして、発達段階に応じて合唱曲が例示されている（1年10曲、2・3年上11曲、2・3年下10曲）。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさは、全学年211mm×260mm（A B変型版）。ページ数は、全学年93p。重さは、1年と2・3年上が198g、2・3年下が199g。 ・色覚特性に配慮されるとともに、写真・図解やイラストなどを使って視覚的に学びやすい。巻頭と巻末は発色がよく鮮明になる紙質を、それ以外は書き込みしやすい紙質を用いている。表紙の手触りがよい。 ・巻末資料には、楽典事項や教材曲に関わる写真資料、音楽年表を折込頁に掲載している。特に、音符や休符の長さの割合や、速度や強弱の変化は、視覚的に分かりやすく示されている。

種 目【音楽 一般】

発行者【27 教育芸術社】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> 教材名の横には、音楽の見方・考え方を働かせて学習するためのポイントが例示され、主体的な学習やねらいに沿った学習が進められるよう大変よく配慮されている。歌唱分野では、ページ右端に必要な音楽用語や全ての教材に二次元コードが記載されている。能力に応じた学習に対応でき、一つの教材が複数の題材目標に対応できるように設定されていることから、実態に合った教材選択が柔軟にでき、発展的に学ぶことができるようよく配慮されている。 1年、2・3年下において、「ルールを守って音楽を楽しもう！」では、著作権などの音楽に関わるルールについて学び、「生活や社会の中の音や音楽」では、3年間を通して音楽の多様性を実感できるよう工夫されている。著作権について2・3年下で発展させながら再確認でき、将来の社会生活における活用場面を想起し、系統的に学べるようよく配慮されている。 目次の次にある「学習内容」では、教材と学習内容との関連度が図の色の濃さで分かりやすく示されている。学習内容やねらいに応じて適宜選択できるよう大変よく配慮されている。 1年「浜辺の歌」では、「学びのコンパス」において、音楽の特徴と歌詞の内容を関わらせて主体的に学べるよう、ワークシートが工夫されている。「話し合おう」として対話的な学びを促したのち、「深めよう！」では、どう歌いたいかを楽譜に書き込むスペースが位置付いている。学習の流れに沿ったポイントが示されていることから、主体的・対話的に学べる工夫が大変よく配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> 題材ごとにワークシートが用意されており、書き込むことで、考えの変容を実感できるようになっている。また、巻末には、「音楽の学びを振り返ろう」を位置付け、今後の学習の目標設定に生かせるようになっている。 2・3年上「荒城の月」歌唱教材のページには、パート別と伴奏の音源が二次元コードで示されており、繰り返し自分のペースで学ぶ配慮がされている。曲のモデルとなっている城跡についても調べることができ、ICTを効果的に活用している。 調べ学習に役立つ二次元コードが多数掲載されており、個々の補充的学びや発展的な学びに応じた工夫がなされている。また、教科書の教材曲名の隣には、学びのヒントが示されており、気づきを促す構成になっている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> 経験年数の少ない教員でも、教材についての資料、パートの音源、ワークシートが二次元コードで示され、短い時間で教材研究をしたり、授業で具体的に示したりすることができる配慮が十分なされている。 東濃地区に根ざしている歌舞伎へ興味・関心をもてるように、歌舞伎「勸進帳」では資料や鑑賞のポイントが示され、オペラと歌舞伎のよさについて比較することができる。また、鑑賞と表現を一体化させて、伝統的な表現のよさを体感できるようになっている。 歌い継ごう日本の歌・心通う合唱として、発達段階に応じて合唱曲が例示されている（1年11曲、2・3年上8曲、2・3年下9曲）。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> 大きさは、全学年211mm×261mm（A B変型版）。ページ数は、全学年99p。重さは、1年が205g、2・3年上が206g、2・3年下が204g。 色覚特性に配慮されているとともに、写真・図解やイラストなどを使って視覚的に学びやすい。巻頭と巻末は発色がよく鮮明になる紙質を、それ以外は書き込みしやすい紙質を用いている。 教材ごとに「学習目標」「楽曲の紹介文」「音楽を形づくっている要素」が示され、大変分かりやすい紙面構成である。また、「音楽の約束」として楽典事項等が示されるとともに「音楽を形づくっている要素」が教材曲と紐づけられて掲載されており、十分よく配慮されている。

【 種 目 】 音 樂 (器 樂)

【 発 行 者 】 2 者

17 教育出版

27 教育芸術社

種 目【音楽 器楽】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱う楽器は7種類、アンサンブル曲は生徒にとって親しみのある曲が多く掲載されている。楽器の歴史や特徴、構え方や運指など、楽器に関する理解を深められるよう、よく配慮されている。リコーダーでは、小サイズの練習曲が豊富に配置されており、技能定着を図られるように、よく配慮されている。 ・「深めてみよう」では、発展的に練習できるようになっている。示されているポイントに沿って練習をすることで、曲想に合った奏法を身に付けるためによく配慮されている。奏法による曲の表情の感じ方が異なることに着目できるよう工夫されている。 ・各楽器のページには、演奏家の写真が掲載されている。演奏家からのメッセージには、中学生が演奏するとき手がかりとなるような言葉が織り込まれている。また、世界の楽器が紹介され、身近な楽器が世界とどのようにつながっているのか着目できるようよく配慮されている。 ・アンサンブル曲は、難易度により「Let' s Play!」と「Let' s Try!」に分けて掲載されている。実態に合った曲を選択できるようよく配慮されている。 ・「聴いてみよう」では鑑賞曲が示されている。「音のスケッチ」では、ワークシートを活用して、創作と関連づけた学習ができるようよく配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーのページは、簡単な曲から始まり、2つ以上のパートに分かれて演奏する重奏まで段階を踏んで練習できるように教材曲が配列されている。また、教科書の後半にはアンサンブル曲が多く掲載されており、個別最適な学びから協働的な学びにつながるような配列になるよう配慮されている。 ・目標や活動内容がバランスよく配置されており段階的に学習できる。 ・範奏を動画で視聴できる二次元コードがところどころに付いている。合奏曲の例として「ライダーン」が取り上げられており、コンピューターの打ち込み音楽の面白さを体感できるようになっている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数の少ない教員でも、教材についての資料・音源・解説が二次元コードで示され、短い時間で教材研究をしたり、授業で具体的に示したりすることができる配慮が十分なされている。 ・太鼓のページは、使用例としてお祭りなどで使われる場面以外にも、オーケストラなど西洋音楽の中で使われる場面も紹介され、発展的に捉えることができる配慮が大変よくされている。奏法を紹介するページには、写真が多用されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさは、210mm×260mm (A B変型版)。107 ページ、219g。 ・色覚特性に配慮した配色やデザインで構成され、写真・図解やイラストなどを使って視覚的に分かりやすく学ぶ工夫がされている。五線譜のプレス記号を「,」で示している。 ・管楽器、弦楽器、打楽器の順に掲載され、楽器の特徴を踏まえ共通点や相違点をまとめている。演奏のねらいやめあてが示され、学習活動の目標が明確にできる構成になっている。巻末資料には、「リコーダー運指表」と「ギター&キーボード コード表」を折り込み頁に掲載しておりよく配慮されている。

種 目【音楽 器楽】

発行者【27 教育芸術社】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱う楽器は8種類、アンサンブル曲も豊富であり、音楽の多様性の理解につながるよう十分配慮されている。楽器についての説明や各部の名称、運指や構え方などバランスよく配置されており、リコーダーでは、曲名がある教材以外にも、アーティキュレーションを学ぶための練習教材が豊富に配置されている。技能定着を図るための工夫が大変よく配慮されている。 ・「学びのコンパス」では、奏法による曲の表情の感じ方の違いに着目できるよう工夫されている。また、「練習のポイント」に沿って弾いてみることで音色の響きに注目することができるよう工夫されており、主体的に創意工夫しながら演奏できるよう大変よく配慮されている。 ・各楽器のページには、演奏家の写真や演奏家からのメッセージが構成されている。また、郷土の祭りや伝統芸能での具体的な使用場面を取り上げて紹介することで、楽器との関わりが写真によって理解でき、興味や関心をもてるよう十分に配慮されている。 ・2つ以上の楽器を使ったアンサンブル曲や、体を使って演奏する曲、楽器を選択して演奏できる曲も掲載されており、学校の実態に合わせて発展的に学ぶことができるよう十分配慮されている。 ・各楽器の最初のページに鑑賞曲が掲載されていることや、「My Melody」では、創作と関連づけて学ぶことができるよう、鑑賞や創作と関わらせて学習できるようよく配慮されている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーのページでは、なじみ深い旋律を用いて、スモールステップで学習できるよう教材曲の配列がされており、次に取り組む曲に対して目標を持ちやすい構成になっている。また、教科書の後半にはアンサンブル曲が多く掲載されており、個別最適な学びから協働的な学びにつながるような配列になるようよく配慮されている。 ・目標・活動内容・音楽を形づくっている要素がバランスよく配置されており段階的に学習できるよう大変よく配慮されている。 ・各楽器について奏法を確認できる動画や伴奏の音源が二次元コードで示されており、ICTを効果的に活用している。
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数の少ない教員でも、教材についての資料・音源・伴奏・解説が二次元コードで示され、短い時間で教材研究をしたり、授業で具体的に示したりすることができる配慮が十分なされている。 ・太鼓のページは、伝統芸能や祭りで使われる場面が多く取り上げられ、日本の伝統音楽への興味関心が高まるように配慮されている。特に世界文化遺産に登録されている岐阜県の古川祭の起し太鼓も取り上げており、ふるさと岐阜のよさにふれることができる。また、太鼓で演奏できるアンサンブル曲も多数掲載されており、仲間と太鼓を打つ楽しさを実感できるようになっている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさは、210mm×260mm（AB変型版）。107ページ、221g。 ・色覚特性に配慮した配色やデザインで構成され、写真・図解やイラストなどを使って視覚的に分かりやすく学ぶ工夫がされている。五線譜のプレス記号を「v」で示している。 ・西洋楽器、和楽器の順に掲載されている。目次に続くページには、3つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材が見開きを使って示されているとともに、「音楽を形づくっている要素」が明確になっている。演奏のねらいやめあてに加え、Q&Aやワンポイントアドバイスも掲載され、学びをすすめる支援になるよう大変よく配慮されている。

【種目】 美術

【発行者】 3 者

9 開隆堂出版

38 光村図書出版

116 日本文教出版

種 目【美術】
 発行者【9 開隆堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに資質・能力の三つの柱に対応した目標が明示されている。また、どのような力を主に身に付けることができるのか、学習目標に対応した小見出しを設けている。 ・各巻頭には美術を学ぶ意味や態度について考えるページを設定し、巻末には各学年と中学校美術科の学習を振り返り、自らの人間としての成長を確認することができる構成としている。 【安全面や著作権等に関わる配慮の数 1年：安全2、著作権4、2・3年：安全3、著作権1】 ・生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するために、導入、発想・構想時に扱っている。 ・表現と鑑賞が一体的に学習できるような配慮をし、2つの分野の題材をバランスよく掲載している。【題材の内訳：A表現ア40%、A表現イ33%、B鑑賞27%】 ・題材を端的なリード文で示し、アイデアスケッチや活動の様子を写真掲載することで、学習過程を表している。 ・生徒の作品とあわせて「作者のことば」を添えて掲載し、表現の工夫やよさを感じたり、考えられたりできるようになっている。【生徒作品と作者のことばの数作品：163、ことば：94】
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が自らの主題を考えたり、表現方法を選択したり、自己決定しながら学習が深められるような配慮がなされている。また、生徒が他者と協力して課題に取り組み、意見を交わし合いながら表現活動を深める場面が紹介されている。 ・題材を4ページで構成し、表現と鑑賞を一体化した授業展開を意識した紙面になっている。また、学習改善・指導改善につなげられるように、「先生」と「生徒」のキャラクターを用いて、それぞれの視点からコメントが掲載されていたり、3つの学習目標に関連のある小見出しを設けたりすることで、評価を確認・検討しやすくしている。 ・ICTの活用では、活用の様子や生徒作品を写真で取り上げて、「作者のことば」でねらいが紹介されている。題材名の上部に、「はじめに」「生徒作品」「鑑賞シート」「振り返りシート」「関連ページ」等のアイコンを併用しながら二次元コードをまとめて位置付けている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページ、または4ページで一つの題材を扱い、評価の観点に関連した学びの目標や学習のポイントが掲載されている。制作の手立てや美術用語、生徒作品など、題材の流れがイメージしやすい構成になっており、教員の経験にかかわらず指導できるよう図られている。 ・題材に対応した制作の手順・道具の名称・道具の扱い方・安全面の配慮事項等が丁寧に掲載されている。各題材のページにQRコンテンツによる動画で確認でき、ワークシートもダウンロードできるように工夫がされている。 ・生徒作品や鑑賞作品が掲載され、QRコードから生徒の作品を閲覧できたり制作方法を視聴できたりして、指導に活用できるように構成されている。1年P48～51 ・東濃地区の特徴である焼き物について、成形の方法が扱われている。1年P70
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4ワイド判 2冊構成 1年72ページ 2・3年128ページ 総重量720g ・UDフォントが使用されている。 ・印刷インキのギラツキを抑え、発色が鮮やかに印刷できる用紙が使用されている。 ・原寸大の図版が10カ所あり、実物と同じ大きさで掲載されている。 ・巻頭には、小中の接続、社会とのつながりを意識した内容が位置付けられ、その後には、教科書の使い方の確認や身に付けたい力についての資料が配置されている。 ・巻末には、学びの資料として、知識や技能を培う資料や美術館の楽しみ方の情報のページが配置されている。

種 目【美術】
 発行者【38 光村】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに資質・能力の三つの柱に対応した目標が明示されている。また、題材の初めに学習を通して意識させたい造形的な視点を明記されている。 ・学習目標を簡潔な文章でまとめ、身に付ける力や学習のねらいが生徒に明確に伝わるようにしている。【安全面や著作権等に関わる配慮の数 1年：安全0、著作権0、別冊資料：安全7、著作権：5、2・3年：安全0 著作権1】 ・生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するために、制作、作品鑑賞時に扱っている。 ・表現と鑑賞が一体的に学習できるような配慮をし、2つの分野の題材をバランスよく掲載している。【題材の内訳：A表現ア35%、A表現イ23%、B鑑賞42%】 ・題材の初めに表現につながる鑑賞作品を、発想時には「みんなの工夫」を掲載して、学習過程を表している。 ・生徒作品に「作者の言葉」を添えて掲載し、生徒の思考の流れに沿った工夫が考えられるようになっている。【生徒作品と作者の言葉の数 作品：69、言葉：65】
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の関心や能力に基づいて表現方法を選択できるように、「みんなの工夫」の活動例を提示し、「POINT」で色彩、材料などの視点の提示がされている。また、生徒が仲間と課題に取り組んだり交流したりするきっかけとなるように、他者と関わり合ったり、表現活動を深め合ったりする場面が紹介されている。 ・2ページ題材は「鑑賞→表現」、4ページ題材は、「鑑賞→表現→鑑賞」と構成し、生徒が鑑賞と表現を関連させて学びが深まるような工夫がされている。また、表現には、吹き出しに自己評価の観点を示し、評価の確認がしやすくされている。 ・ICTの活用では、作家や生徒作品、制作過程等を写真で取り上げ、活用例の説明がなされている。題材名の右には「全国の生徒作品を見てみよう」、発想時には「作者のインタビュー動画を見てみよう」、鑑賞時には「コンテンツを見て体験しよう」という文言を添えた二次元コードを位置付けている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで一つの題材を扱い、表現につながる鑑賞作品を掲載している。また作者のインタビュー動画の視聴ができ、「表現」と「鑑賞」を関連付け、授業の流れがわかる構成になっており、教員の経験にかかわらず指導できるよう図られている。 ・別冊の資料に、様々な技法の用具の使い方や安全指導、色彩や鑑賞学習、美術史に関連した資料が掲載され、技法動画が見られるよう工夫がされている。別冊の資料 P35 ・鑑賞作品が掲載され、QRコードから生徒の作品を閲覧できたり、発想方法などが掲載されたりしており、指導に活用できるように構成されている。1年 P60 ・東濃地区の特徴である焼き物について、成形から施釉の方法が扱われている。資料P16
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4ワイド版3冊構成 1年70ページ 2・3年108ページ 資料36ページ 総重量808g ・UDフォントが使用されている。 ・作者の意図した色合いが再現できるよう、実物に近い色味を出している。 ・日本絵画の鑑賞資料として、和紙に近い用紙を使用している。 ・巻頭には、身の回りの造形と美術との関わり、社会で果たす美術の役割を意識した内容が位置付けられ、その後には、1年間の題材の見通しや教科書の使い方が配置されている。 ・学びを支える資料として、別冊「資料」には技法や用具の使い方を、2・3巻末には、美術館や美術史の情報が配置されている。

種 目【美術】
 発行者【116 日文】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに資質・能力の三つの柱に対応した「学びの目標」を設定し、その具体を「鑑賞の入り口」「造形的な視点」で提示している。 ・本文を生徒に問いかける文章にしており、生徒が自分に置き換えて学習活動を始めていく展開を想定している。【安全面や著作権等に関わる配慮の数 1年:安全5、著作権1、2・3年上:安全3、著作権1、2・3年下:安全0、著作権2】 ・生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するために、主題設定時に扱っている。 ・表現と鑑賞が一体的に学習できるような配慮をし、2つの分野の題材をどの学年でもバランスよく掲載している。【題材の内訳:A表現ア36%、A表現イ36%、B鑑賞28%】 ・「鑑賞の入り口」「学びの目標」「学びの初めに」「造形的な視点」「表現のヒント」を示し、学習過程を表している。 ・表現のきっかけとして生徒作品を、また表現に込められた思いや工夫が感じられるように「作者の言葉」を掲載している。【生徒作品と作者の言葉の数:作品:122 言葉:85】
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の関心や能力に応じて主題や課題を選択するために、各題材で意識するポイントを「造形的な視点」で示し、また表現活動を広げられる工夫として、「表現のヒント」が提示されていたり、生徒が仲間と協力や意見交換している場面が紹介されたりしている。 ・題材を見開き2ページで構成し、目標やポイントなどの学習の内容と評価がひと目でわかる紙面になっている。また、掲載作品などの「鑑賞」、自らの「表現」、友人作品の「鑑賞」と相互に関連し合うサイクルが示されている。 ・ICTの活用では、「短時間でつくる」「表現のヒント」等のアイコンを併用して、理由が説明されている。紙面に登場した作家のインタビュー動画や導入部には「学びのはじめに」、発想・構想時には「資料を見よう」、制作時には「動画を見よう」という文言を添えた二次元コードを位置付けている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで一つの題材を扱い、評価の観点に関連した学びの目標や造形的な視点が掲載されている。「導入動画」や「表現のヒント」作品、作者の言葉があり、題材の流れがイメージしやすい構成になっており、教員の経験にかかわらず指導できるよう図られている。 ・巻末にさまざまな題材に対応した制作の手順・道具の名称・道具の扱い方・安全面の配慮事項等が丁寧に掲載されており、モダンテクニック・木版画・焼き物・木工については、QRコンテンツによる動画で確認できるように工夫がされている。 ・生徒作品や鑑賞作品が掲載され、またQRコードから画像や動画も視聴でき、指導に活用できるように構成されている。1年P50、P68 ・東濃地区の特徴である焼き物について、焼き物の種類、成形から施釉・焼成までが写真や動画で扱われている。1年P50、P69
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4ワイド版1年76ページ 2・3年上66ページ 2・3年下62ページ総重量746g ・UDフォントが使用されている。 ・コート紙、マット紙を使用し、ニュアンスや材質感、色彩等の忠実な再現が図られている。 ・浮世絵を鑑賞するページでは高密度の高精細印刷が施されている。原寸大の図版が4カ所ある。 ・巻頭には、各学年で身に付けたい資質・能力の内容が位置付けられ、その後には、1年間の題材の見通しや教科書の使い方が配置されている。 ・巻末には、学びを支える資料として、発想・構想・知識(技法・色彩)、鑑賞に関わる情報ページが配置されている。

【 種 目 】 保健体育

【 発 行 者 】 4 者

2 東京書籍

4 大日本図書

50 大修館

224 Gakken

種 目【保健体育】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見																		
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・章末にはキーワードの解説、章末問題のデジタルコンテンツが設けられ、知識の定着を図れるようにしている。 ・「生活習慣病の起こり方」(2年P90、91)では、生活習慣病に関する知識を習得し、「生活習慣病の予防」(2年P92、93)では、生活習慣病を予防するために必要なことを考え思考力・判断力を育成するようにバランスよく構成されている。 ・「活用する」で具体的な事例から他者への助言を考える活動が設定されており、「広げる」で自己の日常生活を見直し、より良い解決に向けて思考し、判断する学習が設定されている。 ・章の初めに「保健体育の職業」として学習内容と関連する社会人の話が掲載されている。 ・章の初めに、小学校や高校で学習する内容との系統性が示されており、小学校での既習内容についてはデジタルコンテンツを使用して振り返ることができる。 ・単位時間ごとに関連する学習内容とページ数、他教科との関連が記載されている。 ・デジタルコンテンツの動画や教科書内の「活用する」「広げる」では学習したことをもとに具体的な事例から課題が設定されており、主体的に考えを深める活動が工夫されている。 ・「運動やスポーツの多様な楽しみ方」(1年P60、61)では、個に応じたスポーツの楽しみ方をグループで発表する対話的な活動が位置付けられている。 																		
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「ストレスへの対処の方法」(1年P48、P49)の導入では、ストレスに対して1人で対処する方法と周囲の助けを受けて対処する方法の例を示している。学習活動では、自他の課題に関わらせてストレスに対処する方法を見つける活動が設定されている。 ・単位時間の終末では、習得したことを活用(1年P49)して、自己の生活を見つめたり、他者への助言を考えたりできる学習活動が設定されており、今後の生活改善につなげる配慮が大変よくされている。 ・自己とつなげる振り返りの工夫【例：心身の機能の発達と心の健康・活動15/記述2/交流1】 ・デジタルコンテンツは、動画、シミュレーション、資料・図鑑、思考ツールなど視覚的に有効な内容が多く使用されており、学習内容を深める配慮が大変よくされている。 【動画79/思考ツール8/シミュレーション5/資料5/章末問題・ワークシート7/WEB5/他教科リンク15】 																		
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」－「課題の解決」－「広げる」という構成で学習の流れがつけられ、もっと調べたいことや、日常生活へ生かしていきたいことを考える発問が設定されている。 ・各時間に学習するキーワードが「学習課題」の下(冒頭)に記載されている。 ・教科書の最後に「巻末のスキルブック」が18ページにわたり、日常生活ですぐに活用できる実習資料があり、二次元コードから視聴できる動画資料も付いているため、生徒が関心を持って学習を進められることができるよう大変配慮されている。 ・各章末の「学習のまとめ」では、一単位時間ごとだけでなく、章のまとめの問題で知識・技能を「確認の問題」、思考・判断・表現を「活用の問題」で確認できるよう区別しており、正確に理解度が把握できるような工夫がなされている。 1年生：177問/2年生：184問/3年生：212問 合計573問 																		
4 表現や体 裁等に關 すること	<table border="1" data-bbox="312 1794 863 2022"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>1冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きさ (mm)</td> <td colspan="2">AB (210×257)</td> </tr> <tr> <td>重量 (g)</td> <td colspan="2">379</td> </tr> <tr> <td>ページ数 (P)</td> <td colspan="2">198</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表・グラフ</td> <td>写真</td> </tr> <tr> <td>1冊の合計</td> <td>69</td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮した誌面である。 ・行間は4mmとし、余白を大きくとっている。 ・マークは10種類あり、その他に学習過程を示すものも10種類ある。 ・ページの左側に文字、右側に資料が位置付いており、視認性を高めている。 			1冊	大きさ (mm)	AB (210×257)		重量 (g)	379		ページ数 (P)	198			表・グラフ	写真	1冊の合計	69	141
		1冊																	
大きさ (mm)	AB (210×257)																		
重量 (g)	379																		
ページ数 (P)	198																		
	表・グラフ	写真																	
1冊の合計	69	141																	

種 目【保健体育】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見																	
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・章末には「重要な言葉」の解説と、まとめの問題のデジタルコンテンツがあり、知識の定着が図れるようにしている。 ・「生活習慣病の予防」（2年 P72、P73）では、P72 で文章、P73 で関連する資料が記載され、単位時間の中で知識と思考力の育成が図られている。 ・「話し合ってみよう」（P73）では、生活習慣病を予防するための生活について、話し合いや考えを深める活動が位置付けられている。 ・「運動やスポーツの多様な楽しみ方」（1年 P8、9）では豊かなスポーツライフを送る例（資料4）が示されており、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむことにつながる配慮がある。 ・「トピックス」では、学習内容と関連したアスリートの話や発展的な読み物が掲載されている。 ・章の初めに、小学校や高校で学習する内容との系統性が矢印で示されている。 ・リンクマークで関連した内容を学習するページや他教科との関連が示されている。 ・章末資料の学びを活かす資料やワークシートで日常生活との関連が図られており、主体的・対話的な学びができるよう工夫されている。 ・単位時間内に身の回りの生活への意識付けを行い、「やってみよう」「話し合ってみよう」という活動で、自分の考えを広めたり、周りの意見を取り入れたりして、自己の生活の見直しへつなげる構成になっている。 																	
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・「ストレスへの対処/心と体の関わり」（1年 P46、P47）の導入では、ストレスに対処できない時の心身の状態を挙げ、それに対する対処方法が示されており、ストレスを感じるまでの心身の流れが絵図で明記されている。 ・単位時間の終末では、深める学習（P47）として、学習したことをもとに自己を振り返り、心と体の健康保持のための対処法を表にまとめる活動が設定されている。 自己とつなげる振り返りの工夫【例：心身の発達と心の健康…活動数10/記述6/交流2】 ・口絵（P16）に全体の二次元コードが示されており、関連WEBサイトへのリンク、資料がある。また章末のまとめの問題にはそれぞれ二次元コードが記されており、ワークシートとして使用できるようになっている。【動画12/Web10/まとめの問題9/まとめの問題解答3】 																	
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかもう」－「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」－「活用して深めよう」という構成で学習の流れがつけられ、学習したことを活用しながら学びをより深める課題が設定されている。 ・各時間に学習するキーワードが「活用して深めよう」の隣（終末）に記載されている。 ・章末の「学習のまとめ」では、各章で扱った重要な言葉を1ページにまとめて解説しており、章の振り返りがしやすいように配慮されている。 ・二次元コードを読み込むことで教科書の内容に沿った「まとめの問題」が章末ごとに用意されている。 1年生：58問/2年生：62問/3年生：60問 合計180問 																	
4 表現や体 裁等に關 すること	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="312 1715 539 1753">1冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="312 1753 539 1792">大きさ (mm)</td> <td data-bbox="539 1753 842 1792">A B変形 (202×257)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="312 1792 539 1830">重量 (g)</td> <td data-bbox="539 1792 842 1830">431</td> </tr> <tr> <td data-bbox="312 1830 539 1868">ページ数 (P)</td> <td data-bbox="539 1830 842 1868">194</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="312 1868 539 1906">表・グラフ</th> </tr> <tr> <td data-bbox="312 1906 539 1944">1冊の合計</td> <td data-bbox="539 1906 842 1944">60</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="312 1944 539 1982">写真</th> </tr> <tr> <td data-bbox="312 1982 539 2020">1冊の合計</td> <td data-bbox="539 1982 842 2020">64</td> </tr> </tbody> </table>	1冊		大きさ (mm)	A B変形 (202×257)	重量 (g)	431	ページ数 (P)	194	表・グラフ		1冊の合計	60	写真		1冊の合計	64	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮した誌面である。 ・行間は3mmである。 ・見開き左側ページに文章、右ページに資料が掲載されており、文章のまとまりがつかみやすい構造になっている。 ・マークは10種類ある。
1冊																		
大きさ (mm)	A B変形 (202×257)																	
重量 (g)	431																	
ページ数 (P)	194																	
表・グラフ																		
1冊の合計	60																	
写真																		
1冊の合計	64																	

種 目【保健体育】

発行者【50 大修館書店】

調査項目	意 見																									
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・章末には、知識・技能のまとめの問題が1ページ設けられ、知識の定着を図れるようにしている。 ・「生活習慣病」（2年 P80、81）で生活習慣と病気のリスクについての知識を習得し、「生活習慣病の予防」（2年 P82、83）では、生活習慣病を予防するために必要なことを考え、「学習のまとめ」で他者への助言を考える活動を位置付け、思考力・判断力を育成するようにバランスよく構成されている。 ・「運動やスポーツの多様な楽しみ方」（1年 P10、11）では、目的に合った多様な楽しみ方の例（資料2）が示され、豊かなスポーツライフの実現のために、必要な能力、環境を考える構成になっている。 ・章の初めに、学習内容と関連したアスリートや社会人の話が掲載されている。 ・章の初めに、小学校、中学校、高校で学習する系統性が示されている。 ・単位時間ごとに関連する学習内容とページ数が記載されており、本時の内容と既習内容とを結びつける工夫がある。 ・学習のまとめでは、中学生で起こり得そうな日常生活の場面や中学生の考え方に即した課題が設定されており、健康で豊かな生活を送るために主体的に学ぶ工夫がされている。 																									
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・心のかかわりとストレス/ストレスへの対処のしかた」（P52～P55）では、ストレスの2つの側面を示し、ストレスの影響の違いにより様々な対処法から自分の状況に合う方法を考える活動になるように大変よく工夫されている。 ・学習のまとめ（1年 P55）では、事例を用いて、個々で物事の受け止め方を見直した後、周囲との意見交流の時間を設定する流れになっており、協働的に学ぶ時間が設定されている。 ・ストレスに対処して前向きに生きる方法を考える活動を出口にしており、今後の生活改善につながるよう配慮されている。次ページに実習としてリラクゼーション方法、特集資料として、ストレスの原因とサインの種類が記されている。 自己とつなげる振り返りの工夫【例：心身の発達と心の健康…活動6/記述3/交流1】 ・動画、Web サイト、クイズ、ワークシートの4種類の二次元コードがあり、単元時間ごとに示されている。単元時間の学習の振り返りとして4問程度のクイズがあり、学習内容を深める配慮がされている。【動画31/Web 保健情報館31/ワークシート48/クイズ57】 																									
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」－「身につける・考える」－「まとめる・振り返る」という構成で学習の流れがつかわれ、もっと調べたいことや日常生活へ生かしていきたいことを考える発問が設定されている。 ・各時間に学習するキーワードが「今日の学習」の下（冒頭）に記載されている。 ・教科書の最後に用語解説が3ページにわたり、章ごとにまとめてあるため、生徒の自主学習にも使いやすいよう配慮されている。 ・各章末の「章のまとめ」では、主体的に学習に取り組む態度の観点も確認や振り返りができるよう区別してあり、正確に理解度や到達度が把握できるような工夫がされている。 1年生：75問/2年生：57問/3年生：63問 合計195問 																									
4 表現や体 裁等に關 すること	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>1冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きさ (mm)</td> <td>AB</td> <td>(210×257)</td> </tr> <tr> <td>重量 (g)</td> <td></td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>ページ数 (P)</td> <td></td> <td>206</td> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>表・グラフ</th> </tr> <tr> <td>1冊の合計</td> <td></td> <td>69</td> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>写真</th> </tr> <tr> <td>1冊の合計</td> <td></td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table>			1冊	大きさ (mm)	AB	(210×257)	重量 (g)		416	ページ数 (P)		206			表・グラフ	1冊の合計		69			写真	1冊の合計		141	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮した誌面である。 ・行間は4mmとし、余白を大きくとっている。 ・見開きで見るとき、文章が内側、資料が外側に配置されている。 ・マークは6種類あり、その他に学習過程を示すものも12種類ある。
		1冊																								
大きさ (mm)	AB	(210×257)																								
重量 (g)		416																								
ページ数 (P)		206																								
		表・グラフ																								
1冊の合計		69																								
		写真																								
1冊の合計		141																								

種 目【保健体育】

発行者【224 Gakken】

調査項目	意 見																			
1 学習指導要領改訂の内容に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・章末には、キーワード、確かめの問題が設けられ、知識の定着を図れるようにしている。 ・「生活習慣病とその予防」（2年 P86～89）では、生活習慣病を1年生で学習する「循環器」という言葉を使った項目でまとめ、関連付けて考えられるように工夫されている。生活習慣病の進行や起こり方を具体的な資料（P86～88 資料2～4）で大きく示し、知識の習得が図られている。 ・「エクササイズ」では学習したことを基に考えたり、話し合ったりする活動が位置付けられている。 ・単位時間ごとの学びに向かう姿勢や、章ごとの学習内容の定着度を自己評価できるようになっており、学びに向かう力を高めるための工夫がある。 ・「コラム」では、学習内容と関連した読み物が掲載されている。 ・章の初めには小学校、高校で学習する関連する内容が、巻末（P190、191）には他教科との関連が一覧として示されている。 ・章末資料「探究しようよ！」が位置付けられており、さらに学びを深めるための工夫がある。 ・授業の導入（ウォームアップ）で必然性のある課題を見つけ、学習で得た知識を基に、自己の生活を見直したり生かしたり（学びを生かす）する構成になっている。 																			
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・「欲求不満やストレスへの対処」（1年 P60～63）では、欲求不満とストレスの概念について絵や図で表現されており、分かりやすく捉えられる工夫がなされている。 ・ストレスへの対処の仕方の例が図で示してあり、リラクセーションの方法の他に、受け止めを見直すことや信頼できる人に相談すること、生活習慣を見直す事等、個々の実態に応じた様々な対処法が紹介されている。 ・単位時間の終末「学びの活用」（1年 P63）では、ストレスへの対処の仕方を出し合ったり、これから試したい対処の仕方を考えたりする活動が設定されている。 自己とつなげる振り返りの工夫【例：心身の発達と心の健康・活動5/記述4/交流5】 ・「章デジ」として単元時間ごとに二次元コードが表示されている。動画、リンク集、教材、資料、単元ごとにワークシートがあり、学習状況の把握ができるようになっている。 二次元コードの掲載【動画55/教材・資料6/外部リンク14/ワークシート65/テキスト1】 																			
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・「ウォームアップ」－「エクササイズ」－「学びを活かす」という構成で学習の流れがつけられ、課題解決ができていのか確認できる具体的な発問が設定されている。 ・各時間に学習するキーワードが「学習の課題」の下（冒頭）に記載されている。 ・教科書の最後にキーワードで見る保健体育の学習内容が他教科とどう関連付いているのかが分かりやすくキーワード別に2ページにわたり、掲載されているため生徒の学習意欲にも繋がる配慮がなされている。 ・各章末の「章のまとめ」では知識・技能を「確かめよう」で、思考・判断・表現を「生かそう」で確認できるよう区別してあり、理解度が把握できるようになっている。 1年生：36問/2年生：39問/3年生：45問 合計120問 																			
4 表現や体裁等に関する事	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="312 1794 536 1827"></th> <th data-bbox="536 1794 823 1827">1冊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="312 1827 536 1861">大きさ (mm)</td> <td colspan="2" data-bbox="536 1827 823 1861">A B (210×257)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="312 1861 536 1895">重量 (g)</td> <td colspan="2" data-bbox="536 1861 823 1895">410</td> </tr> <tr> <td data-bbox="312 1895 536 1928">ページ数 (P)</td> <td colspan="2" data-bbox="536 1895 823 1928">206</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="312 1928 536 1962"></th> <th data-bbox="536 1928 823 1962">写真</th> </tr> <tr> <td data-bbox="312 1962 536 1995">1冊の合計</td> <td data-bbox="536 1962 651 1995">56</td> <td data-bbox="651 1962 823 1995">129</td> </tr> </tbody> </table>			1冊	大きさ (mm)	A B (210×257)		重量 (g)	410		ページ数 (P)	206				写真	1冊の合計	56	129	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮した誌面である。 ・行間は4mmとし、余白を大きくとっている。 ・マークは11種類あり、その他に学習過程を示すものも10種類ある。 ・ページの左側に文字、右側に資料が位置付いており、視認性を高めている。
		1冊																		
大きさ (mm)	A B (210×257)																			
重量 (g)	410																			
ページ数 (P)	206																			
		写真																		
1冊の合計	56	129																		

【種目】 技術

【発行者】 3 者

2 東京書籍

6 教育図書

9 開隆堂出版

種 目【技術】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスに、「最適化の窓」と4つの視点が示してあり、教科の本質を指導しやすい。p19 ・内容A, B, C, D共に、学習指導要領の順に沿って、「生活や社会を支える技術（知識・技能）」→「技術による課題解決（製作・実習）」→「社会の発展と技術」の章立てになっており、課題の把握、知識・技能の習得、製作・実習を通した課題解決、評価という、技術科の学びの流れができています。 ・製作・実習に必要な知識や技能は、「技術のとびら」と「テックラボ」のページにまとめて記載されており、使用する際の便宜が図られている。p40 p114 p180 ・各内容の第2章「技術による課題解決」は、「問題の発見と課題の設定」→「解決策の構想」→「問題解決の評価、改善・修正」の節で構成されており、さらに問題解決の例が記載してある。家庭・学校・社会との関連や「最適解」を意図した課題解決など、具体的な内容を通して、技術の見方・考え方を働かせた課題解決を行うことができる。p58 p106 p168 p224 ・他教科との関連が、内容ごとに示してあり、技術の科学的根拠のよりどころにできるとともに、課題解決の手がかりとすることができる。p34 p92 p138 など ・学習のまとめに大切な用語の一覧が記載してあり、ページ数が付けてある。内容ごとの索引としても活用できる（総索引を見なくてもよい）ほか、学習内容の確認のために活用できる。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の最初の場面で、課題の発見の例が家庭・学校・社会の場から示されているところからはじまり、各内容とも、生活や社会との関連を意識し、技術の見方・考え方を働かせた一連の学びが達成できるようになっている。よって、知識・技能の習得だけでなく、技術科の見方・考え方を働かせた課題解決が身に付くことになり、実生活に応用できる。 ・問題解決の評価にあるレーダーチャートは、内容ごとに項目が工夫してある。これを記入することを通して、学びの自己調整と仲間との協働的な学びに繋がる可能性がある。p70 p118 p178 p248 ・内容D、双方向プログラミングおよび計測・制御プログラミングとともに、概要、課題解決の構想、考え方を、図を多用して詳細かつ丁寧に説明がされており、理解しやすい。課題解決例が複数示されており、言語はブロック型のみ示されている。p232 p250 ・2次元コードが合計134あり、それぞれに関わりのあるページごとに掲載されている。資料や動画の閲覧ができる。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・技術科ならではの見方・考え方を働かせることや、技術の評価改善などに関わる指導が、教科書の流れに従って学習すれば、もれなく指導できる。これら抽象的な概念に関わる内容の指導は、免許外指導者には難しいことが予想され、具体的で詳細な記述があることは有益である。 ・他者よりもコンピテンシーベースの学習を重要視している印象を受ける。技術の見方・考え方の働かせ方、技術の評価改善の在り方等が、社会や産業を技術の立場からみる際に有効である。これは、技術に関わる産業に就かない場合でも、社会の一員として有益である。 ・「すごいぞ技術」のページには、最新の技術開発とそれに携わる人々の紹介が記載されており、生徒の関心を高め、発展的に学ぶ機会になると思われる。キャリア教育としても有益である。p86 p134 p196 p264
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・重量960gで、他者のものと大きく変わりはない。 ・ユニバーサルフォントで読みやすくなっている。 ・図・写真共に、全体的に淡い色遣いとなっている。 ・立体図など、理解しやすいように工夫された図が多数みられる。例えば p161 ・見出しや内容ごとの索引は、学習内容を素早く見つけるのに都合がよい。

種 目【技術】

発行者【6 教育図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・技術科の学習内容や見方・考え方について、ガイダンスの部分で触れている。p4 ・内容A、B、C、Dとも、「技術を見つめよう（知識・技能）」→「技術を生かそう（製作・実習）」→「未来をつくろう（技術の社会とのつながり、技術の評価）」の章立てになっている。「技術を生かそう」の部分で、課題解決の流れが記載してある。製作・実習の前に、安全指導の内容が必ず記載されている。 ・知識・技能に関わる内容が豊富で詳細である。別冊として、高度で幅広い知識・技能に関わる内容も用意されており、応用発展的な学習には有効である。別冊化は、持ち運ぶ際の生徒の便宜が図られていると思われるが、実際に使用するには、本体・別冊両方必要であろう。 ・内容の初めに、4コマ漫画で課題提示がしてあるため分かりやすく、一目で問題意識をもつことができる。p36 p86 p138 p196 p222 ・章ごとにまとめのページがあり、技術の見方・考え方をもとに評価を行っている。また、評価問題が記載されており、学習の振り返りができる。p68 p110 p170 p244 ・他者よりも知識・技能について、詳細（やや高度）で多くの記述がある。技術の見方・考え方については、解説より、学習者が考えるよう促している。 ・各ページにキーワードが記載されており、学習の重点としてとらえることができる。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に、内容ごとの設計・製作シートがあり、ノート・レポート代わりとして、生徒が記入しながら学習を進めることができることが特徴的である。また、学習の記録としての活用ができる。（同じシートがデジタル教材内にもあり、デジタルでの記録も可能である。） ・各内容の1章2節で、知識・技能に関わる内容が豊富で詳細であることで、興味関心の高い生徒の期待に応えることができ、さらに発展的な学習や、学習したことを家庭や地域で活用することにつながると思われる。p18 p74 p120 p180 及び別冊 ・内容Dで扱っている、双方向プログラミングでは、アクティビティ図（流れ図）の説明を踏まえながら、サーバーやWebAPIを用いた方法での詳しい解説がある。p208 言語はブロック型とテキスト型を併用している。計測制御プログラミングは、一つの制作例について、テキスト型言語を使って詳細に解説している。p216 ・2次元コードが合計 62 あり、それぞれに関わりのあるページごとに掲載されている。資料や動画の閲覧ができる。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能に関わる内容が豊富で詳細で、ハンドブック的に使えるという点においては、免許外指導者にとって、有効な情報源になり得る。やや高度な内容が含まれているので、技術科の指導経験が少ない指導者にとっては、十分な事前準備が求められる。p29 p158 p181 ・内容D、双方向プログラミングや計測・制御プログラミングは、紹介してある技術がやや高度である。使用言語は、ブロック型よりテキスト型が多く掲載されている。p216 ・「技ビト」のコーナーで技術に関わる人の紹介があり、興味関心を高めたり、キャリア指導に繋いだりすることができる。p64 p107 p169 p243
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・本体 963 g で他者と大きな違いがないが、別冊が 162 g あり、両方合わせると 1125 g となる。 ・ユニバーサルフォントで読みやすくなっている。 ・太字の重要語句が青色文字であることが特徴的である。 ・写真や図は明瞭な色遣いが多い。 ・見出しがあるので、学習内容を素早く見つけるのに都合がよい。

種 目【技術】

発行者【9 開隆堂】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスに、ドライバーの開発過程とスプーンの形状から、課題解決の「最適化」について解説があり、教科の本質を指導している。また、他教科との関連がまとめて記載しており、課題解決のための手がかりとして活用できる。p6～p17 ・内容B、C、Dは、学習指導要領の順に、「(各内容の) 技術 (知識・技能)」→「技術による課題解決 (実習)」→「これからの技術」の章立てになっており、習得した知識・技能を生かし、技術科の見方・考え方を働かせて、製作・実習に取り組む流れができています。 ・各内容の第1時に、技術の歴史と「学習の流れ」が記載されており、学習に関心を持ち、見通しをもてる。また、第2時に内容ごとに求められる見方・考え方が示してある。さらに、各節ごとに「学習の目標」が記載してある。節目ごとに、考えを整理しながら学ぶことができる。 ・製作や実習に入る前に、「課題解決の評価・改善」のページがあり、生徒が技術科の見方・考え方を働かせて、自分の考えを一度振り返る機会を設けている。p50 p128 p188 p252 p256 また、各内容の最後に「学習をふりかえろう」のページがあり、技術科の見方・考え方を働かせて課題解決ができたか振り返ることができる。p75 p148 p202 p276 ・内容の最後に、学習の振り返り用のシートと評価問題があるため、学習の到達度を客観的に把握するのに役立つ。p102 p154 p208 p282
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・内容ごとに、実習例の記載が多く、生徒の関心を引き、作品のイメージをもちやすい。また、作品例のそれぞれの良さを組み合わせてみるなど、応用のための資料としても参考にできる。 ・課題解決の流れが4段階の図で示してあり理解しやすい。p50 p128 p188 p252 p266 多くの実習例とその解説により、生徒がどの段階で何を考えれば解決につながるか、分かりやすくなっているため、主体的な学習への一助になる。p62～ p136～ p194～ p256～ p270～ ・内容のまとめは、技術の見方・考え方の4観点で示すレーダーチャートがあり、これを記入することを通して、学びの自己調整と仲間との協働的な学びに繋がる。p103 p155 p209 p283 ・内容D、双方向プログラミングおよび計測・制御プログラミングともに、アクティビティ図(流れ図)とUI(ユーザー・インターフェイス)を示し、詳細に説明がされている。使用言語は、ブロック型のみが紹介されているが、事例を多く掲載している。p256 ・2次元コードが合計121あり、それぞれに関わりのあるページごとに掲載されている。資料や動画の閲覧ができる。
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な実習例が掲載されており、これを見て作品のイメージをもちやすく、実習例を応用したり、組み合わせて活用したりするヒントになるとともに、生徒が家庭でも引き続き学習しようとする(製作や実習を実践しようとする)きっかけにできる。 ・内容Aについては、作品の製作段階ごとに、製作に必要な知識・技能が記載されており、生徒への便宜が図られているとともに、免外の教師が実技面の指導を行う際に有益である。p76～ ・実習例には、課題解決の流れが図で示してあり、生徒が学習する際には、どの段階で何を考えれば解決につながるか、わかりやすくなっているため、主体的な学習への一助になる。 ・各種業界で技術に関わる人々の紹介があり、生徒の興味を引くと共に、キャリア指導にも繋がる内容である。p104 p156 p210 p284
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・重量948g 他者との大きな差はない。 ・ユニバーサルフォントで読みやすくなっている。 ・語句の途中で改行されないよう工夫してあるのが特徴的である。 ・明瞭でコントラストがはっきりした見やすい図・写真が多い。

【種目】 家庭

【発行者】 3 者

2 東京書籍

6 教育図書

9 開隆堂出版

種 目【技術・家庭（家庭分野）】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「自らの生活をつくる」→「消費者として意思決定する」→「ともに生きる」の流れで構成されている。「生活の営みに係る見方・考え方」についてガイダンスでは、内容A～Cで大切なものを示し、各章ではその具体を位置付けるなど大変よく配慮されている。(P18 P19 と各章) ・実習例は計11例あり、生活のさまざまな場面で使用することができる。また、バンダナや手ぬぐいを材料とし簡単に製作可能な例があり、基礎的・基本的な技能の定着を図ることができるだけでなく、内容AやCとの関連も示すなど、大変よく配慮されている。(P152-P161) ・他教科の学習内容や教科内の学習内容と深く関わるところには、リンクマークを設け、関連先ページ数と関連内容があり、すぐに関連させることができるようになっているなど、大変よく配慮されている。他教科との関連マークは49である。(P226) ・各編の扉ページに小学校家庭科で学習した内容のキーワードがあり「ゆでる、いためる調理」の学習をした小学校から「蒸す調理」を学習する中学校への発展性が見られたり、ビタミンCの残存率に関わるグラフを示したりするなど系統的な学習が十分図られている。(P75) ・見開き1ページに「目標」「レッツスタート」「学習課題」、ページ右下に「まとめよう」があり、一連の学習過程が位置付いている構成となっているなど大変よく配慮されている。(P198-P199) ・実習例ごとにオリジナル例があり、学びを深められる。また家庭分野に係る「学習過程の参考例」を元に、すべての過程において具体が記述されるとともに、生徒が考えを整理するための思考ツールを紹介するなど、大変よく配慮されている (P6 P7)
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のつまずきに対応ができるよう「衣生活」では、複数の失敗例を位置付けたり、調子よくミシンが動かない要因を16例提示したりするなど、大変よく配慮されている。(P151) ・内容C「消費生活と環境」での商品購入のシミュレーションでは、オンラインショップも想定した店舗設定となっていたり、各商品の情報が細かく示されていたりするなど、多様な考えの交流ができるよう大変よく配慮されている。(P207) ・「生活の課題と実践」では、合計6の具体例を取り上げている。改訂時、新規に加えられた内容C「消費生活と環境」については、具体的な実践例を1つ、他に実践課題例を4つ取り上げているなど、生徒の課題意識を広げる工夫が十分図られている。(P279) ・「食生活」の学習を終えた生徒が、一食分の献立を立て、調理実習を家庭実践できるよう、副菜や汁物の調理工程も同一ページに記載されているなど、大変よく配慮されている。調理実習の実習例は61例ある。(P92-P93) ・「住生活」の「家庭の住まいを安全・安心に」では、家庭内事故が起こりやすい箇所を教科書で示し、生徒に考えさせる構成となっている。その上で、QRコードで示されたイラストで危険な箇所(40箇所)を確認できる仕組みをとるなどの工夫が十分図られている。(P178-P181)
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての内容において、単位時間で達成する「目標」が示され評価の観点に分かりやすく表現されているなど学習評価の工夫が十分図られている。また、課題意識を向上させる見出しとキャラクターのつぶやきや学習課題が記載されているなど十分配慮されている。(例P196) ・「食生活」の「地域の食文化」では、「煮物」が扱われており、教科書の流れで学習指導を進めることができる工夫が見られ、大変よく配慮されている。(P98～ P101) ・「食生活」の調理実習例で取り上げられている「ハンバーグの調理」では、玉ねぎを炒める火加減についても、教科書内だけでなく動画でも触れるなど、調理に慣れ親しんでいない生徒が自宅で調理をする際に迷わない工夫が大変よく図られている。(P84 P85)
4 表現や体 裁等に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさはA4判、重さは573g、総ページ数は291ページである。 ・ユニバーサルデザインに配慮したフォント。色使い・紙面構成となっており、「衣生活」の針の運び方では、左利きの針の運び方も教科書で示すなど大変よく配慮されている。 ・「防災」に関わる資料が、2ページに渡り紹介されているなど、よく配慮されている。(P184-P185)。衛生面では、食中毒について文章とグラフで示されている。(P61)

種 目【技術・家庭（家庭分野）】

発行者【6 教育図書】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の各内容の各項目に沿って配列されている。資質・能力を育むために働かせる「生活の営みに係る見方・考え方」は、ガイダンスでは「つながり」をキーワードに整理している。（口絵P11 P12） ・実習例は計7例あり、生活のさまざまな場面で使用することができるような例となっている。また「つくってみよう」で練習作品があり、基礎的・基本的な技能の確実な定着を図ることが出来るようよく配慮されている。 ・他教科の学習内容や教科内の学習内容と深く関わる場所には、マークを設け、関連先ページ数と関連内容があり、すぐに関連させることができるようになっている。他教科との関連マークは、27である。（P38） ・各編の扉ページに小学校家庭科で学習した内容があり、小学校との系統性を示している。また、生活の科学的な理解を深めるために、写真などを示している。（P128） ・見開き1ページに「見つめる」「学ぶ（見つめてみよう）」「振り返る」があり、一連の学習過程が位置付けられている構成となっているなど大変よく配慮されている。（P250-P251） ・家庭分野に係る「学習過程の参考例」を元に、すべての過程において大切にしたい内容の具体が記述されるとともに、「食生活」については一つ一つの過程における具体的な事例が紹介されるなどよく配慮されている。（P10 P11）
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のつまずき（課題）に対応ができるよう、「衣生活」では、調子よくミシンで縫うことができない場合の原因を9例提示したりするなど、よく配慮されている。（P183） ・内容C「消費生活と環境」での商品購入のシミュレーションでは、2つの商品について、その情報が示されている。（P227） ・「生活の課題と実践」では、ガイダンス的な内容も具体例も横向きに配置する形態をとり、合計8の具体例を取り上げるとともに、各章の終わりにも具体例を取り上げている。改訂時に新規に加えられた内容C「消費生活と環境」については、具体的な実践例を2つ取り上げているなど、生徒の課題意識を広げる工夫がよく図られている。（P274 P275） ・「食生活」の学習を終えた生徒が、一食分の献立を立て、調理実習を家庭実践できるよう、副菜や汁物の調理工程も記載されているなど、よく配慮されている。調理実習の実習例は44例ある。（P124-P125） ・「住生活」の「家庭内事故から家族を守ろう」では、家庭内事故が起こりやすい箇所を教科書で示してある。QRコードで示された同一のイラストをクリックすることで、教科書と同様の危険箇所（45箇所）が出力される仕組みとなっているなどよく配慮されている。（P210-P213）
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての内容において、単位時間で達成する「めあて」が「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」の各観点で表現されているなど、学習評価がしやすい工夫が見られる。（例P232） ・「食生活」の「地域の食文化」で扱う「煮物または汁物」の扱いについて、生徒のレポート例として「8 和食の調理をしてみよう」の章で、汁物が簡単に扱われている。前後して「6 野菜を調理しよう」の章では、汁物と煮物の調理が詳細に述べられている。（P140～ P130 P131） ・「食生活」の調理実習例で取り上げられている「ハンバーグの調理」では、玉ねぎを炒める火加減については、「しんなり」という表現のみを用いている。（P116 P117）
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさはA4変形判、重さは630g、総ページ数は279ページである。 ・ユニバーサルデザインに配慮したフォント。色使い・紙面構成となっている。 ・「防災」に関わる資料は学習の流れの中で、2ページに渡り取り上げられている（P216-P217）。衛生面では、食中毒の原因と予防方法を写真やグラフで示し、よく配慮している。（P101）

種 目【技術・家庭（家庭分野）】

発行者【9 開隆堂】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の各内容の各項目に沿って配列されている。資質・能力を育むために働かせる「生活の営みに係る見方・考え方」は、ガイダンスでは言葉でのみ示している。(P7) ・実習例は計8例あり、製作例が難易度の易しいものから難しいものへの配列となっているなどよく配慮されている。(P218-P225) ・他教科の学習内容や教科内の学習内容と深く関わるところには、マークを設け、関連先ページ数と関連内容があり、すぐに関連させることができるようになっているなど大変よく配慮されている。他教科との関連マークは64である。(P241) ・各編の扉ページに小学校家庭科で学習した内容があり、小学校との系統性を示している。また、生活の科学的な理解を深めるために、複数の野菜の写真やイラスト、グラフで示すなど大変よく配慮されている。(P144-P145) ・見開き1ページに「学習の目標」が設けてあり、1時間の学習の見通しがもてるようにしてあるとともに、キャラクターを用いて、これまでの生活を振り返りができるようになっているなど、大変よく配慮されている。(P274-P275) ・家庭分野に係る「学習過程の参考例」を元に、一部の過程においては、大切にしたい内容の具体が記述されるとともに、課題のもち方やその評価方法については、著名人の目標達成シートをもとに紹介されているなど大変よく配慮されている。(P12)
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のつまずき（課題）に対応ができるよう、「衣生活」では、調子よくミシンで縫うことができない場合の原因を16例提示したりするなど、大変よく配慮されている。(P217) ・内容C「消費生活と環境」での商品購入のシミュレーションでは、オンラインショップも想定した店舗設定となっていたり、各商品の情報が複数示されていたりするなど、多様な考えの交流ができるようよく配慮されている。(P267) ・「生活の課題と実践」では、ガイダンス的な内容も具体例も縦向きに配置する形態をとり、合計10の具体例を取り上げている。改訂時に新規に加えられた内容C「消費生活と環境」については、具体的な実践例を1つ取り上げている。(P303) ・「食生活」の学習を終えた生徒が、一食分の献立を立て、調理実習を家庭実践できるよう、副菜や汁物の調理工程も記載されているなど、よく配慮されている。調理実習の実習例は44例ある。(P138-P139) ・「住生活」の「家庭内事故への備え」では、家庭内事故が起こりやすい箇所についてはQRコードで示されたイラストで危険な箇所（14箇所）を見つけ出す仕組みをとるなどの工夫がよく図られている。(P242-P243)
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての内容において、単位時間で達成する「学習の目標」が示され、授業導入時の課題意識を向上させる見出しがあるなど学習評価がしやすい工夫が十分図られている。(例P270) ・「食生活」の「地域の食文化」で扱う「煮物または汁物」の扱いについて、「7 受け継がれてきた食文化」の章で、煮物と汁物が扱われており、教科書の流れで学習指導を進めることができる工夫が見られ、大変よく配慮されている。(P158～ P164 P165) ・「食生活」の調理実習例で取り上げられている「ハンバーグの調理」では、玉ねぎを炒める火加減について、教科書内では「弱火」の文字と絵で示している。(P130 P131)
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさはA4判、重さは568g、総ページ数は312ページである。 ・ユニバーサルデザインに配慮したフォント。色使い・紙面構成となっている。 ・「防災」に関わる資料が、計8ページに渡り紹介されているなど、大変よく配慮されている(P248-P255)。衛生面では、食中毒の原因と予防方法を肉と魚に特化して写真や文章で示し、大変よく配慮されている。(P127、137)

【 種 目 】 英 語

【 発 行 者 】 6 者

2 東京書籍

9 開隆堂出版

15 三省堂

17 教育出版

38 光村図書出版

61 新興出版社啓林館

種 目【英語】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・扱う単元の数は、1年生11個、2年生8個、3年生7個の計28単元で構成されている。また扱う言語材料は1年生53、2年生34、3年生29である。 ・言語活動の設定数は、3学年を通して、「Listen74回」、「Speak(I)100回」、「Speak(P)49回」、「Read102回」、「Write83回」である。 ・全国学力学習状況調査で明らかになった岐阜県の課題である「まとまりのある英文を書くこと」に対して、2年生Unit3 Unit Activityで10年後の自分にメッセージを書いたり、Unit7 Unit Activityで世界遺産について書きまとめたりする学習活動が位置付けられている。 ・小学校との接続では、中学校1年生Unit0で、対話を聞き、場面に応じて対話する活動、アルファベットの音や文字、英語の語順についての内容を取り扱う。Unit1～4では、授業の導入時にEnjoy Communicationとして、小学校で学んだ既習事項を使って対話活動を行う場面が位置付けられている。 ・社会的な話題については、3年間を通して20個あり、エシカルファッション、東日本大震災、歩きスマホなどが題材として取り扱われている。 ・2年生「Stage Activity」では、カナダの生徒からビデオレターが届き、相手の知りたい情報を確認するという、目的、場面、状況を明らかにした学習活動が設けられている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「Unit Activity」の際に活用できる単語や語句、表現例を巻末の「Unit Activity Plus」に掲載している。 ・学年が上がるにつれて、小集団学習の回数が多くなっている。小集団になって、書いた英文を読み合ったり、協力して課題解決したりする活動が設定されている。(3年間の小集団学習の数：17) ・各学年末及び各「Stage」末の到達点を示す「Can-doリスト」を巻末に掲載している。 ・単元末の「Unit Activity」や年間3回設定されている「Stage Activity」の最後に自己評価を行うチェック欄が設けられている。 ・単元内に掲載の二次元コードの数 1年：80 2年：72 3年：69 計：221 ・二次元コードからアクセスできる本文や語句の音声（スピード変更、スラッシュ表示、カラオケ機能、マスク表示機能付）を活用して、一人一人にあった学び方ができる。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の終末にUnit Activityという言語活動が設定されており、各単位時間で行うActivityに取り組んでいくことで課題達成することができることが明確でわかりやすい。さらに、単元のまとまりごとにStage Activityも設定されており、手順もわかりやすく示されている。終末の活動がそれぞれ五領域で評価できるものになっているため、授業だけでなく、評価も経験の浅い教員がしやすい作りとなっている。 ・デジタル教材が特に充実しており、本文の早さを調節できたり、単語を隠して表示したりするなど、音読に役立つ工夫がなされている。また、単語だけではなく、本文の日本語訳も示されているため、家庭学習する際に大いに活用できることが期待される。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年・・・420g (170ページ)、2年・・・384g (158ページ)、3年・・・384g (158ページ) ・すべての生徒の色覚特性に適應するようデザインされており、ユニバーサルデザイン書体を使用している。1年生の本文はブロック体を、2年生以降は活字体を使用している。活字体は文字がやや細め。行間は広めに作られている。 ・巻末資料には、スモールトーク用の質問文と表現例、各Unit Activityで役立つ表現集、語順リスト等がある。それぞれに二次元コードがあり、デジタルでの学習が可能となっている。

種 目【英語】

発行者【9 開隆堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・扱う単元の数は、1年生10個、2年生8個、3年生7個の計25単元で構成されている。また扱う言語材料は1年生34、2年生31、3年生23である。 ・言語活動の設定数は、3学年を通して、「Listen175回」、「Speak(I)110回」、「Speak(P)33回」、「Read117回」、「Write111回」である。 ・全国学力学習状況調査で明らかになった岐阜県の課題である、自分にとって必要な情報を読み取ることに対しては、3年生Power-up 2「ポスターから情報を読み取ろう」のページで、イベント内容を比較し、応える学習活動が位置付けられている。 ・小学校との接続では、1年生Get Readyで、すごろくやインタビューなどゲームを通してやりとりをする活動とアルファベットの音と文字、英語の語順、単語や文の書き方を行い、無理なく小学校の学習を振り返ることができる。 ・社会的な話題については、3年間を通して19個あり、フードロス、フェアトレード、子どもの人権、睡眠などが題材として取り扱われている。 ・2年生「Our Project」では、新しいALTの先生に自分のことをよく知ってもらうために、尊敬している人物を話すという、目的、場面、状況を明らかにした学習活動が設けられている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「Speak & Write」や「Action」の際に活用できる単語や語句を巻末の「Word Web」に掲載している。 ・学年が上がるにつれて、小集団学習の回数が増えている。小集団になって、話し合ったり、発表し合ったりするなどの活動が設定されている。(3年間の小集団学習の数：17) ・学年末及び各単元、「Our Project」の到達点を示す「Can-Doリスト」を巻末に掲載している。 ・単元末の「Review & Retell」、「Action」や年間3回設定されている「Our Project」の最後に自己評価を行うチェック欄が設けられている。 ・単元内に掲載の二次元コードの数 1年：78 2年：70 3年：67 計：215 ・二次元コードを通じて、タブレット端末で学校における個別支援(本文・語句音声、文法解説動画、発表モデル動画など)を充実させることができる。また、ふせん機能で書き込んだり、ウェブサイトのリンクを貼ったりすることができる。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初のページは、漫画に一コマずつ絵で示され、具体的な場面や状況を理解することに役立つことができる。また、単元を貫くテーマがわかりやすく動画で示されており、これを活用することで経験の浅い教員もスムーズな導入に活用することができる。さらに、終末の活動前に、Review and Retellが位置付いており、本文をリテリングすることに役立つことができる。また、単位時間ごとに本文の内容に関する質問が教科書に組み込まれており、内容理解に役立つことができる。 ・デジタル教材では、本文を音声で確認することができるため、家庭での音読練習に役立つことができる。また、音読採点機能を活用し、正確な発話に繋がる学習を個人で行うことができる。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年・・・412g (182ページ)、2年・・・368g (166ページ)、3年・・・368g (166ページ) ・色覚特性に配慮し、ユニバーサルデザイン書体を使用している。1年生はすべてブロック体(Program4以降は一般的なブロック体に変化)を、2年生以降は本文のみ活字体を使用している。新出単語には3年間を通してアクセント記号が付けられているが、発音記号はない。 ・巻末資料には、辞書の使い方、スモールトーク表現集等があるが、デジタル学習用の二次元コード無し。不規則変化動詞は他社よりも多い。単語集は文字が小さく細かい。

種 目【英語】

発行者【15 三省堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・扱う単元の数は、1年生9個、2年生8個、3年生8個の計25単元で構成されている。また扱う言語材料は1年生40、2年生28、3年生20である。 ・言語活動の設定数は、3学年を通して、「Listen132回」、「Speak(I)116回」、「Speak(P)44回」、「Read103回」、「Write92回」である。 ・全国学力学習状況調査で明らかになった岐阜県の課題である必要な情報を複数の文章から探し出すことに対して、2年生のTake Action Read 2のオンラインショッピングで個々の要望に合う商品を考える学習活動が位置付けられている。 ・小学校との接続では、Lesson1～4では、Sceneを通して、聞く→話す→読む→書くの流れで、小学校の学びを整理しながら、読む、書くといった中学校の学びを継続的に行えるようにしている。 ・社会的な話題については、3年間で14個あり、防災訓練やナッジ理論、飢餓問題、アメリカの公民権運動などが題材として取り扱われている。 ・2年生「Project3」では、海外から日本に来る観光客に紹介したいものを書くという、目的、場面、状況を明らかにした学習活動が設けられている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や身の回りのことについて、話したり書いたりするときの参照になる単語の一覧を巻末の「いろいろな単語」に示している。 ・小集団で話し合うテーマや議題を決め、アイディアを整理して、協力して資料を作成する活動が設定されている。(3年間の小集団学習の数：14) ・各学年末及び各学期末の到達点を示す「What Can I Do? - Can-Doリスト -」を巻末に掲載している。 ・単元末の「Goal Activity」や年間3回設定されている「Project」の最後に、自己評価を行うチェック欄を設けている。 ・単元内に掲載の二次元コードの数 1年：89 2年：77 3年：74 計：240 ・二次元コードを通じて、タブレット端末で学校における個別支援を充実させることができる。(基本文の練習、発音チェック、発表のモデル動画、題材の解説動画など)
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫くテーマがわかりやすく動画で示されており、これを活用することでどの生徒にも単元の終末をイメージした導入をスムーズに行うことができる。また、各単元の終末に Goal Activity という言語活動が設定されており、明確でわかりやすい。さらに、単元のまとめごとに Project も設定されており、手順もわかりやすく示されている。巻末にある単語集には、類義語の違いが示されており、経験の浅い教員も単語の意味の違いを細かく指導することができる。 ・デジタル教材では、アニメーション動画内の英語は、自然な速さで話されているが、本文を再生する際にはややゆるやかな速さで話され、軽重がつけられている。そのため、学習者の段階に応じて、家庭で音読練習することができる。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年…418g (188ページ)、2年…386g (172ページ)、3年…386g (172ページ) ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザイン書体を使用している。1年生はブロック体を、2年生以降は活字体を使用している。文字がやや太め。本文の行間は標準的だが、Reading Lesson では行間が広めに作られている。 ・巻末資料の、Audio Scripts や基本文のまとめは二次元コードでデジタルでの学習が可能。単語リストでは、似た単語については違いを説明。分野別用語集や会話のコツなども掲載。

種 目【英語】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・扱う単元の数は、1年生9個、2年生9個、3年生7個の計25単元で構成されている。また扱う言語材料は1年生57、2年生44、3年生20である。 ・言語活動の設定数は、3学年を通して、「Listen111回」、「Speak(I)90回」、「Speak(P)52回」、「Read134回」、「Write45回」である。 ・全国学力学習状況調査で明らかになった岐阜県の課題である文章の概要を読み取る力を付けることに対して、Tips for Reading というページで概要の捉え方を説明している。 ・小学校との接続では、あいさつやリスニングアルファベットの文字と音、日付や教科の表し方を確認し、中学校の内容を学ぶようにしている。 ・社会的な話題については、3年間で16個あり、野生動物の保護、宇宙ゴミ、子どもの人権などの題材が取り扱われている。 ・2年生「Project3」では、海外の姉妹校の生徒に向けて、日本文化を知ってもらうためにメモをもとにして話すという目的、場面、状況を明らかにした学習活動が設けられている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「Think & Try」や「Task」の際に参考となる単語を巻末の「分野別用語集」に掲載している。 ・役割演技をしたり、協力してクラス新聞を作ったりする活動が設定されている。3年生では、グループ対抗のディベートの活動が設定されている。(3年間の小集団学習の数：9) ・各学年末及び各学期末の到達点を示す「Can-do 自己チェックシート」を巻末に掲載している。 ・単元末の「Task」や年間3回設定されている「Project」の最後に自己評価を行うチェック欄が設けられている。 ・単元内に掲載の二次元コードの数 1年：71 2年：75 3年：61 計：207 ・二次元コードを通じて、アクセスするウェブサイト(学びリンク)を設け、音声、動画、ワークシートなどのデジタルコンテンツを活用できるようにした。(本文音声、やり取り見本動画、フラッシュカードなど)
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の終末に Task という活動が設定されており、そこに向かっていくことが明確でわかりやすい。さらに、単元のまとめりに Project という言語活動も設定されている。また、各単位時間では、Think and Try! という即興的に役を演じて話す活動が位置づけられており、その活動例も巻末に示されているため、活用しやすい。さらに、単元と単元の間には、定期的に4技能の Tips (コツ) を扱う場面がそれぞれ3コマずつ設定されており、経験年数の浅い教員でも4技能に特化した指導がしやすい。 ・デジタル教材では、本文を音声で確認することができるため、家庭での音読練習に役立てることができる。また、巻末に「効果的な英語学習法」があり、学年によっては動画で確認することができるため、1人で家庭学習する際に役立てることができる。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年…365g (182ページ)、2年…366g (182ページ)、3年…364g (182ページ) ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザイン書体を使用している。1年生はすべてブロック体 (Lesson4以降は一般的なブロック体で表記) を、2年生以降は本文のみ活字体を使用している。文字はやや太めで行間も広め。本文の語数表記は無し。 ・巻末資料にはデジタルでの学習用二次元コード無し。分野別用語集、会話関係資料(例文)が用意されている。シンプルなつくり。

種 目【英語】

発行者【38 光村図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・扱う単元の数は、1年生8個、2年生8個、3年生8個の計24単元で構成されている。また扱う言語材料は1年生43、2年生46、3年生28である。 ・言語活動の設定数は、3学年を通して、「Listen160回」、「Speak(I)110回」、「Speak(P)49回」、「Read106回」、「Write86回」である。 ・全国学力学習状況調査で明らかになった岐阜県の課題である自分にとって必要な情報を読み取ることに對して、2年生のUnit6 Daily Life オンラインツアーで、ツアーの内容やレビューなどの複数の情報から、登場人物の好みに合うツアーを選ぶ学習活動が位置付けられている。 ・小学校との接続では、帯教材 Sounds and Letters を設け、小学校で音声を中心に学習してきた生徒が、音と文字の関係を確かめながら、文字を読む力を付けることができるように配慮されている。 ・社会的な話題については、3年間で14個あり、ユダヤ人と平和、主権者教育、AIと言語などが2年生から扱われている。 ・2年生「Unit7 Goal」では、全校生徒に向けて劇のポスターを提案し、採用したいポスターを話し合うという目的、場面、状況を明らかにした学習活動が設けられている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の話す活動や各活動の際に参考となる語句を巻末の「Activity Words」に掲載している。 ・小集団で、おすすめのプランを提案したり、どのポスターを採用するか比較・検討したりするなど、協力して課題解決する活動が設定されている。(3年間の小集団学習の数：13) ・各学年末及び各単元末の到達点を構造化して明確にし「Can-Do List」として巻末に掲載している。 ・単元末の「Goal」や年間3回設定されている「You Can Do It!」の最後に、自己評価を行うチェック欄を設けている。 ・単元内に掲載の二次元コードの数 1年：76 2年：74 3年：64 計：214 ・二次元コードを通じて、タブレット端末で学校における個別支援（リスニング音声、動画、ピクチャーカード並び替えなど）を充実させることができる。また、ピクチャーカードをタッチしたり、ドラッグで動かしたりして並びかえる機能や、自分の発音を録音・再生することができる。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の終末に Goal という言語活動が設定されており、そこに向かっていくことが明確でわかりやすい。また、単元のまとめりごとに You can do it! という言語活動も設定されている。また、帯教材も充実しており、巻末には各 Unit の写真やイラストが掲載されている。それを活用して実際のリテリングのモデルも動画で確認することができるため、経験の浅い教員でもリテリングの指導に活用しやすい。また、即興性を高めるためのスピーキング用の Topic 集も各 Unit ごとに示されているため、スモールトークで活用することができる。 ・デジタル教材では、本文を音声で確認することができるため、家庭での音読練習に役立てることができる。また、巻末付録に「英語の学び方ガイド」があり、単語の学習や4技能の高め方について確認することができるため、1人で家庭学習する際に役立てることができる。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年…393g (194ページ)、2年…388g (194ページ)、3年…386g (194ページ) ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザイン書体を使用している。1年生はすべてブロック体 (Unit4以降は一般的なブロック体で表記) を、2年生以降は本文のみ活字体を使用している。文字と行間は標準的。本文の語数表記は無し。 ・巻末には帯教材と巻末付録として、各 Unit のリテリング資料やスピーキング用資料があり、デジタル学習用二次元コードもある。また、4技能の学び方や英語のしくみの解説等もある。

種 目【英語】

発行者【61 啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・扱う単元の数は、1年生10個、2年生8個、3年生6個の計24単元で構成されている。また扱う言語材料は1年生50、2年生39、3年生35である。 ・言語活動の設定数は、3学年を通して、「Listen221回」、「Speak(I)143回」、「Speak(P)44回」、「Read121回」、「Write167回」である。 ・全国学力学習状況調査で明らかになった岐阜県の課題である文章の概要を読み取ることに對して、各単元のRead and Thinkというページで、本文で説明されている順に絵や写真を並び替える学習活動が位置付けられている。 ・小学校との接続では、Let's Startで、小学校で慣れ親しんだ表現を聞いたり話したりすることによって振り返ることができる。 ・社会的な話題については、3年間で12個あり、動物との共存、地球温暖化、地域奉仕活動などの題材が取り扱われている。 ・2年生「Unit7 Let's Write2」では、日本でホームステイすることになった姉妹校の生徒に、日本の習慣やマナーについてメールを書いて教えるという目的、場面、状況を明らかにした学習活動が設けられている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の話す活動や各活動の際に参考となる、語句を各ページの「Tool Box」や巻末の「Word Box」に掲載している。 ・小集団で内容を整理したり、書いた英文を読み合ったりする活動が、「Project」の学習の中で設定されている。（3年間の小集団学習の数：31） ・各学年末及び各学期末の到達点と教科書での関連項目を「Can-Do List」として巻末に掲載している。 ・単元末の「Think & Speak/Write」や年間3回設定されている「Project」の最後に自己評価を行うチェック欄が設けられている。 ・単元内に掲載の二次元コードの数 1年：70 2年：69 3年：49 計：188 ・二次元コードを通じて、タブレット端末で学校における個別支援を充実させることができる。（新出語句の音声、Targetの解説動画、本文アニメーションなど）
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の終末にThink and SpeakやThink and Writeという言語活動が設定されており、そこに向かっていくことが明確でわかりやすい。さらに、単元のまとめりごとにProjectも設定されており、手順もわかりやすく示されている。各単位時間の中に、Enjoy Chattingというスモールトークが位置付いているため、経験の浅い教員でも活用しやすい。 ・デジタル教材では、本文の文字の大きさを変えることができ、見やすいだけでなく、解説動画を何度も繰り返し見ることができるので、家庭で文法の定着を図ることができる。また単語学習では、日本語のオン、オフを表示することができるため、家庭での単語学習に役立てることができる。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年・・・378g（166ページ）、2年・・・395g（170ページ）、3年・・・364g（154ページ） ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザイン書体を使用している。1年生はLet's Read2まではブロック体を、それ以降は活字体を使用している。文字の太さ、行間ともに標準的。本文の語数表記は無し。 ・巻末付録の、Listening Scriptや基本本文のまとめは二次元コードでデジタルでの学習が可能。分野別用語集等はあるが、会話関係の付録は無し。

【 種 目 】 道 徳

【 発 行 者 】 7 者

2 東京書籍

17 教育出版

38 光村図書出版

116 日本文教出版

224 Gakken

232 あかつき教育図書

233 日本教科書【見本本なし】

種 目【道徳】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で「いじめ問題・生命の尊さ」について、「教材→教材→コラム」のユニットで構成され、多面的・多角的に考えることができるようによく配慮されている。コラムでは、読み物だけでなく体験的な学習や対話を通して、考えを深めることができるようによく工夫されている。 ・重点にしている内容項目として、「生命の尊さ」を全学年3教材バランスよく配置している。また、「いのちを考える」としてユニット化し、防災と関わらせた教材を1教材位置付け、道徳的判断力を育むことができるよう大変よく工夫されている。 ・自我関与させる教材には、すべて「考えよう」という問いが設けられ、登場人物になり切って考えることができるようによく配慮されている。また、「ぐっと深める」を位置付けることで、自分事としてより深く考えることができるようによく配慮されている。 ・問題解決的な学習に対応した教材を各学年2教材以上配置し、イラストや教材、話し合いの中で道徳的価値を深く理解できるように大変よく配慮されている。 ・役割演技を含めた体験的な学習に対応している教材が各学年2教材以上配置され、教材の1場面を演じたことで、登場人物の気持ちを体験し、言動の内面をより深く考えることができるようによく配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の冒頭で学習テーマを簡潔に示したうえで、読んで考えたことを各自記述できるメモ欄「つぶやき」が設けてあり、個で深く考えて話し合いにつなげられるよう十分に配慮されている。 ・教材末の発問は、中心発問の「考えよう」、教材から離れて自分を見つめる発問の「見つめよう」、生き方を深く考えるための手助けとなる補助発問の「ぐっと深める」が設定してあり、話し合いで深い学びへとつながるように十分に配慮されている。 ・学期ごとに切り取り式の「自分の学びを振り返ろう」が用意されており、心に残った教材や授業で学んでよかったことなどが記述でき、一定期間のまとまりの中で生徒の成長の様子を見届けられることができるよう、よく配慮されている。 ・コンテンツ数 139/3年 ・巻頭の「デジタルコンテンツで学びを広げよう」でコンテンツの紹介をしたうえで、全ての教材にコンテンツのアイコン付き二次元コードが位置付けられ、映像、資料、他教科リンクなど、学習を広げるための工夫が十分図られている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・どの教材も「考えよう（中心発問）→自分を見つめよう（自己を振り返る設問）」という流れで設問が示されており、授業を行いやすくする工夫が十分図られている。 ・巻末に自己評価や心に残った教材などの振り返りが位置付けられ、生徒の変容を一定期間のまとまりの中で見ることもできるよう大変よく配慮されている。また、意見をもつことが苦手な生徒でも、「心情円」を使って考えることができるようよく配慮されている。 ・巻頭に、道徳科の学び方についてオリエンテーションが位置付けられている。付録には小学校の教材があり、小学校の道徳の学習を思い出しながら考えられるよう、よく配慮されている。 ・教材で学習した内容を広げるコラム「プラス」を掲載している。自分で読み進めたり、教師の説話等に活用したりすることができる。掲載数も多く、大変充実している。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさAB版 平均203P 重さ382.5グラム ・UDフォントが使われており、色覚特性に十分に配慮されている。 ・巻頭の目次では、「いじめ」や「いのち」のテーマごとに色分けされた記載がある。また、目次とは別に、巻頭と巻末に内容項目ごとに色分けされた一覧表があり、生徒にとって見やすく使いやすいものとなるよう、よく配慮されている。

種 目【道徳】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で「いじめ、生命の尊さ」において、「教材→コラム→教材→コラム」となるユニットで構成され、多面的・多角的に深く考えられるように大変よく配慮されている。また、コラムでは、コミュニケーションスキルを高めながら、他者理解を通して価値に迫ることができるよう大変よく工夫されている。 ・重点としている内容項目は、「生命の尊さ」「いじめ等の人権課題」「持続可能な社会」を、教材とコラムでユニット化し、考えることができるようにしている。 ・全ての読み物教材で、構造化された3つの問いで成り立つ「学びの道しるべ」を位置付け、自分事として、多面的・多角的に考え、授業後段において自分自身についてふり返り、これからの生き方について考えを深めることができるよう大変よく配慮されている。 ・全ての学年で問題解決的な学習に対応した教材を3時間以上位置付け、答えが一つではない問いを考え続けることで、自分の判断や生き方と関連付けながら、物事を多面的・多角的に考え、豊かな道徳性を育むことができるよう大変よく配慮されている。 ・役割演技を含む体験的な学習に対応した教材は、全学年1時間以上「やってみよう」という活動を位置付け、直前の教材に関連した役割演技やリフレーミングなどの活動を取り入れるなど、大変よく配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の導入で、主題に関わって自分を見つめさせる発問を位置付けたり、適宜記入欄を設けたりすることで、自分の考えをまとめ、それをもとに話し合えるようにするなど言語活動の充実がよく図られている。 ・教材末の「学びの道しるべ」には、問題意識をもつ発問、自分事として考える発問、自分を振り返る発問が位置付いており、話し合いで深い学びへとつながるよう、よく工夫されている。 ・学期末、学年末に自己評価用紙「道徳科の学びを振り返ろう」があり、生徒が学びを振り返るだけでなく、教師も生徒の学びを集約して評価に役立てることができるよう、よく配慮されている。 ・コンテンツ数 162/3年 ・各教材の冒頭や末尾に二次元コードがあり、教材解説や補足資料が充実している。また、教科書の学びをさらに深めるための「まなびリンク」が用意され、学習活動を充実させるためによく工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・どの教材も「学びの道しるべ」に補助発問、中心発問、自己を振り返る発問という流れで設問が示されており、授業を行いやすくする工夫がよく図られている。 ・巻末に学期末・学年末に自分の学びを振り返るシートがあり、生徒が自らの学びを振り返ったり内面的に自覚したりできるように配慮されている。また、教師も生徒の学びを集約して、評価に役立てることができるよう、よく配慮されている。 ・巻頭のオリエンテーションページで「一時間の道徳の学習の流れ」や「この教科書で学んでいくテーマ」が示されており、生徒が毎時間の学習展開をイメージすることができるように配慮されている。 ・教材での学びを広げる「ひろば」を自分で読み進めることができるようによく工夫されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさB5版 平均195P 重さ365.8グラム ・UDフォントが使われており、色覚特性への配慮もよくされている。 ・巻頭の目次では、「いじめ」や「いのち」などのテーマごとに色分けされた記載がある。また、目次とは別に、内容項目ごとに整理された一覧表がある。巻末には、内容項目ごとに色分けされた一覧表があり、生徒にとって使いやすいものとなるよう配慮されている。

種 目【道徳】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」は、全学年ユニットで構成され、様々な内容項目からいじめについて考えることができる。また、ユニットの3教材目には「まなびをプラス」を配置し、多面的・多角的に考えることができるようよく配慮されている。 ・全学年で「公正、公平、社会正義」「生命の尊さ」を3教材位置付け、重点内容項目として扱っている。また、「公正、公平、社会正義」の教材は、「いじめ問題」「差別問題」と関連した教材となるようよく図られている。 ・全ての読み物教材で「考えよう」を設け、何を学ぶのかを意識できるよう「学びのテーマ」を明示し、生徒の主体的な意見を促す問いを2つ設けている。そして、最後に「学びのテーマ」に戻り、より深く考えることができるよう大変よく配慮されている。 ・全学年、「よりよい学校生活、集団生活の充実」を扱った教材において、問題を解決するための大切な3ステップを明示し、解決に向けた対話の中で問い合いながら、それに沿って道徳的価値に迫っていくことができるよう大変よく配慮されている。 ・全学年で、体験的な学習を促す「チャレンジ 演じて考えよう」を位置付けている。そして、役割演技を通して、実感を伴って道徳的価値を深めることができるよう大変よく配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の内容に合わせて、冒頭や文中に自分を見つめるための発問があり、個で考えるための配慮がされている。 ・各教材に「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」があり、テーマを共有する発問、別の立場や視点からの発問、他の学習や生活へつなぐ発問が位置付けられており、個で考えたことから話し合いで深い学びへとつながるよう配慮されている。 ・巻末の「学びの記録」には、毎時間の考えたことを1枚のシートに記録したうえで、年間の振り返りで心に残った教材とその理由、また自分の成長について記述できるようになっており、継続的に成長を見届け、指導改善に役立てるよう十分配慮されている。 ・コンテンツ数 88/3年 ・学びが広がるコンテンツ「スマイルメーター」「デジタル教科書」「デジタルノート」などがあり、一人一人の特性に合わせたものから、学びを広げる手立てとして使えるものまで、幅広く活用できるように工夫されている。また、二次元コードの横に解説があり、利用しやすいようによく配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の最後の「考えよう」で、内容項目に沿った発問が用意されており、「見方を変えて」「つなげよう」を生徒に提示することで、自己を振り返ることができるようによく配慮されている。 ・巻末に「ポートフォリオ形式の学びの記録シート」があり、1年間で学びたいことや1年間の学習の振り返りに活用することができ、教師も生徒の学びを集約して、評価に役立てることができるようによく配慮されている。 ・巻頭の「道徳の学習を始めよう」に、道徳の授業で何を学ぶのか、どのように学ぶのかが示されている。小学校の教材も使って学習の学び直しができるように、よく配慮されている。 ・学びをさらに充実させる「まなびをプラス」を読み進めることで、別の観点や活動で深めることができるようよく配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさB5版 平均189P 重さ349.8グラム ・UDフォントが使われており、色覚特性への配慮がある。 ・巻頭の目次では、「いじめ」や「情報モラル」のテーマごとにまとめられた記載がある。また、目次とは別に、22個の価値項目が4つの視点別に色分けされた記載があり、生徒にとって使いやすいものとなるようよく配慮されている。

種 目【道徳】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」については、複数の教材とコラムをユニット化し年間複数配置されている。「いじめと向き合う」と題し、「導入→直接的な教材→知識を深めるコラム→間接的な教材→スキルを身につけるコラム」の順で生徒が、深く学べるよう大変よく配慮されている。 ・「生命の尊さ」を重点内容項目として位置付け、全学年3教材配置している。連続性や有限性、社会的関係性や他の生命との関係性など、多面的・多角的に自他の生命について考えられるようよく配慮されている。 ・全学年、「考えてみよう」を位置付け、登場人物へ自我関与し、道徳的価値に迫ることができる発問を示している。そして、「自分にプラス」を設けることで、新たな考えや今後大切にしたいことを考えることができるようによく配慮されている。 ・全学年、問題解決的な学習や体験的な学習に対応している教材を「学びを深めよう」として位置付けている。「学びを深めよう」では、主体的に問題をつかみ、対話的に学習できるように話し合いの手法や整理の方法例を示し、解決に向けて考えることができるようによく配慮されている。 ・体験的な学習に対応した教材は、学びを深めるヒントを明示し、中学生の発達段階に応じた無理のない体験的な学習になるようによく配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に關す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に学習のめあてとなる「学びのキーワード」が記載されており、教材名と合わせて学習の見通しをもって、テーマについて個で考えられようよく配慮されている。 ・毎時間「考えてみよう」と「自分に+1」の2つの発問で、自分の考えを深め、新たな考えや今後大切にしたいことを問うように設定してあり、個で考えたことが話し合いで深い学びへとつながるようよく配慮されている。 ・別冊「道徳ノート」には、道徳科の学びを積み重ね、生徒が自らの成長を実感し、自分の生き方に自信や誇りがもてるよう工夫されている。また、教師が、学習状況や道徳性に関わる成長の様子を継続的に把握し、評価することができるなど、指導改善の手立てとなるよう十分配慮されている。 ・コンテンツ数 141／3年 ・全教材に、「教科書QRコンテンツ」が設けられており、授業の導入、展開、終末のどの部分でも学びを広げることができ、さらに様々な学習場面に対応できるようよく配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・どの教材も「考えてみよう（中心発問）→自分にプラス1（自己を振り返る設問）」という流れで設問が示されていることで、授業で学んだことを自分との関わりで捉えることができるようになっており、授業を行いやすくする工夫が十分図られている。 ・別冊「道徳ノート」で、生徒一人ひとりの学習状況や道徳性に係る成長の様子、期ごとの自分の学びを振り返り確認することができるよう大変よく配慮されている。 ・巻頭に「道徳科での学びをはじめよう」の記載があり、ミニ教材の資料を用いたオリエンテーションが位置付けられ、「考え・議論する道徳」の学習方法を体験しながら確認することができるよう大変よく配慮されている。 ・「学びを深めよう」「視野を広げて」で、学習したことを深めたり他教科とつないだりできるよう大変よく配慮されている。掲載数も多く、大変充実している。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさB5版 平均184P 重さ305.6グラム ・UDフォントが使われており、色覚特性への配慮がよくされている。 ・巻頭の目次では、「いじめ」や「よりよい社会」のテーマごとにまとめられた記載がある。別冊ノートでは、資料から考えた意見を書く欄と、自らの生活とつなげて考えたことを書く欄に分かれており、生徒にとって使いやすいうように、よく配慮されている。

種 目【道徳】

発行者【224 G a k k e n】

調査項目	意 見
1 学習指導要領改訂の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのちの教育・いじめ問題」を最重点テーマとして捉え、全学年多数の教材を配置している。また、あえてユニット化せず、様々な内容項目で命の尊さやいじめ防止について改めて気付くことができるようによく配慮されている。 ・重点としている内容項目として、「生命の尊さ」が全学年3教材ずつ位置付けられ、命の尊さを改めて気付くことができるようによく配慮されている。そして、他者と共によりよく生きることの大切さを考えることができるようによく工夫している。 ・全ての読み物教材で「考えよう」を設け、「自分ならこう考える」といった思考が深まる発問を位置付けている。そして、登場人物へ自我関与を促し、登場人物の心情や言動の裏にある気持ちを考えることができるようによく配慮されている。 ・問題解決的な学習に対応しているページを「深めよう」と題し設定している。そして、より深く学ぶための「4つのステップ」を明示し、多面的・多角的に考えることができ、今後の生き方について振り返ることができるようによく配慮されている。 ・体験的な学習として、全ての学年で対応している教材を1時間以上配置している。また、問題解決的な学習と同様に、「4つのステップ」を明示し、多面的・多角的に考えて、自分自身について振り返ることができるようによく配慮されている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画の内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の前に主題名を置かず、導入につながるキーフレーズを位置付けることで、教材への関心を湧き立て、個で考えて話し合いにつなげられるようよく配慮されている。 ・教材の最後の「考えよう」には、展開で中心となる発問と、自分を見つめて考える発問を位置づけ、自分ならこう考えるといった思考の深まりを生み出し、個で考えたことから話し合いで深い学びへとつながるようよく配慮されている。 ・巻末の「学びのメモ」には日々の授業で気付いたことなどをメモし、「学びの記録」には学期ごとに心に残った授業やその感想、これからに生かしていきたいことを振り返って記述するページがあり、生徒の学習状況や成長の様子を見届けられるよう配慮されている。 ・コンテンツ数 41／3年 ・各学年10から12の教材で二次元コードが掲載され、教材によって補助資料となる画像や動画、音源、Webリンク、また、思考の手助けとなるワークシートなどが用意されており、生徒が興味・関心を持ち、思考しやすいように配慮されている。
3 東濃地区の教員及び生徒の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「クローズアップ」は、資料から離れ、自分との関わりで捉える授業展開をつくることに、よく役立てることができる。 ・巻末に「学びの記録」を書くことができる欄があり、生徒の態度面での変容をみることができ自己評価や心に残った授業などの振り返りが位置付けられ、これからの自分に生かしていきたいことをまとめる工夫がよく図られている。 ・巻頭に「道徳で学ぶこと・考えること」について、考えを深める4つのステップでわかりやすく記載されている。 ・「深めよう」で、生徒がさらに考えを深めて言語化できるよう配慮されている。また「クローズアップ」で学習したことを広げることができるようにするなど大変よく配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさAB版 平均191P 重さ365.5グラム ・UDフォントが使われており、色覚特性に対し、よく配慮されている。 ・巻頭の目次では、「SDGs」や「多様性」などのテーマごとにまとめられた記載がある。また、目次とは別に、4つの視点別に教材が色分けされた記載があり、生徒にとって使いやすいように配慮されている。

種 目【道徳】

発行者【232 あかつき教育図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」に関する教材は、全学年で重点的に学習できるようにユニット化し、学年ごとに連続して学べるよう配慮されている。また、発達段階に合わせた発問を設け、学びを広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。 ・重点内容項目として、「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」と4つの内容項目で、年間3時間分配置し、教育的課題である「いじめ問題」との関連を図るように全体を構成している。 ・全学年、読み物教材は、「考えの道すじ」を明確にすることで、自我関与しながら考えることができる。また、「自分との対話」という発問を設けることで、自分との関わりで考えることができるようによく配慮されている。 ・全学年で3か所「マイ・プラス」という名で学習活動を位置付け、「問題解決的な学習」「体験的な学習」が行うことができるようによく配慮されている。特に、対話に重点を置き、生徒がいろいろな立場で想像したり考えたりできるようによく配慮されている。 ・1年生で役割演技を通して考えを深める体験的な学習が位置付けられている。これにより、登場人物の気持ちを体験し、実感を伴って道徳的価値に迫れるようよく配慮されている。
2 第4次岐 阜県教育 振興基本 計画の内 容に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭部分には内容項目の視点を表すマークを掲載し、先入観なく教材と出会い、一人一人が主体的に教材と向き合い、個で考えを深められるよう配慮されている。 ・教材の最後に、主体的な学びを促す発問「自分を見つめて考える」または対話的な学びを促す発問「いろいろな見方で考える」のどちらかが位置付けてあり、どの教材にも共通してその後に深い学びを促す発問「考えを深める」と自分に問い直す発問「自分との対話」が位置付けられ、個で考えたことから話し合いで深い学びへとつながるよう配慮されている。 ・巻末には「学習の記録」があり、学期の終わりや学年末に自己を振り返り、自分が成長したと思うこと、これからの自分に生かしていきたいことなどを記述できるようになっており、生徒の道徳性に関わる成長の様子を見届けられるようよく配慮されている。 ・コンテンツ数 50/3年 ・教材によって二次元コードが掲載されており、導入動画や終末動画、資料動画やWebリンクなどを、補助資料として活用できるよう配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び生徒の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の最後に「自分との対話」の自己を振り返る発問の具体例が載っており、内容項目に沿った発問を生徒に提示することができるようよく配慮されている。 ・巻末の「学習の記録」で自己評価や心に残った教材などの振り返りが位置付けられ、生徒が自らの学びを振り返ったり内面的に自覚したりできるよう、工夫が図られている。 ・巻頭に、「自分を見つめ、考え、生き方を考える」時間について、短く分かりやすい資料を用いたオリエンテーションが位置付けられ、学習方法を体験しながら確認することができるようよく配慮されている。 ・学習したことを広げたり深めたりすることのできる「Thinking」では、生徒に新たなものの見方を示したり、日常的な事柄とつなげたりすることができるよう、よく配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさB5版 平均184P 重さ305.6グラム ・UDフォントとして、UD教科書体を使用している。 ・巻頭の目次では、「いじめ」や「情報モラル」などのテーマごとにまとめられた記載がある。各学年、資料が10個のユニットに分かれており、それぞれの資料が独立することなく連続性をもっており、生徒にとって使いやすいようによく配慮されている。